

白岡市
公共施設等マネジメント計画(白書)

平成27年2月
白岡市

目 次

第1章 公共施設等マネジメント計画（白書）とは	1
1. 公共施設等マネジメント計画（白書）の概要	
1. 1 位置づけと作成の目的	
1. 2 白書作成の視点	
2. 公共施設等マネジメント計画（白書）で取り扱う施設	
第2章 白岡市の市勢概況	4
1. 白岡市の概況	
1. 1 白岡市の概要	
1. 2 人口・世帯の動向	
1. 3 年齢構成	
1. 4 通勤・通学状況	
2. 白岡市の財政状況	
2. 1 歳入決算額の推移	
2. 2 歳出決算額の推移	
2. 3 投資的経費の推移	
第3章 白岡市の抱える公共施設等の概況	9
1. 公共施設の概況	
1. 1 保有する公共施設の内訳	
1. 2 公共施設の築年数別の整備状況	
2. インフラ施設の概況	
2. 1 保有するインフラ施設の管理数量	
2. 2 インフラの整備状況	
3. 公共施設等に関する市民意識の現状	
3. 1 市民アンケートの実施	
3. 2 市民アンケートの整理、分析結果	
第4章 用途別（個別）施設の状況	21
1. 市民文化系施設	
1. 1 集会施設（コミュニティセンター等）	
2. 社会教育系施設	
2. 1 資料館	
2. 2 社会教育施設	
2. 3 学習施設（公民館／生涯学習センター）	
3. 保健福祉系施設	
3. 1 高齢者福祉施設	
3. 2 障害者支援施設	
3. 3 保健福祉施設	
4. スポーツ・レクリエーション系施設	
4. 1 スポーツ施設	
4. 2 運動公園等（建物を伴う公園内施設）	
4. 3 グラウンド	
4. 4 児童遊園	

- 5. 産業系施設
 - 5. 1 物産センター等
- 6. 子育て支援施設
 - 6. 1 保育所
 - 6. 2 学童保育所等
- 7. 学校教育系施設
 - 7. 1 小学校
 - 7. 2 中学校
- 8. 行政系施設
 - 8. 1 庁舎等
 - 8. 2 消防施設
- 9. その他施設
 - 9. 1 車庫
 - 9. 2 公衆便所
 - 9. 3 ポンプ室
 - 9. 4 駐輪場
 - 9. 5 駅施設

第5章 公共施設等の将来予測 90

- 1. 公共施設の更新費用推計
- 2. インフラ施設の修繕・更新費推計

第6章 公共施設マネジメント基本方針 97

- 1. 本市が保有する全資産（公共施設およびインフラ施設）の更新・維持管理に必要な将来コストの試算結果
- 2. 今後の方針
- 3. 公共施設マネジメント計画策定の課題

第1章 公共施設等マネジメント計画（白書）とは

1. 公共施設等マネジメント計画（白書）の概要

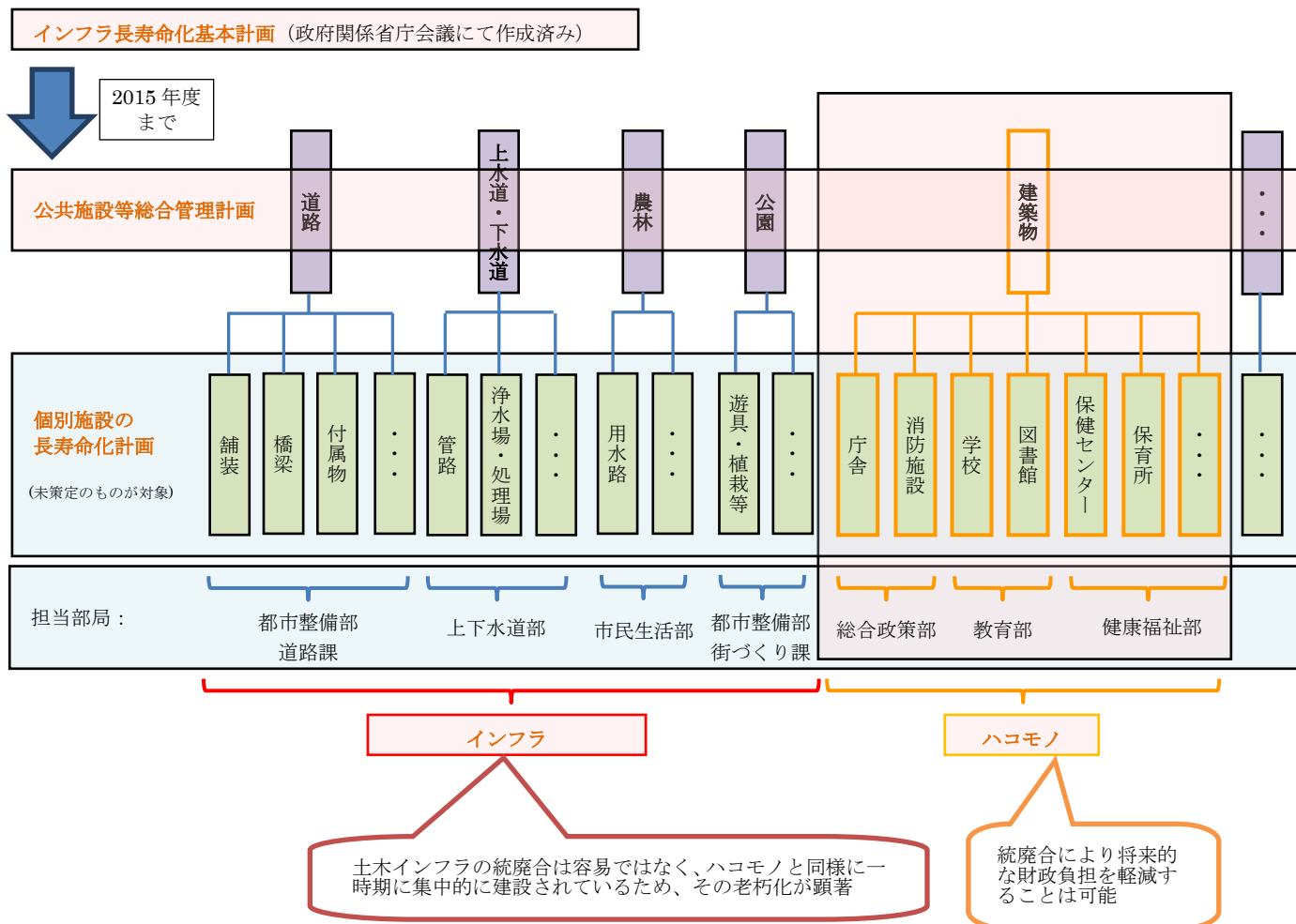
1. 1 位置づけと作成の目的

白岡市では、高度経済成長期以降の人口増加等を背景に、様々なニーズに対応すべく各種公共施設や道路等のインフラ施設の整備を進めてきました。

しかし、少子高齢化の進展により、市税等の自主財源の減少など、厳しい財政状況が予測される中、整備した公共施設や道路等のインフラ施設の多くが老朽化を迎え、建て替えや大規模改修等にかかる費用が、これからの市の財政運営にとって大きな負担となることが予想されます。

そこで、白岡市では現状の公共施設や道路等のインフラ施設の現状を把握することを目的に、「公共施設等マネジメント計画（白書）」を作成しました。「公共施設等マネジメント計画（白書）」は、本市が管理する公共施設等を対象として、各施設の建物評価や維持管理・運営コスト、利用状況などの現状を分析するとともに、将来に向けた課題や整備・管理運営の方向性についてとりまとめたものです。

今後、公共施設等マネジメント計画（白書）を受けて、総合的かつ計画的に管理する計画である「公共施設等総合管理計画」の策定を行うこととなります。

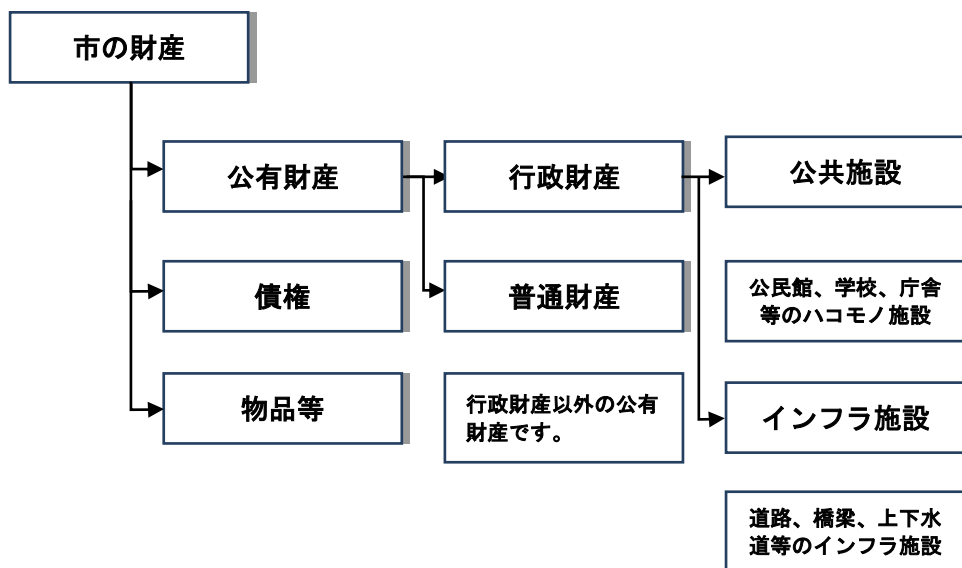


1. 2 白書作成の視点

公共施設及び道路等のインフラ施設について、施設の状況や運営の状況、利用の状況、収入支出の状況等、現状を把握し、今後の在り方を検討する基礎資料とすることを見据えています。したがって、前述した4つの視点について、現状を分析して「公共施設等総合管理計画」の策定のための基本方針を含む白書を作成しました。

2. 公共施設等マネジメント計画（白書）で取り扱う施設

白岡市の所有、管理する財産のうち、「行政財産」を対象としています。本白書では、公共施設（公民館、学校、庁舎等）のほか、道路等のインフラ施設（道路、橋梁、上下水道等）についても対象としています。概念図を、下記に示します。



No.	施設分類	施設数
1	- 市民文化系施設	36
	1 集会施設（コミュニティセンター等）	36
2	- 社会教育系施設	3
	1 資料館	1
	2 社会教育施設	1
	3 学習施設（公民館／生涯学習センター）	1
3	- 保健福祉系施設	5
	1 高齢者福祉施設	2
	2 障害者支援施設	2
	3 保健福祉施設	1
4	- スポーツ・レクリエーション系施設	67
	1 スポーツ施設	2
	2 運動公園等（建物を伴う公園内施設）	33（1）
	3 グラウンド	1
	4 児童遊園	30
5	- 産業系施設	3
	1 物産センター等	3
6	- 子育て支援施設	11
	1 保育所	3
	2 学童保育所等	8
7	- 学校教育系施設	10
	1 小学校	6
	2 中学校	4
8	- 行政系施設	12
	1 庁舎等	5
	2 消防施設	7
9	- その他施設	41
	1 車庫	4
	2 公衆便所	21
	3 ポンプ室	8
	4 駐輪場	2
	5 駅施設	6

第2章 白岡市の市勢概況

1. 白岡市の概況

1. 1 白岡市の概要

白岡市は、関東平野の中ほど、東京都心まで約40キロメートル圏であり、総面積は24.88平方キロメートルで、東西は9.8キロメートル、南北は6.0キロメートルと東西に長い市域です。

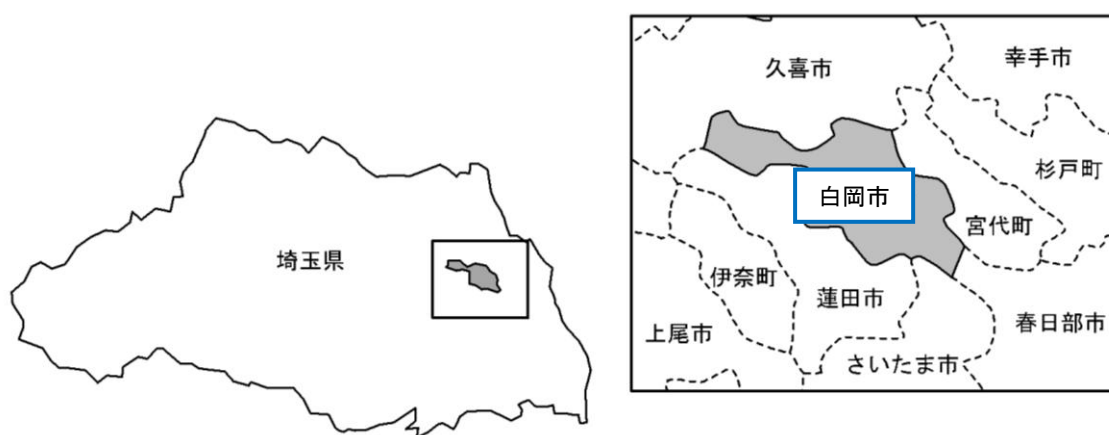
昭和29年に日勝村、篠津村、大山村（上大崎を除く）の合併により町制を施行し、白岡駅を中心に発展を期するという計画のもと白岡町と改称しました。当時の世帯数は2,678世帯、人口15,679人でした。

誕生から56年後の平成22年国勢調査では、世帯数が17,869世帯、人口が50,272人となるまでに成長しました。

このため、市制施行に向けた準備を進め、埼玉県から白岡町を白岡市とする決定を受けて、平成24年10月1日の市制施行により、白岡市が誕生しました。

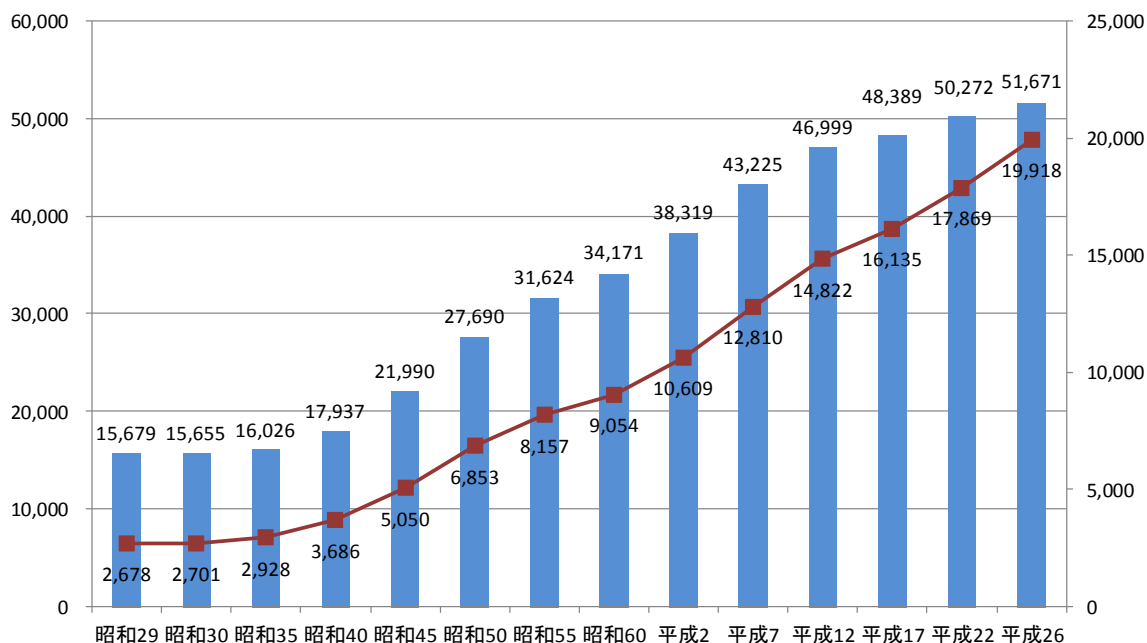
交通面では、都心まで40分程度で結ぶJR宇都宮線が南北に走り、白岡駅、新白岡駅には上下線とも1日100本前後の電車が停車し、通勤・通学の足となっており、ベッドタウンとして発展してきました。

また、東北縦貫自動車道、国道122号、県道8路線が市内を通過し、東北縦貫自動車道久喜ICや蓮田スマートIC、首都圏中央連絡自動車道白岡菖蒲ICにもアクセスが良好であることから、広域的な交通利便性に富んでいます。



1. 2 人口・世帯の動向

白岡市の人口（外国人登録人口を含む）は、ここ数年間常に増加しており、平成 17 年の 48,389 人から、平成 26 年には 51,671 人となり、約 2.6%の増加となっています。



世帯数は、平成 17 年の 16,135 世帯から、平成 26 年には 19,918 世帯となり、約 12.3%の増加となっています。

人口・世帯数ともに増加してきていますが、1 世帯当たりの人数は平成 17 年の平均 3.0 人から、平成 26 年の 2.6 人へと減少してきています。

世帯構成では、県平均に比べ三世帯同居の世帯の割合が大きいものの、その比率は低下しつつあります。

また、夫婦のみの世帯やひとり暮らし世帯の割合は増加しています。

一般世帯の構成

区 分	白岡市			埼玉県
	平成12年	平成17年	平成22年	平成22年
核家族世帯	71.0	71.3	70.0	64.6
夫婦のみ	17.8	20.7	22.0	16.1
夫婦と子ども	46.5	42.8	39.7	48.5
ひとり親と子ども	6.8	7.8	8.3	6.8
父親と子ども	1.3	1.4	1.5	2.2
母親と子ども	5.5	6.4	6.8	4.6
三世帯同居	15.5	13.3	17.4	10.4
ひとり暮らし	13.2	14.9	18.0	13.5
その他	0.2	0.5	0.8	0.0
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0

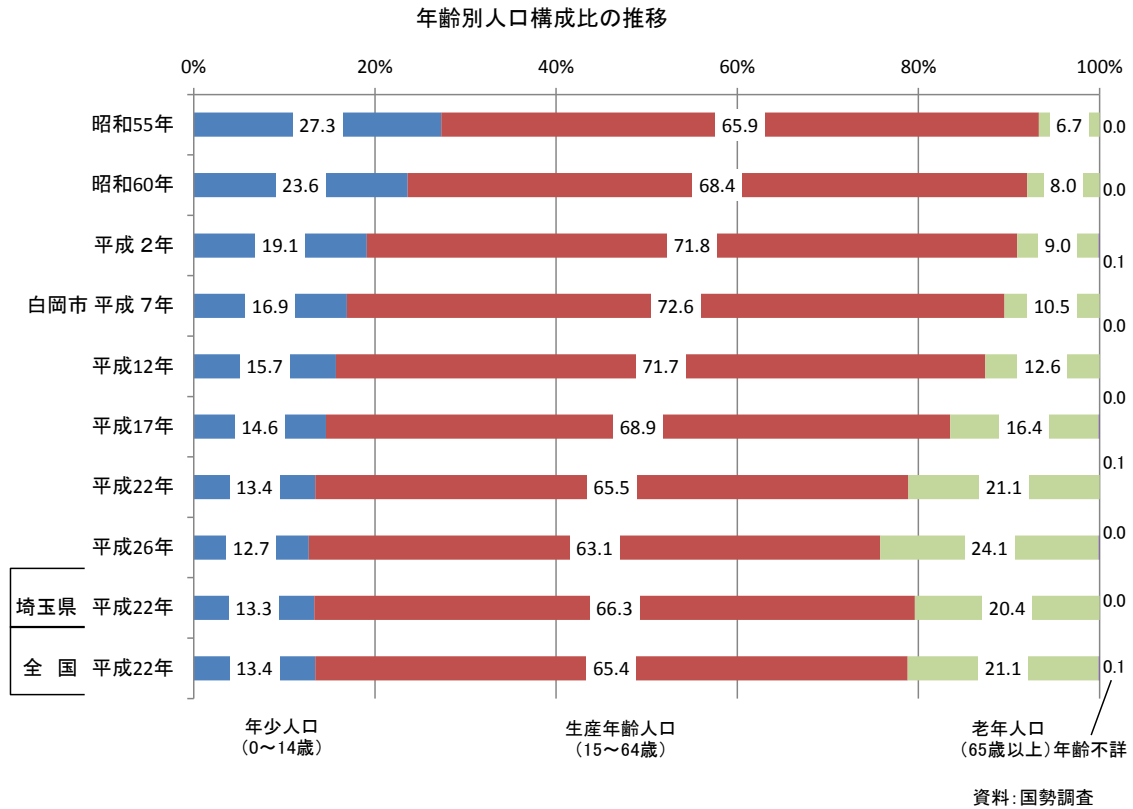
* 表中の割合は、少数第2位を四捨五入しています。
四捨五入の関係で合計の値が各項目を足し合わせた値と一致しない箇所があります。
以下、同様になっています。

注：一般世帯とは、病院、寮などの施設を除いた世帯。

資料：国勢調査

1. 3 年齢構成

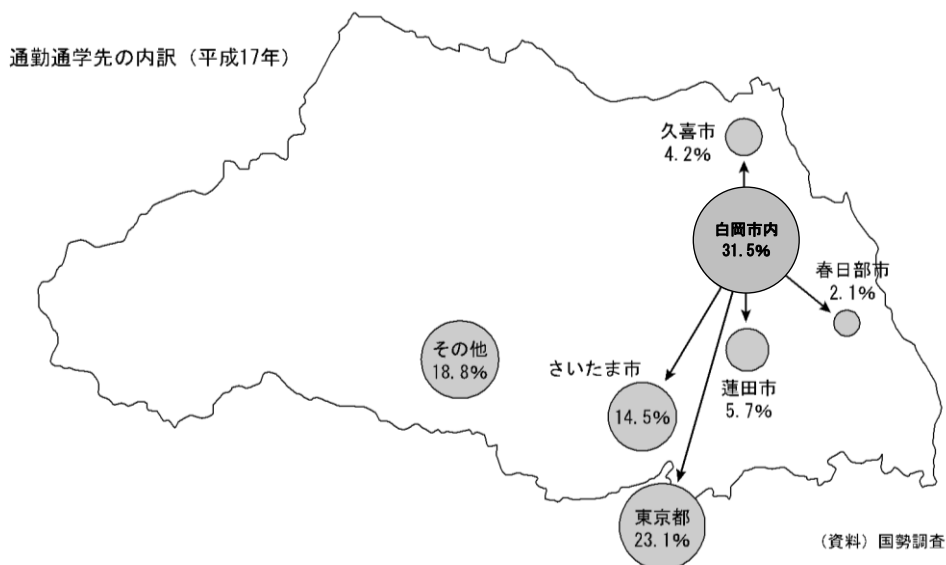
年齢別人口をみると、14歳以下の割合が減少し、65歳以上の割合が増加しています。白岡市でも少子高齢化が進んでいることがうかがえますが、その進み具合は県や全国平均に比べ幾分緩やかな状況です。



※国勢調査を基本。平成26のみ住民基本台帳を基に作成。

1. 4 通勤・通学状況

市民の通勤・通学先をみると、白岡市内に通っている人が31.5%と最も多く、次いで、東京都23.1%、さいたま市が14.5%、以下蓮田市、久喜市、春日部市の順となっています。

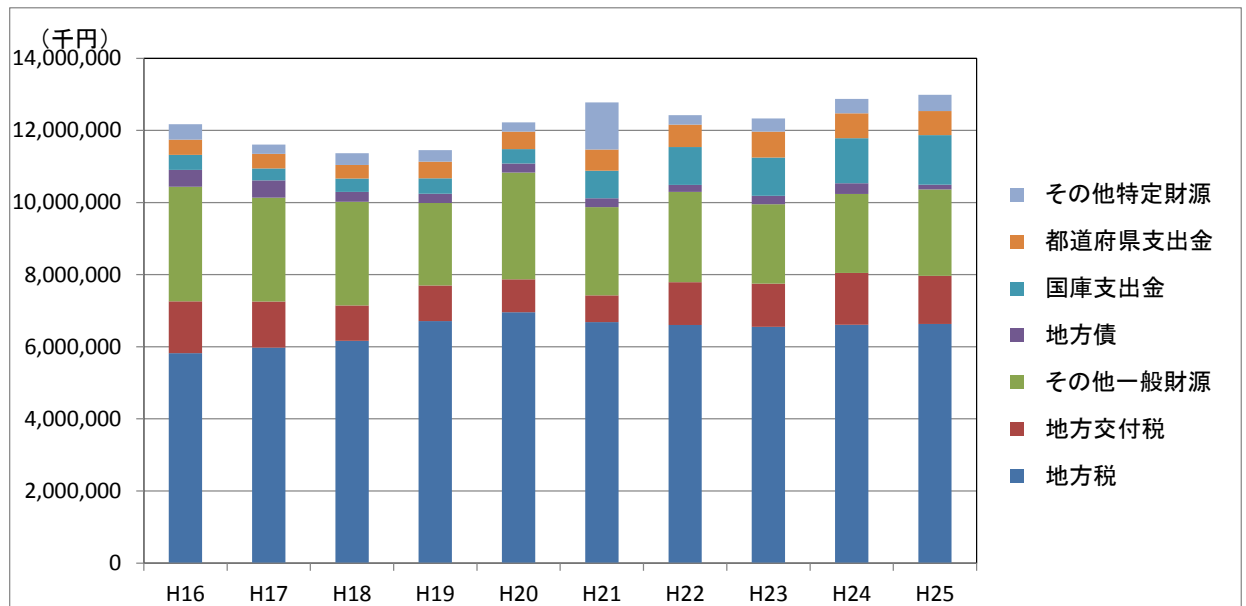


2. 白岡市の財政状況

2. 1 歳入決算額の推移

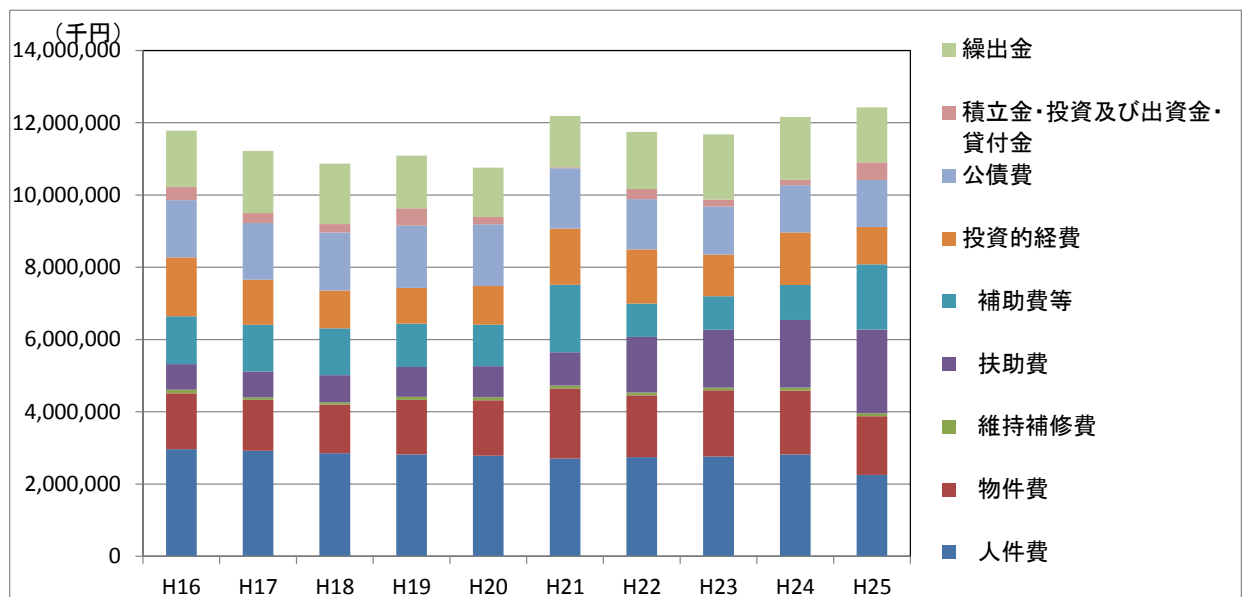
普通会計における歳入の総額は、この10年では、120億円前後で推移しておりますが、自主財源である市税収入は66億円前後となっています。市税収入の全体に占める割合は50%前後です。

*普通会計：上下水道の収支や国民健康保険事業にかかる会計（公営事業会計）以外の会計を統合して一つの会計としてまとめたものです。



2. 2 歳出決算額の推移

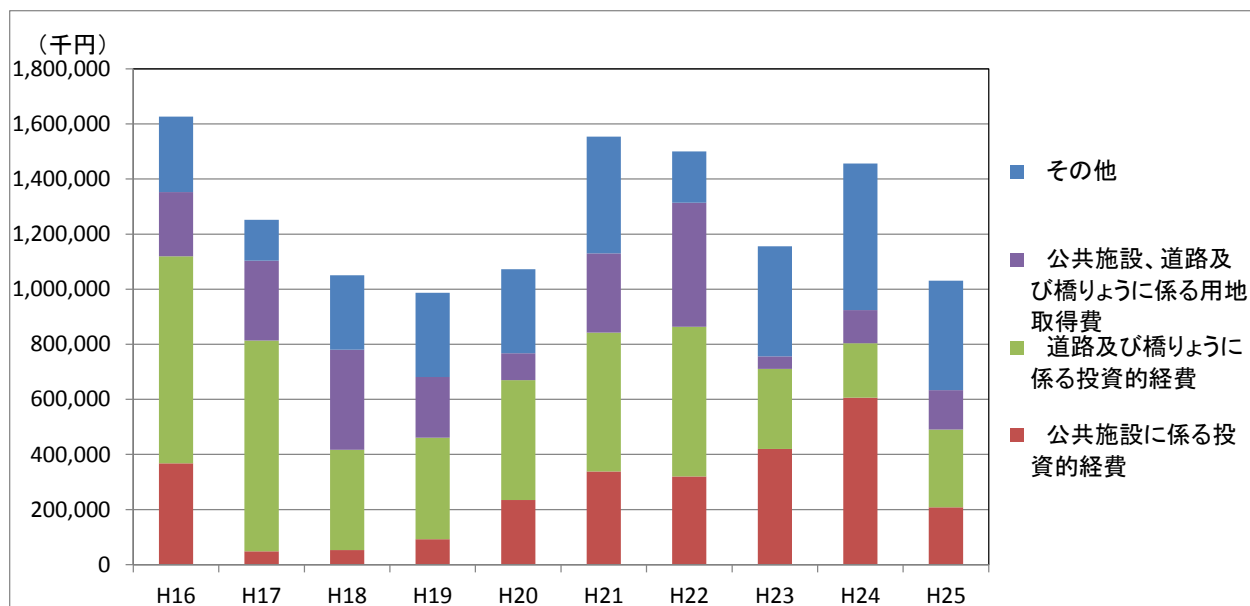
普通会計における歳出の総額は、この10年では、120億円前後で推移しています。歳出の49.3%（平成24年度）は、人件費、扶助費、公債費といった市が任意に減少させることが困難な義務的経費で占められています。



2. 3 投資的経費の推移

普通会計の歳出のうち、投資的経費について、平成16年度は16億円程度ですが、ここ数年は12～15億円程度で推移しています。

道路整備は、これまで一定量を投資してきましたが、近年は減少傾向にあります。



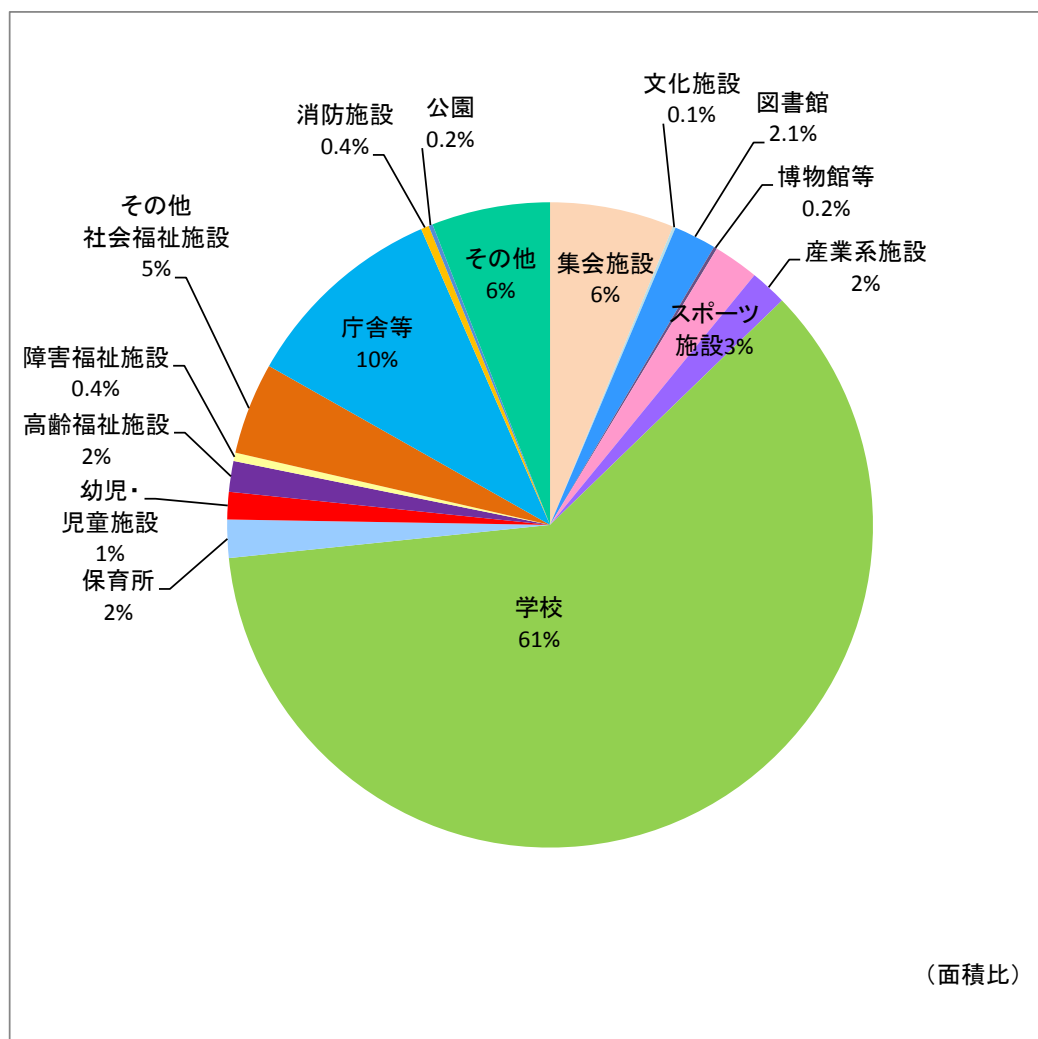
第3章 白岡市の抱える公共施設等の概況

1. 公共施設の概況

1. 1 保有する公共施設の内訳

白岡市が保有する施設は 188 施設あり、その内訳を延床面積で見ると、学校施設が 61%と最も高く、次いで庁舎が 10%、集会施設が 6%となっています（総延床面積 101,272 m²）。

【市が所有する建物内訳】



集会施設	6,296.7	幼児・児童施設	1,388.4
文化施設	139.7	高年齢福祉施設	1,556.6
図書館	2,149.3	障害福祉施設	426.1
博物館等	167.3	その他社会福祉施設	4,656.6
スポーツ施設	2,296.6	庁舎等	10,401.1
産業系施設	1,869.9	消防施設	405.9
学校	61,374.0	公園	206.7
保育園	1,932.3	その他	6,005.1

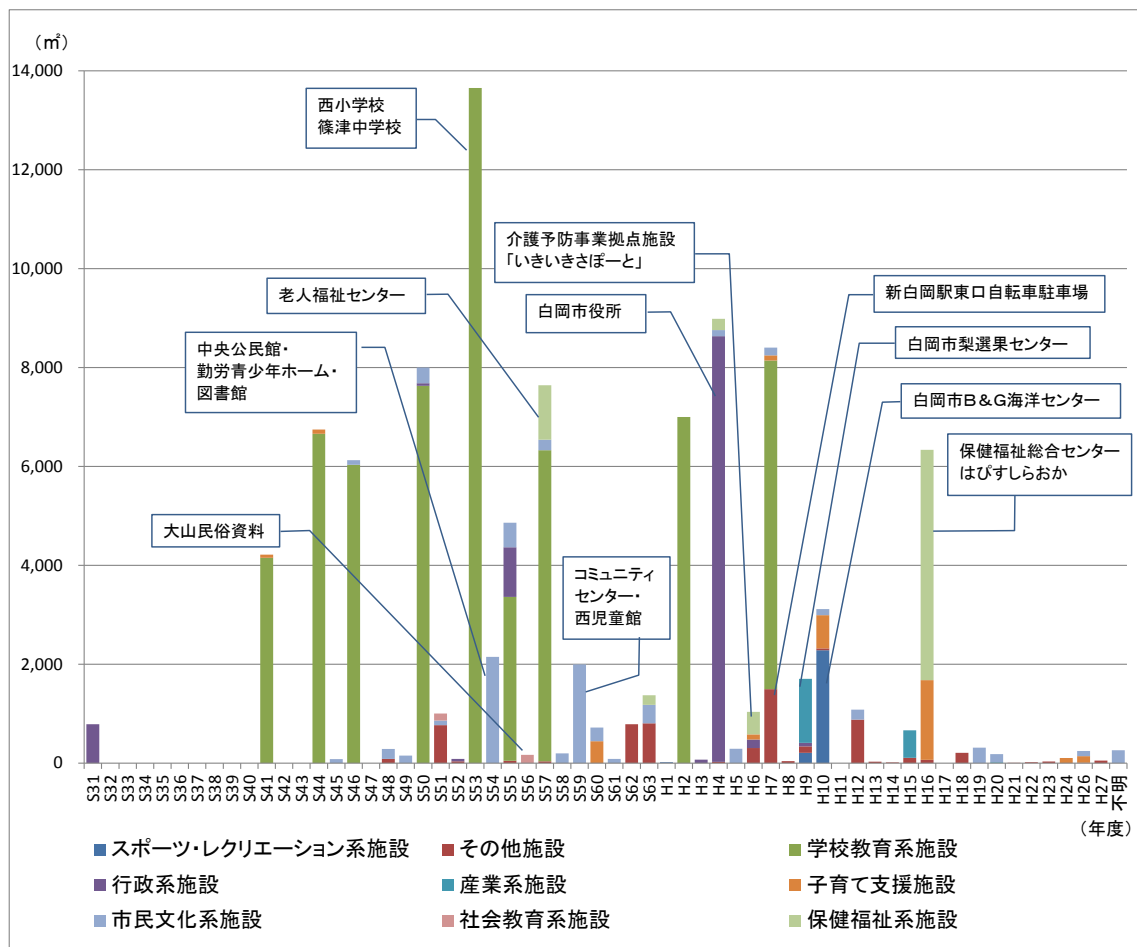
(単位: m²)

1. 2 公共施設の築年数別の整備状況

次のグラフは、白岡市が保有する公共施設の延床面積を建築年別に表記したものです。現在白岡市が保有する建物は、人口増加が急速に進んだ昭和40年代～60年代にかけて、学校教育系施設を中心として建設されたものが多く占めていることが分かります。

耐震対応のできていない施設が、全施設のうち、約17%あります。

なお、同種・同機能の施設が存在するものの、総延床面積を人口で割って算出した、一人当たりの延床面積は2.16㎡であり、全国平均(3.4㎡)と比較すると、必ずしも大きな規模ではないといえます。



2. インフラ施設の概況

2. 1 保有するインフラ施設の管理数量

(1) 道路

施設項目	種別		路線数	延長	面積	備考
道路	車道	一級市道	26	33.421km	324,351 m ²	
		二級市道	34	26.570km	203,124 m ²	
		その他市道	2,555	350.449km	1,680,898 m ²	
		合計	2,615	410.440km	2,208,373 m ²	
		歩道舗装	—	45.273km	120,739 m ²	

*一級市道：都市計画決定された街路であり、主要集落とその集落と密接な関係にある他の主要集落とを連絡する道路です。

*二級市道：集落同士を連絡する道路であり、その集落と密接な関係にある一般国道、都道府県道、一級市道とを連絡する道路です。

*その他市道：上記以外の市道で、主に日常生活に必要となる生活道路などです。

(2) 橋梁及び立体横断施設

施設項目	種別	橋梁数、施設数	面積	備考
橋梁	車道橋	198 橋	11,776m ²	
	歩道橋	1 橋	76.0m ²	
立体横断施設	自由通路	2 施設	767.0m ²	白岡駅、新白岡駅
	エレベーター	3 施設	91.2m ²	
	エスカレーター	2 施設	80m ²	

(3) 上下水道

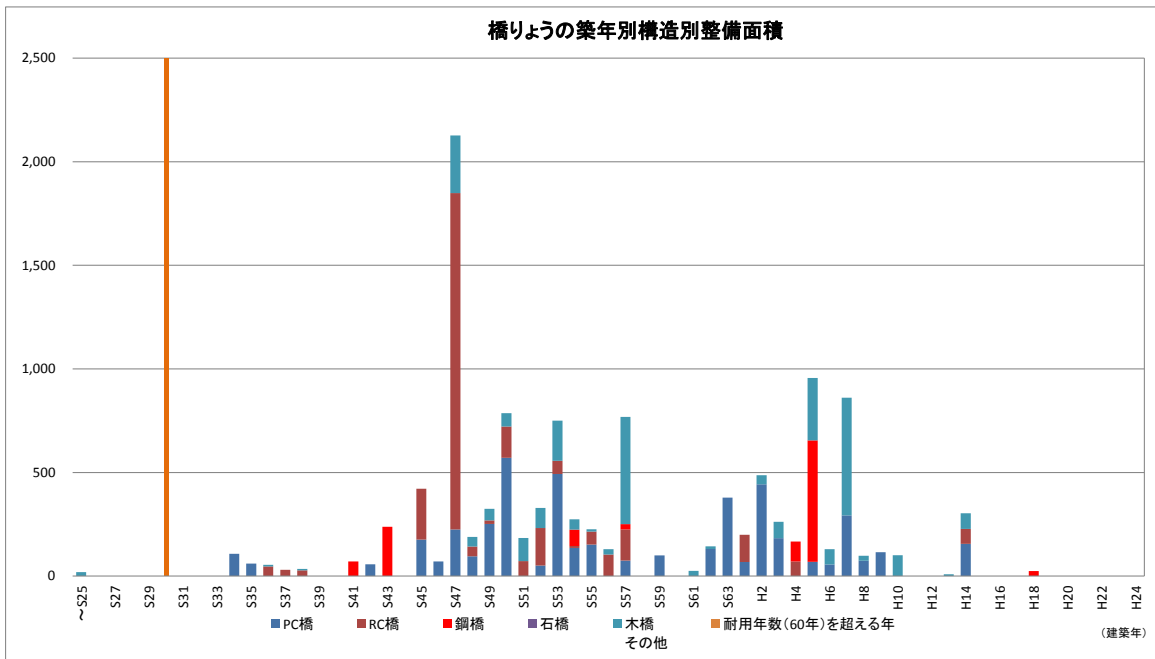
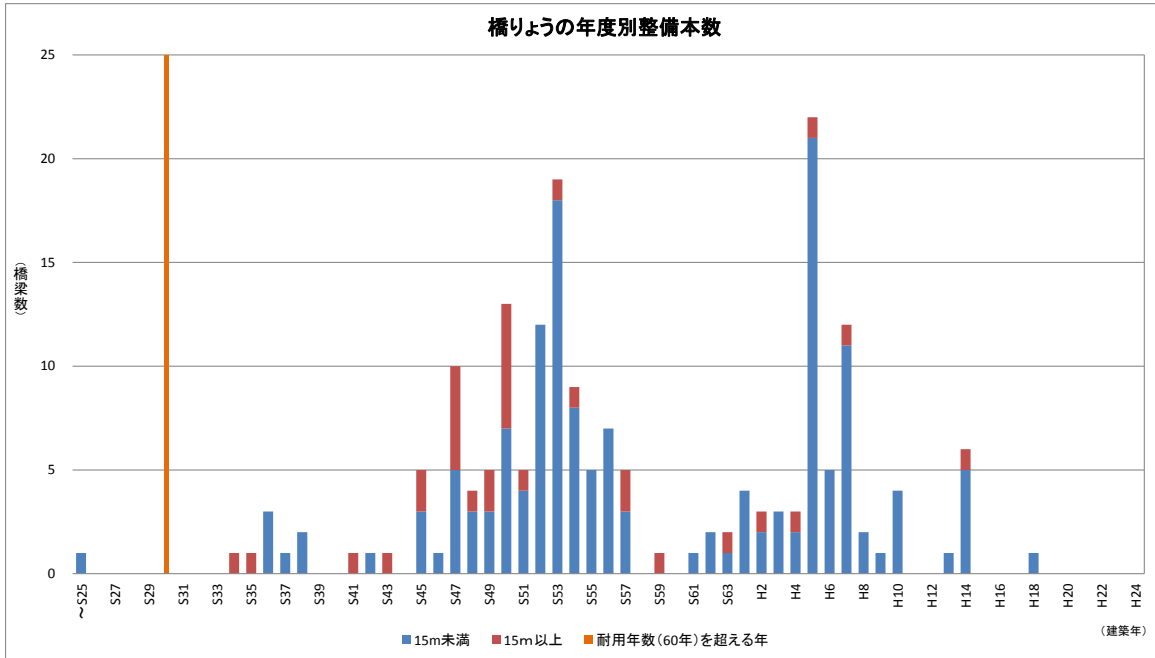
施設項目	種別	延長	備考
上水道	導水管	7.035km	
	送水管	2.244km	
	配水管	219.979km	
	合計	229.258km	

施設項目	流域	延長	備考
下水道	白岡第1処理分区	100.061km	
	白岡第2処理分区	34.902km	
	柴山地区	6.613km	農業集落排水
	大山地区	11.336km	農業集落排水
	合計	152.912km	

2. 2 インフラの整備状況

(1) 橋梁及び立体横断施設

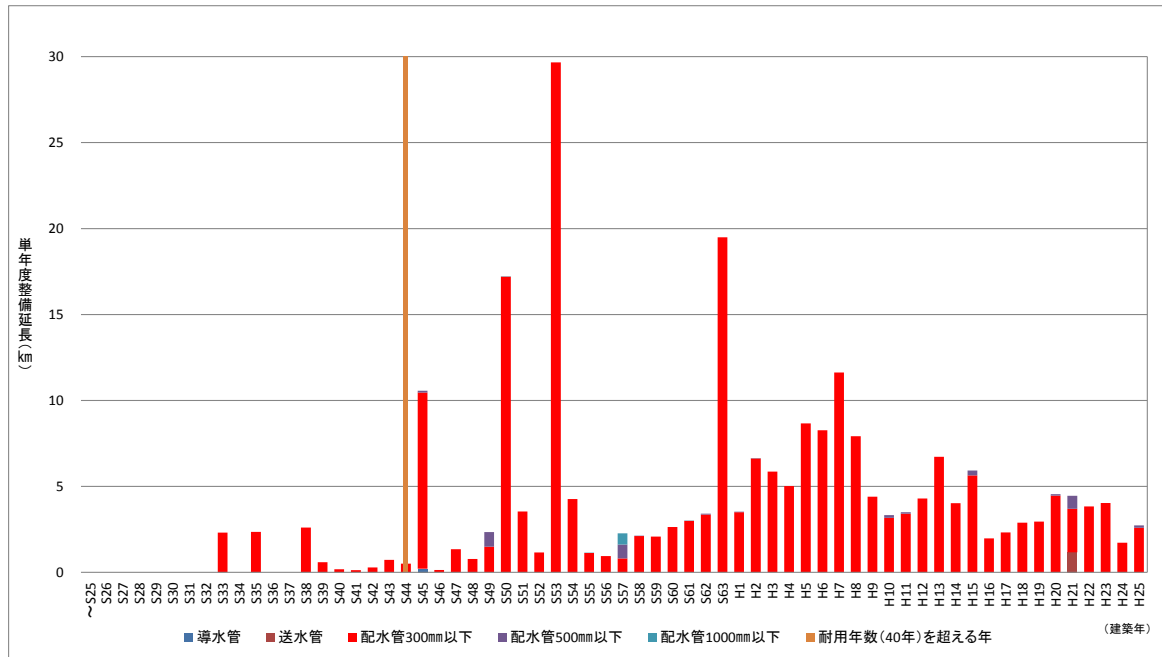
橋梁は、昭和40年代後半から昭和50年代前半にかけて、集中的に整備しています。耐用年数を60年とすると、耐用年数を超えた橋梁は現時点では1橋だけです。今から20年後の平成46年には更新のピークを迎えることが予想されます。



(2) 上下水道

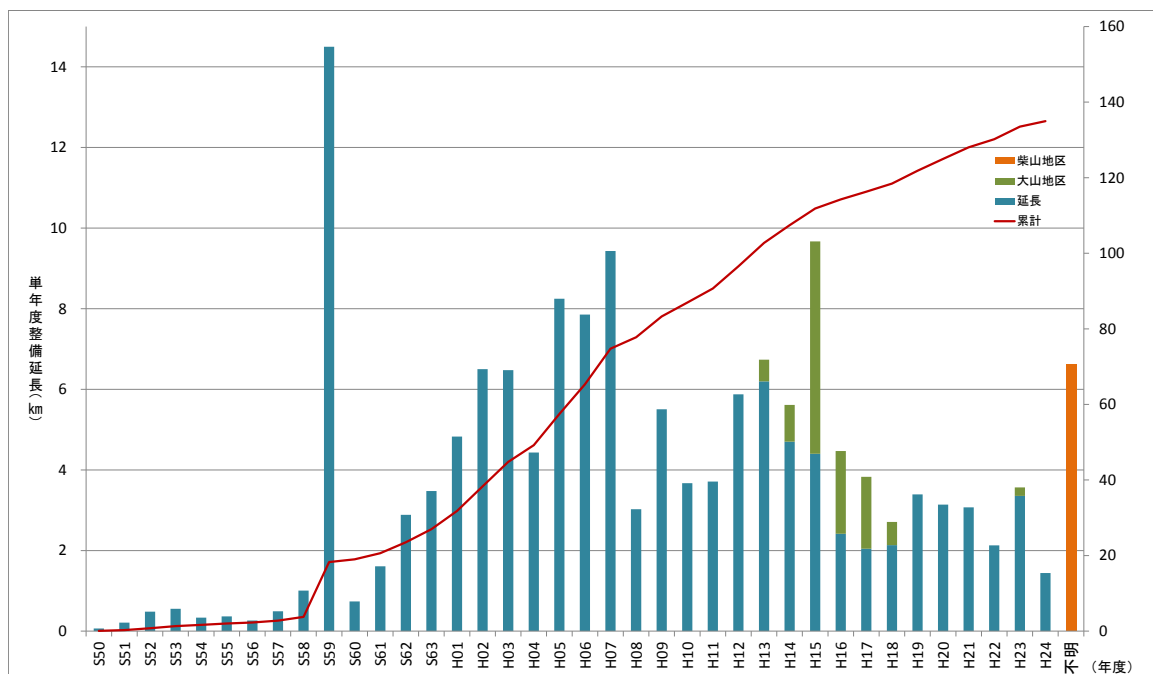
1) 上水道

昭和 45 年から整備が本格化し、昭和 45 年、昭和 50 年、昭和 53 年、昭和 63 年に集中的に整備してきました。近年は、単年度の整備量は年間約 3km を整備しており、今後も上水道の整備は続くものと考えられます。



2) 下水道

昭和 59 年に白岡第 2 処理分区において単年度に 13km を整備して以来、下水道整備が本格化し、平成 7 年まで急速に整備してきました。近年は、単年度の整備量は年間 2km～4km の間で推移していますが、今後も下水道の整備は続くものと考えられます。



3. 公共施設等に関する市民意識の現状

3. 1 市民アンケートの実施

公共施設及び道路等のインフラ施設について、普段の利用にあたって、お持ちになっているご意見をお聞きし、今後の在り方を検討するための基礎資料とするために市民アンケートを実施しました。この調査は、市内にお住まいの18歳以上の方の中から1,000人の方を無作為に選び、実施しました。

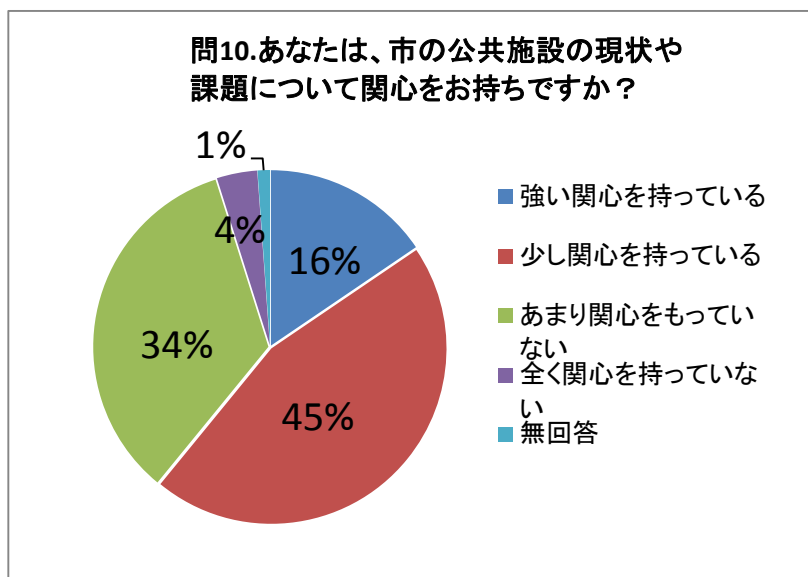
対 象：1,000名（18歳以上の市民から無作為抽出）
配 布 日：平成26年11月6日（木）に発送
回収期限：平成26年11月25日（火）中の投函
回 答 数：356票（有効回答率35.6%）

3. 2 市民アンケートの整理、分析結果

以下、いただいた回答について、アンケート結果の整理分析を行いました。

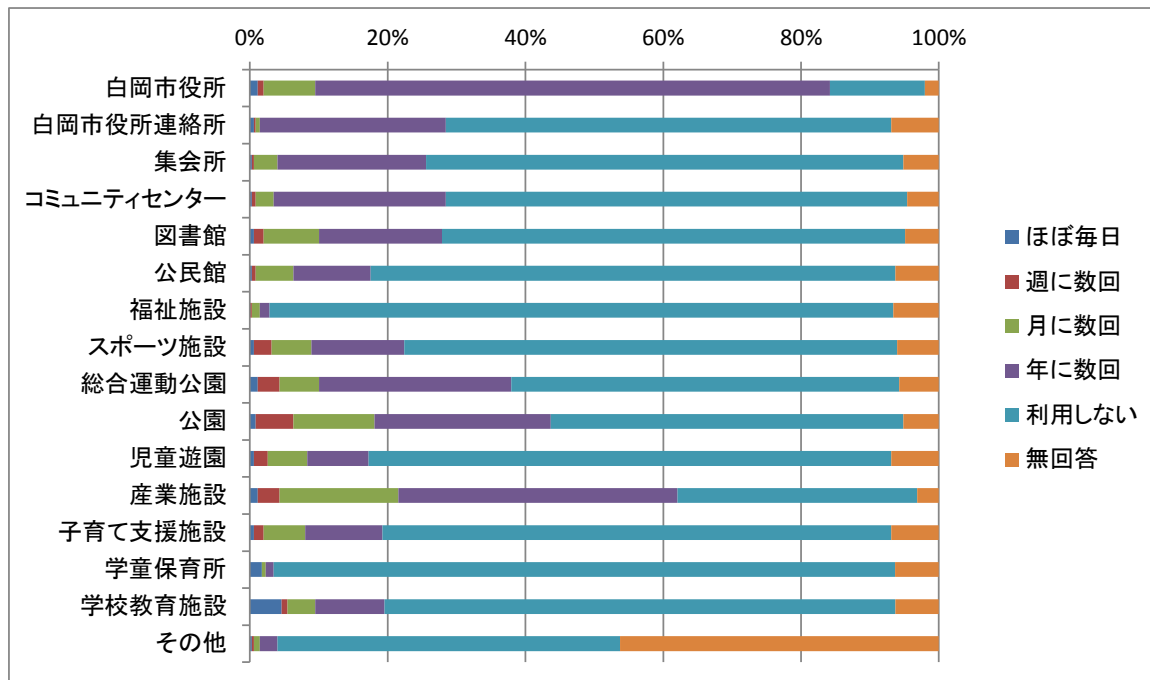
（1）市民の関心度合い

公共施設の現状や課題について、約6割の方が関心を持っていると回答しています。



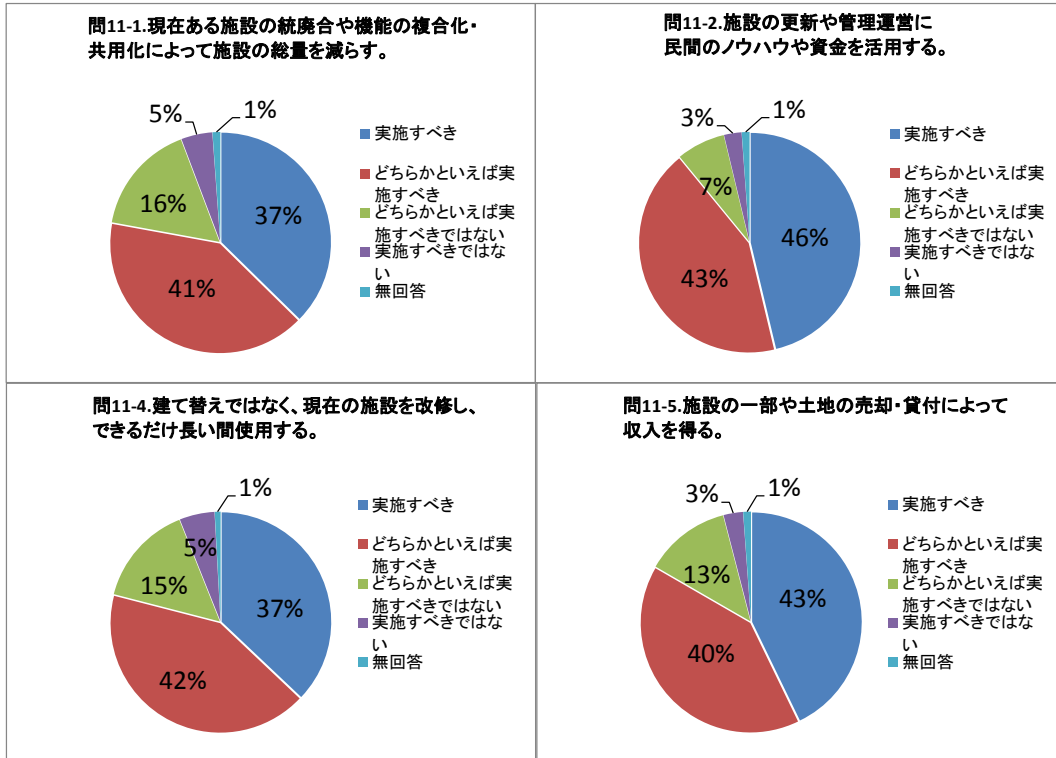
(2) 公共施設の利用状況

公共施設の利用頻度について、「市役所」は年に数回程度の利用があるものの、その他の公共施設については、「利用しない」の回答が最も多く、年数回の利用にとどまっていることが分かります。

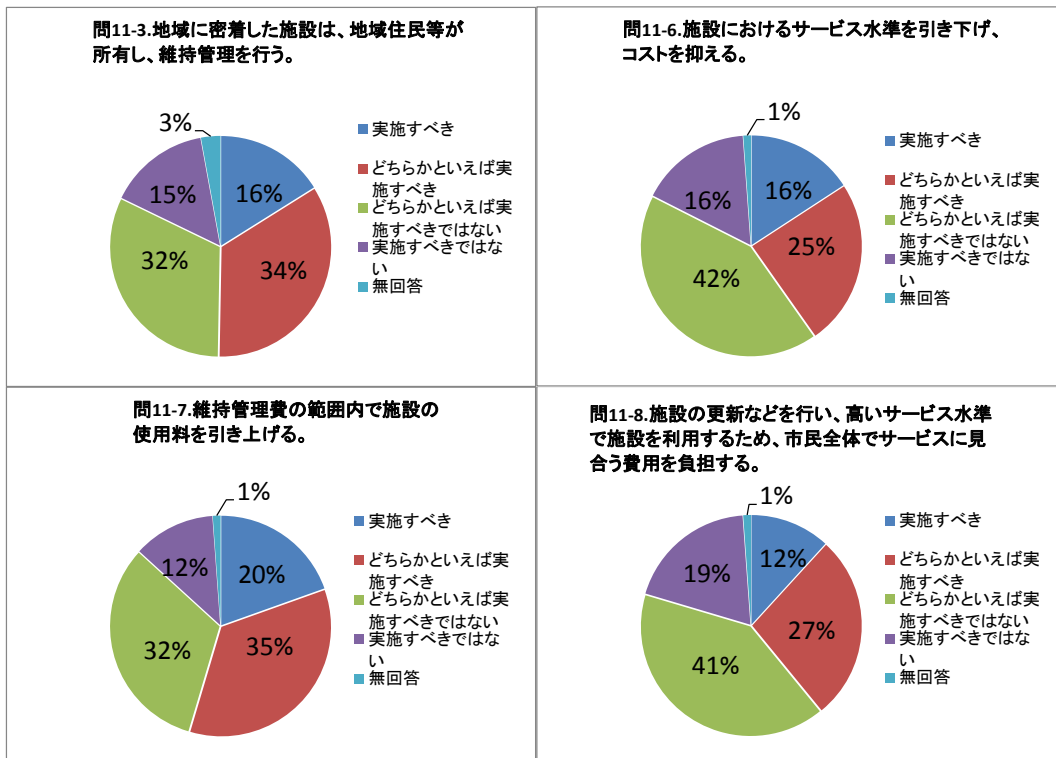


(3) 公共施設の整備や管理運営に関する市民意識

施設の統廃合や機能の複合化・共有化、更新・維持管理に民間資金やノウハウの活用、施設の一部や土地の売却・貸付による収入については、大半の市民が肯定的です。また、建て替え等ではなく、現在の施設を丁寧に使い、できるだけ長い期間使用したいとの意見もあります。

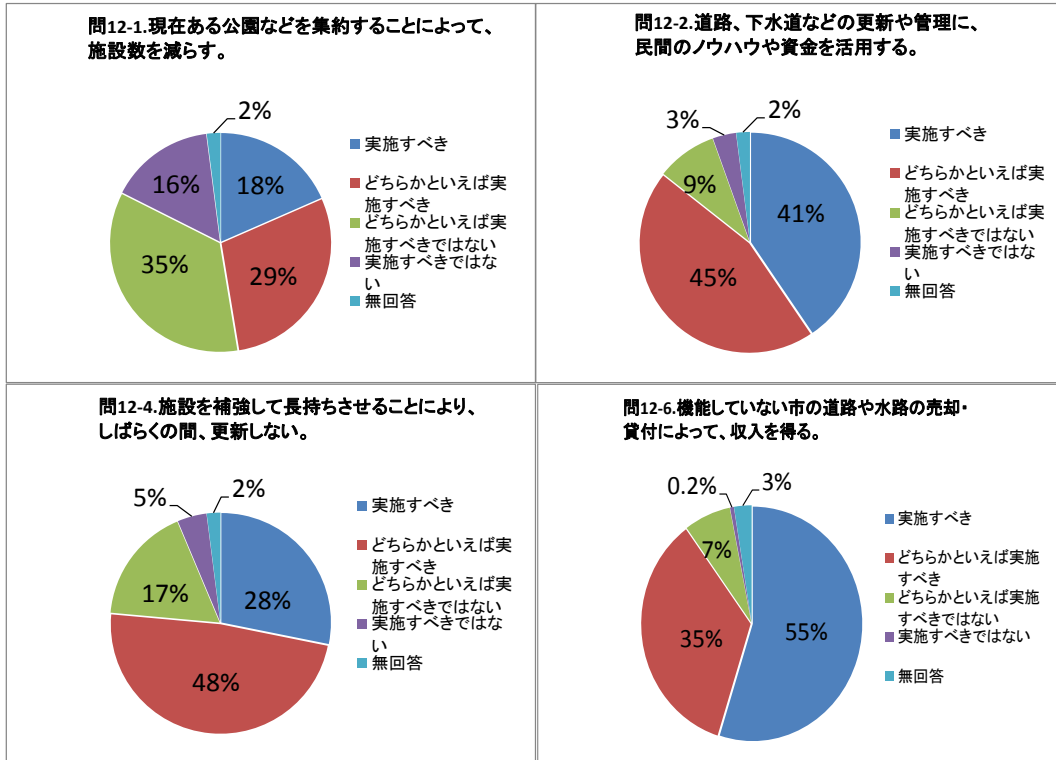


一方、地域住民による公共施設の管理運営やコスト削減のためのサービス水準の引き下げなどについては、意見が二分しています。

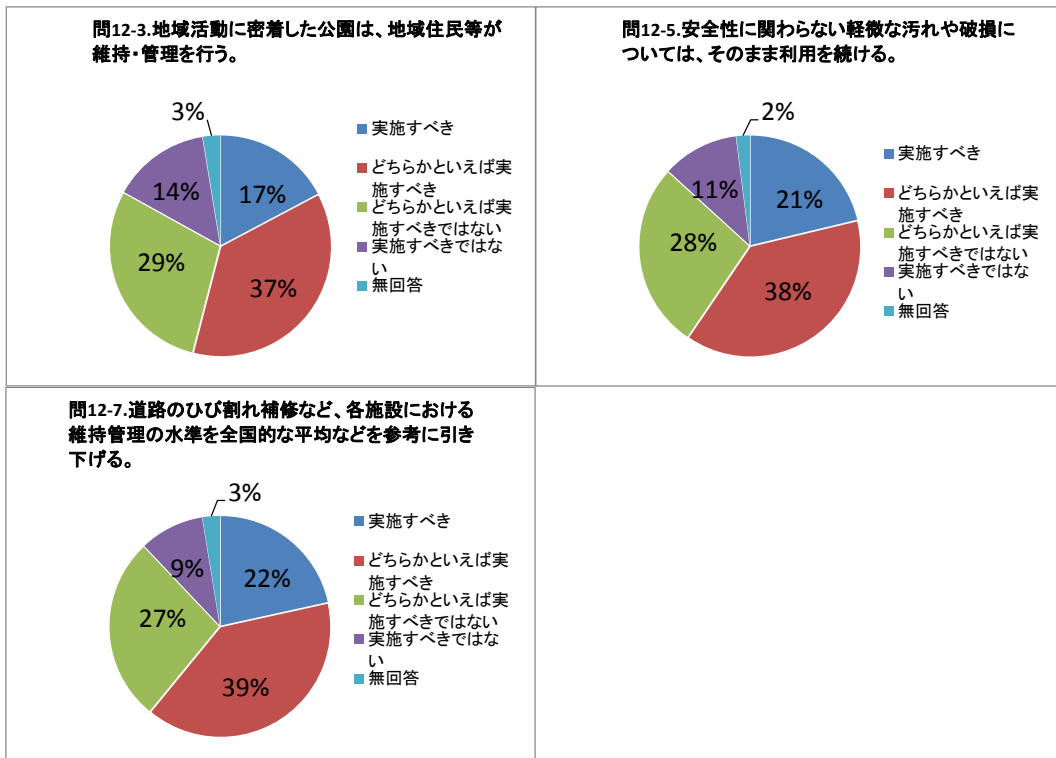


(4) インフラ施設の管理運営に関する市民意識

インフラ施設についても公共施設と同様に、更新・維持管理に民間資金やノウハウの活用や、施設の一部の売却・貸付による副収入、現在の施設を丁寧に使っていただけ長い期間使用したいとの意見があります。ただし、公共施設と異なり、公園などの集約化は意見が二分しています。



一方、インフラ施設の地域住民による維持管理については、公共施設と同様に意見が二分されるものの、公共施設と異なり、サービス水準の低下には、肯定的な意見が多く見られます。



(5) その他意見

自由意見欄には、様々な意見を頂きましたが、その中でも、公共施設については図書館の有効活用に関する意見・要望が、インフラ施設については道路の安全・安心に関する意見・要望が、数多く見られます。

【要望】

- ・図書館の充実に関する要望が多く見られます（規模、施設本体、サービス等）。
- ・道路への要望として、側溝への蓋の設置、カーブミラー、除草、歩行者空間の確保等、安全・安心に関することが多く見られます。
- ・その他の要望として、交通利便性、駅の利用、公共施設全体の配置見直し等に関する要望が多く見られます。

【提案】

- ・図書館への提案として、カフェ、コンビニ、雑貨店等との併設により、利用者（収入）増を図ることへの提案が見られる。また、他の公共施設との複合化等を図る提案が見られます。
- ・公園への提案として、周辺地域の住民や公園利用者に維持管理の一部を補ってもらうことにより費用を削減する提案が見られます。
- ・その他の提案として、民間委託を積極的に進める提案なども見られます。
- ・上記以外では、シルバー人材センターの活用についての提案が見られます。

【指摘】

- ・指摘事項として、要望として挙げられている道路の安全面の向上と、駅の利用等に関する指摘が見られます。

(6) まとめ

アンケート結果をとりまとめると、次のようになります。

1) 公共施設について

【アンケート結果の要約】

- ・公共施設の現状や課題に関心を持っている人は多いが、公共施設の利用状況については、「利用しない」の回答が最も多く、年数回の利用にとどまっています。
- ・今ある施設をできるだけ長く使い、統合化・複合化による管理費の削減や民間ノウハウの導入・資金活用、余剰施設の貸付や売却については肯定的な意見が多い。
→維持管理費を極力削減し、余剰施設の利活用による財政健全化
- ・ただし、地域住民による維持管理やサービス水準の引き下げについては、意見が二分されています。

【考えられる基本方針】

- ・指定管理者による公共施設の管理・運営（サービス水準の向上、コスト削減）
- ・施設の集約化

2) インフラ施設について

【アンケート結果の要約】

- ・公共施設と同様に、今ある施設をできるだけ長く使い、民間ノウハウの導入・資金活用については肯定的な意見が多い。
- ・安全・安心に影響のない範囲でのサービス水準の低下には肯定的な意見が多い。
→維持管理費を極力削減し、余剰施設を有効に活用し財政を健全化していく。
- ・ただし、既存施設（特に公園）の整理（統廃合）や地域住民による維持管理については、意見が二分されています。

【考えられる基本方針】

- ・インフラ施設の民間委託
- ・将来的には民間業者による道路の包括管理

【想定される背景】

- ・維持管理に携わる職員が限られている。
- ・日々、住民からの苦情対応に追われがちであり、本来の管理が満足にできない。

第4章 用途別（個別）施設の状況

【用途別（個別）施設の状況整理にあたって】

施設に関する基礎データ全般は、平成26年12月1日時点での状況を掲載しており、各項目については、以下のとおりです。

- ・ 建築年について、複数棟で構成されている施設については、主要棟の中で最も古い建物の建築年を記載しています。
- ・ 施設管理費は、当該施設の経常的な維持管理に係る経費を抜粋して記載しています。
- ・ 施設運営費は、当該施設の経常的な運営に係る経費を抜粋して記載しています。
- ・ 端数処理として、表示単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

1. 市民文化系施設

1. 1 集会施設（コミュニティセンター等）

（1）施設の概要

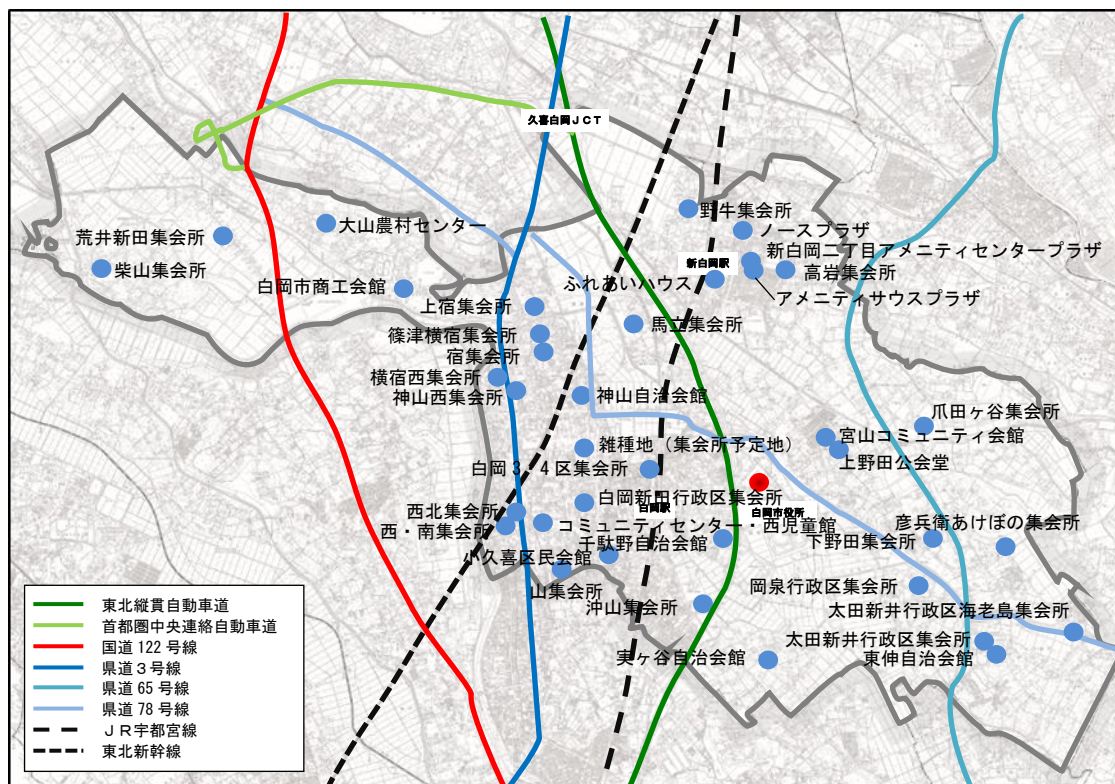
- ・ コミュニティセンターは、地域住民との連帯感を醸成し、心ふれあうコミュニティの促進と福祉・文化の向上を目的とした施設です。
- ・ また、各行政地区について、地域コミュニティの醸成を図るために整備された地域活動拠点が36施設あります。
- ・ ほとんどの施設が築30年以上を経過しています。昭和56年以前に建築された旧耐震基準の施設が10施設、昭和57年以降に建築された新耐震基準の施設が24施設です。
- ・ 緊急時の避難所としての施設です。

No.	施設名	住所	建築年	築年数	延床面積 (㎡)	耐震診断	耐震改修
1	白岡新田行政区集会所	白岡 1059-8	昭和45	44	80	未実施	未実施
2	実ヶ谷自治会館	実ヶ谷 478	昭和46	43	93.33	未実施	未実施
3	宿集会所	篠津 1798	昭和48	41	95.86	未実施	未実施
4	野牛集会所	野牛 652-1	昭和48	41	105.78	未実施	未実施
5	小久喜区民会館	小久喜 21-1	昭和49	40	151.31	未実施	未実施
6	神山自治会館	篠津 1946-2	昭和50	39	125.62	未実施	未実施
7	大山農村センター	下大崎 1341-1	昭和50	39	190.46	未実施	未実施
8	千駄野自治会館	千駄野 814-1	昭和51	38	94.05	未実施	未実施
9	商工会館	篠津 944-13	昭和55	34	496.48	未実施	未実施
10	西北集会所	西 5 丁目 1-1	昭和57	32	100.95	新耐震	新耐震
11	横宿集会所	篠津 1834-1	昭和57	32	113.44	新耐震	新耐震
12	神山西集会所	西 8 丁目 18-3	昭和58	31	98.5	新耐震	新耐震
13	西・南集会所	西 2-7-6	昭和58	31	97.71	新耐震	新耐震
14	コミュニティセンター・西児童館	白岡 857-6	昭和59	30	1,853.21	新耐震	新耐震

No.	施設名	住所	建築年	築年数	延床面積 (㎡)	耐震診断	耐震改修
15	宮山コミュニティ会館	上野田 477-249	昭和 59	30	142.44	新耐震	新耐震
16	横宿西集会所	西 10 丁目 10-20	昭和 60	29	104.57	新耐震	新耐震
17	高岩集会所	高岩 1616-1	昭和 60	29	171.62	新耐震	新耐震
18	爪田ヶ谷集会所	爪田ヶ谷 585-2	昭和 61	28	85.95	新耐震	新耐震
19	冲山集会所	小久喜 524-1	昭和 63	26	104.49	新耐震	新耐震
20	東伸自治会館	太田新井 443-2	昭和 63	26	98.34	新耐震	新耐震
21	アメニティサウスプラザ	新白岡 3-12-16	昭和 63	26	168.93	新耐震	新耐震
22	馬立集会所	篠津 2693	平成 4	22	122.1	新耐震	新耐震
23	新白岡二丁目アメニティセンタープラザ	新白岡 2 丁目 17-14	平成 5	21	167.14	新耐震	新耐震
24	彦兵衛あけぼの集会所	彦兵衛 88-1	平成 5 平成 10	21	121.07	新耐震	新耐震
25	下野田集会所	下野田 941-49	平成 7	19	156.3	新耐震	新耐震
26	岡泉行政区集会所	岡泉 1121-3	平成 10	16	122.81	新耐震	新耐震
27	太田新井行政区集会所	太田新井 1178-1	平成 12	14	108.9	新耐震	新耐震
28	太田新井行政区海老島集会所	太田新井 1371-8	平成 12	14	91.5	新耐震	新耐震
29	荒井新田集会所	荒井新田 549-1	平成 19	7	71.21	新耐震	新耐震
30	ふれあいハウス	高岩 565	平成 19	7	39.6	新耐震	新耐震
31	ノースプラザ	新白岡 1-19-4	平成 19	7	199.94	新耐震	新耐震
32	上野田公会堂	上野田 533-1	平成 20	6	161.7	新耐震	新耐震
33	上宿集会所	篠津 3074-1	平成 26	0	103.56	新耐震	新耐震
34	消防会館（白岡 3・4 区集会所）	白岡 1487-1, 6	不明	不明	72.6	未実施	未実施
35	柴山集会所	柴山 1021-2	不明	不明	119.25	—	—
36	山集会所	白岡 714	不明	不明	66	—	—

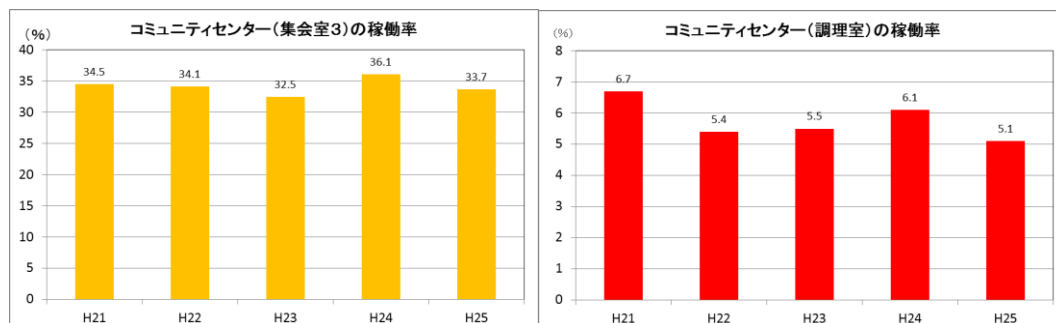
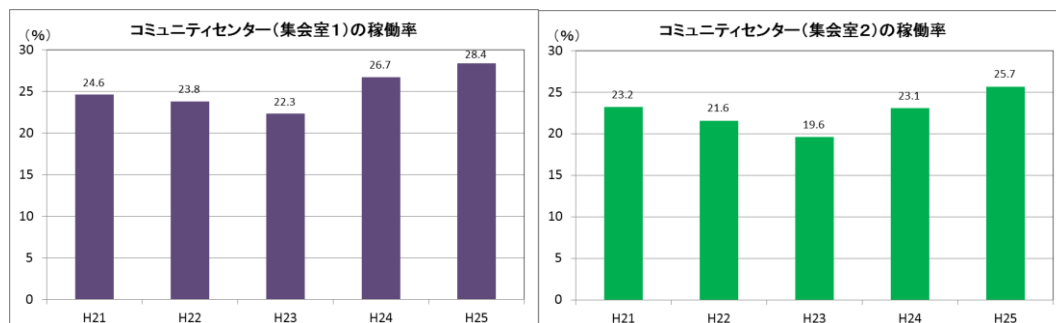
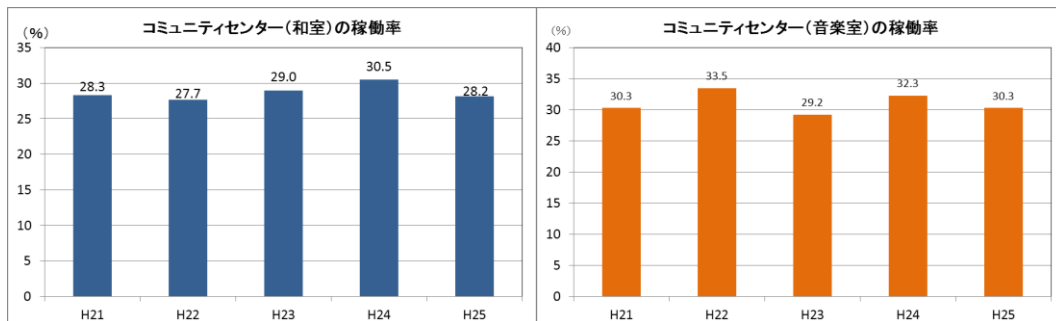
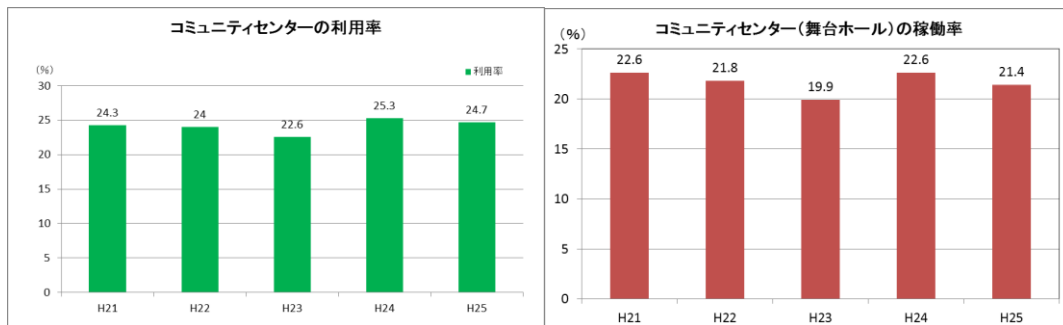
(2) 施設配置状況

各行政区にて、地域コミュニティの醸成を図るため、白岡市全域に、集会施設が点在しています。



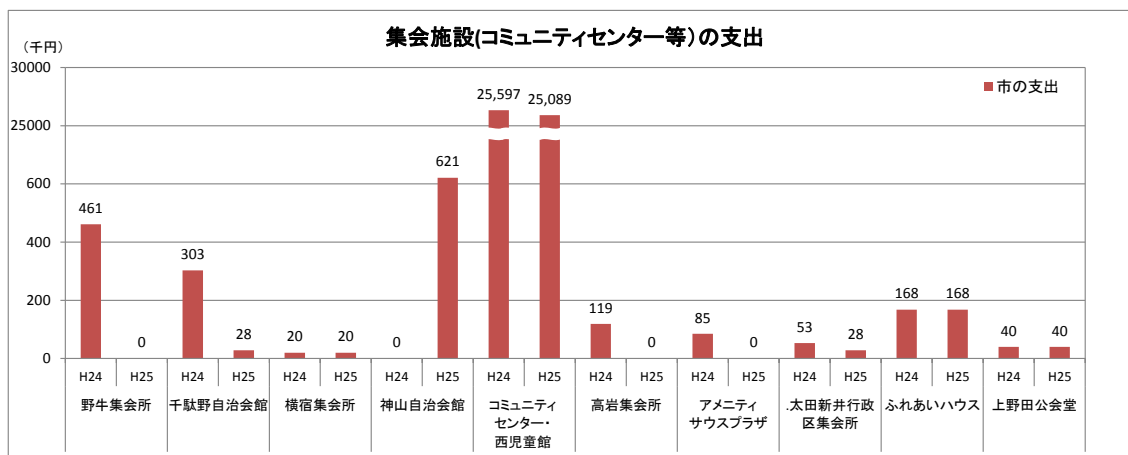
(3) 施設利用状況

- ・コミュニティセンターの過去 5 年間の年間利用回数を見ると、約 1,800 回前後の利用があります。稼働率としては、約 25% 前後の利用率となっています。
- ・平成 24 年度の 1,895 回が過去 5 年間の最多の年間利用回数です。
- ・コミュニティセンターの施設のうち、施設ごとの稼働率をみると、「集会室 3」の利用が最も多くなっています。稼働率としては、約 35% 前後で推移しています。
- ・コミュニティセンター以外の集会施設についても、適時利用されています。



(4) 施設運営状況

- ・コミュニティセンターは、指定管理者制度を利用し運営しています。
- ・コミュニティセンターの運営には、約 2,500 万円の支出が必要です。
- ・コミュニティセンター以外の集会施設のうち、掲載していない集会所は、市からの支出がない集会施設です。



(5) 検討課題

【施設状況】

- ・昭和 56 年以前に建築された旧耐震基準の施設（9 施設）について、安全性の確保が必要となる。

【利用状況】

- ・コミュニティセンターは、全体として 25%前後の利用率であるため、利用促進を図る必要がある。有効な平日利用や施設（部屋）ごとの利用形態の改善等を含めた見直しを図る必要がある。

【運営状況】

- ・老朽化に伴い、施設数も多いため、支出がかさむ恐れがあるため、修繕費の平準化を図るなど、計画的な維持修繕が必要となる。

2. 社会教育系施設

2. 1 資料館

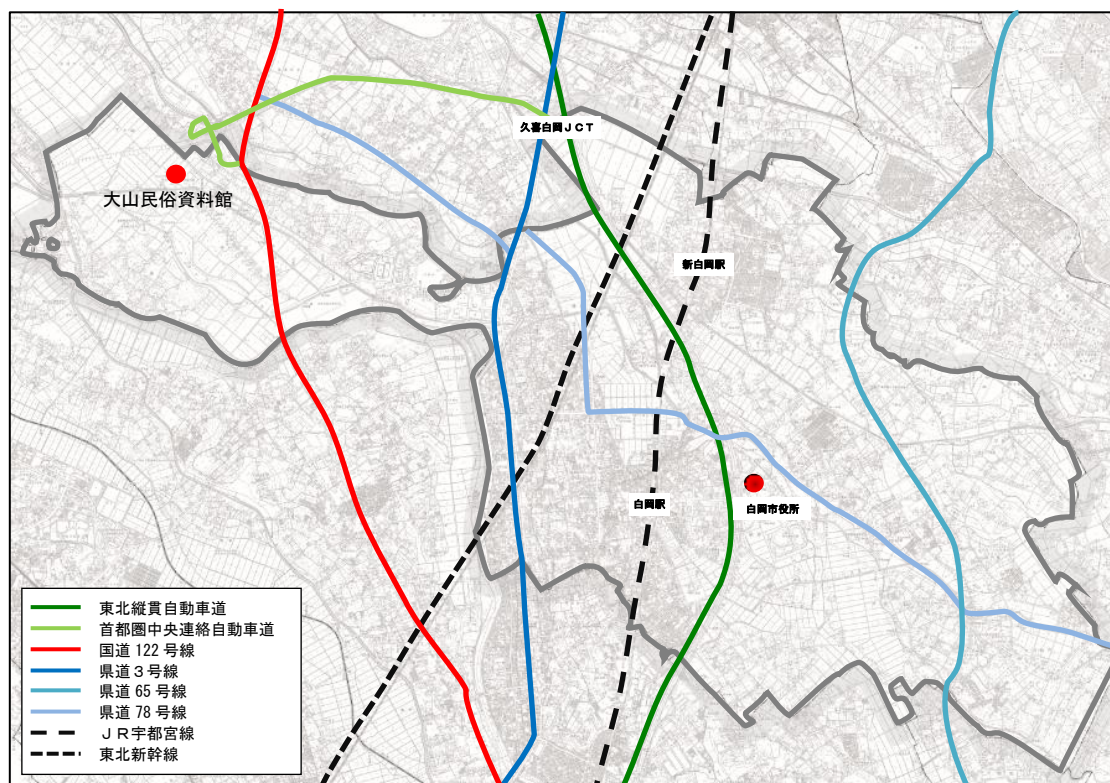
(1) 施設の概要

- ・白岡市の民俗・歴史資料・考古資料約 500 点を、展示・公開しています。昭和 56 年 7 月に開館、開館日は日曜・木曜と文化の日・こどもの日です。
- ・建物は大山小学校の木造校舎の 1 部（校長室、職員室）を使用しています。
- ・展示は、生産用具展示コーナー（畑作、稲作、梨に関する民具）、生活用具展示コーナー（衣生活、食生活、住まいに関する民具）、皿沼遺跡出土品展示コーナー等（土器、石器等）で構成されています。特に特産の「梨」に関する生産道具は貴重です。

No.	施設名	住所	建築年	築年数	延床面積 (㎡)	耐震診断	耐震改修
1	大山民俗資料館	荒井新田 342	昭和 56	33	167.26	未実施	未実施

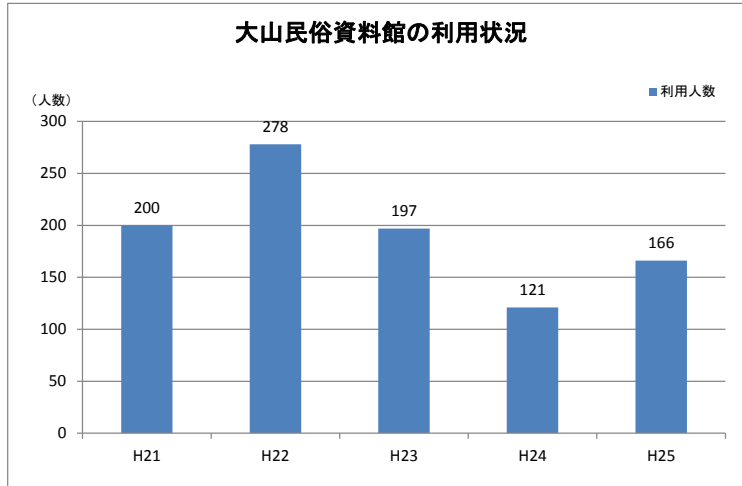
(2) 施設配置状況

白岡市の西部（荒井新田）に位置しています。



(3) 施設利用状況

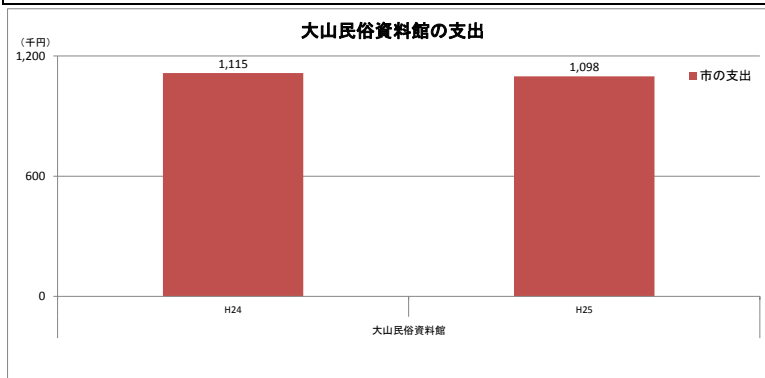
- ・大山民俗資料館の年間利用件数は、約 200 名前後で推移しています。
- ・過去 5 年間の利用者数は、平成 22 年度の 278 人が最多で、平成 24 年度の 121 人が最少となっています。



平成 21 年度：開館日数 101 日
平成 22 年度：開館日数 102 日
平成 23 年度：開館日数 102 日
平成 24 年度：開館日数 103 日
平成 25 年度：開館日数 102 日

(4) 施設運営状況

- ・当該施設は、大山小学校の木造校舎の一部を使用しており、白岡市直営となっております。
- ・平成 25 年度における、利用者一人当たりのコストは、6,614 円となっております。



※ 平成 25 年度：利用者一人当たりのコスト = 1,098 千円/166 人 = 6,614 円

(5) 検討課題

【施設状況】

- ・昭和 56 年以前に建築された旧耐震基準の施設である。

【利用状況】

- ・営利目的の施設ではないが、利用者数は非常に低く、コストも高い。

【運営状況】

- ・築 30 年を超えており、今後老朽化に伴う修繕費用などの支出がかさむ恐れがあるため、修繕費の平準化を図るなど、計画的な維持修繕が必要となる。

2. 2 社会教育施設

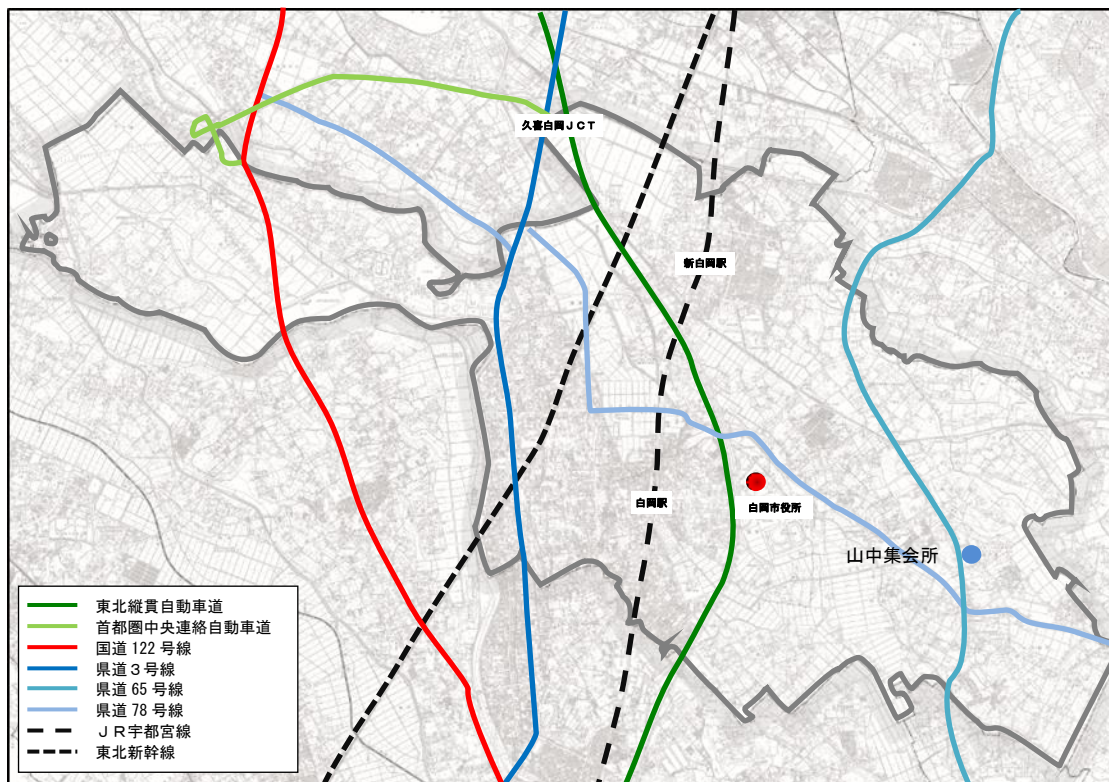
(1) 施設の概要

- ・山中集会所は、同和教育を推進するため設置した施設です。

No.	施設名	住所	建築年	築年数	延床面積 (㎡)	耐震診断	耐震改修
1	山中集会所	上野田 1714	昭和 51	38	139.65	未実施	未実施

(2) 施設配置状況

白岡市の東部に位置しています。



(3) 施設利用状況

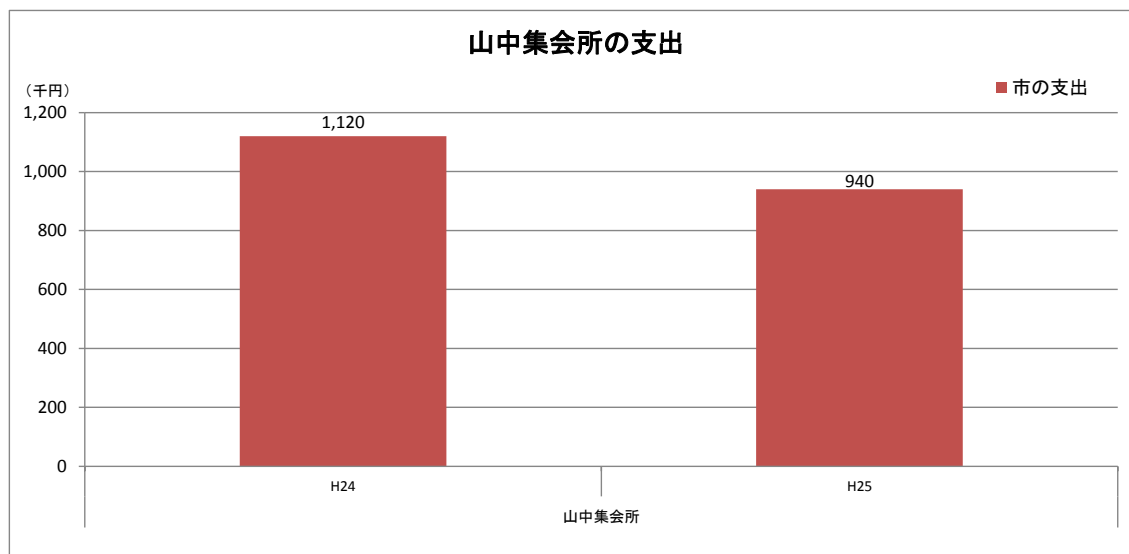
- ・山中集会所は、同和教育を推進するために設置した施設であり、畳敷きの集会施設のほか、板張りの体育室があり、年間150人～200人程度の利用申し込みがあり、このほか、随時集会所として利用しています。
- ・山中集会所の年間利用件数は、55件、利用者数は、674人となっています。

【山中集会所】

平成25年度 (いずれも延数)	
利用件数	55件
利用者数	674人
開館日数	55日
1日当たりの利用者数	12人

(4) 施設運営状況

・山中集会所は、100万円程度の支出があります。



(5) 検討課題

【施設状況】

・昭和 56 年以前に建築された旧耐震基準の施設である。

2. 3 学習施設（公民館／生涯学習センター）

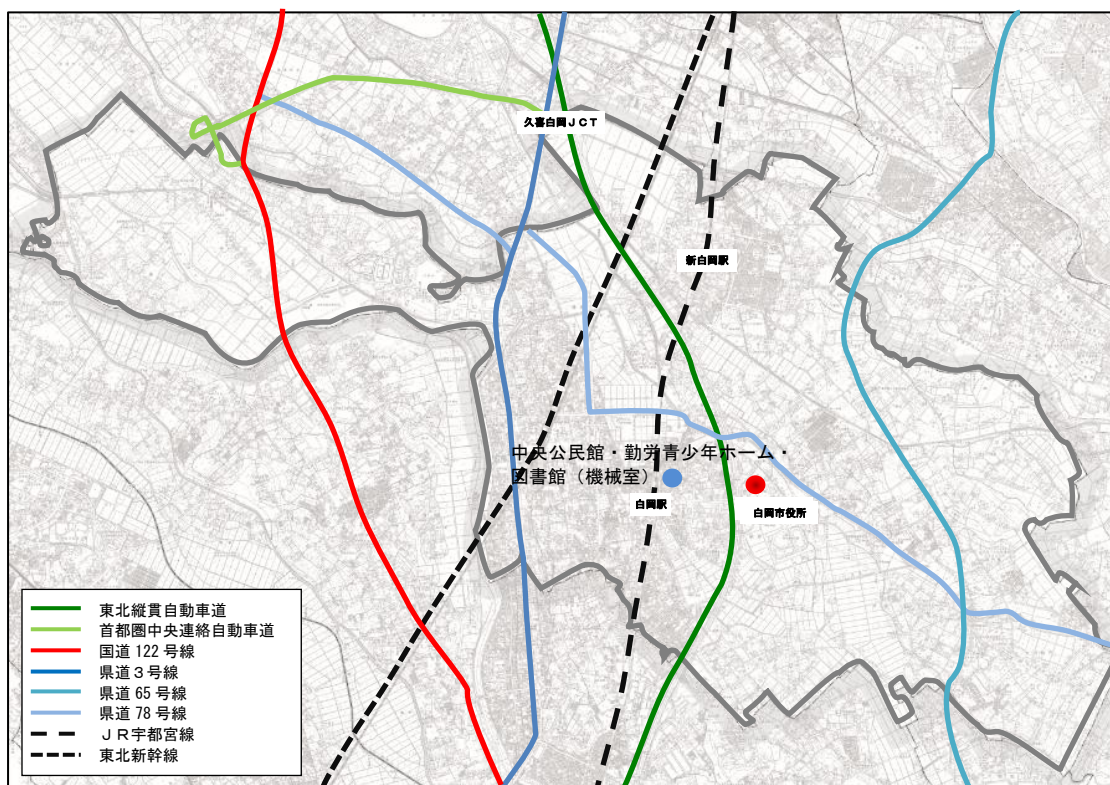
（1）施設の概要

- ・中央公民館は、地域住民の交流の場・研修の場であり、地域にひらかれた生涯学習の拠点としての機能を発揮し、多種・多様な学習欲求に応えるため、常に創意・工夫・協調及び適応の精神を基本とした生涯学習活動の場となるよう努め、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的に設置したものです。
- ・勤労青少年ホームは、明日の社会を担う働く青少年が余暇を楽しく過ごし、同じく働く仲間との語らいや交流を通して健全な社会の一員としての自覚と人間性を高めることを目的として設置したものです。
- ・耐震対応について、平成 23 年度に調査を実施し、国土交通省指針の I S O 値を上回っています。
- ・緊急時の避難所としての施設です。

No.	施設名	住所	建築年	築年数	延床面積 (㎡)	耐震診断	耐震改修
1	中央公民館・勤労青少年ホーム・図書館	小久喜 1227-1	昭和 54	35	2,149.31	実施	対応済

（2）施設配置状況

白岡市の中心に位置しています。



(3) 施設利用状況

- ・中央公民館の年間利用件数は、1,306 件、利用者数は、31,329 人となっています。
- ・勤労青年少年ホームの年間利用件数は、5,963 件、利用者数は、49,391 人となっています。
- ・図書館の年間利用件数（貸出冊数）は、190,159 冊となっており、利用者数は、78,254 人となっています。
- ・1日当たりの利用者数は、図書館（268 人）が最も多い人数となっています。

【中央公民館】

平成 25 年度（いずれも延数）

利用件数	1,306 件
利用者数	31,329 人
開館日数	308 日
1日当たりの利用者数	101 人

【勤労青年少年ホーム】

平成 25 年度（いずれも延数）

利用件数	5,963 件
利用者数	49,391 人
開館日数	308 日
1日当たりの利用者数	160 人

【図書館】

平成 25 年度（いずれも延数）

利用件数(貸出冊数)	190,159 冊
利用者数	78,254 人
開館日数	292 日
1日当たりの利用者数	268 人



【3施設合計】

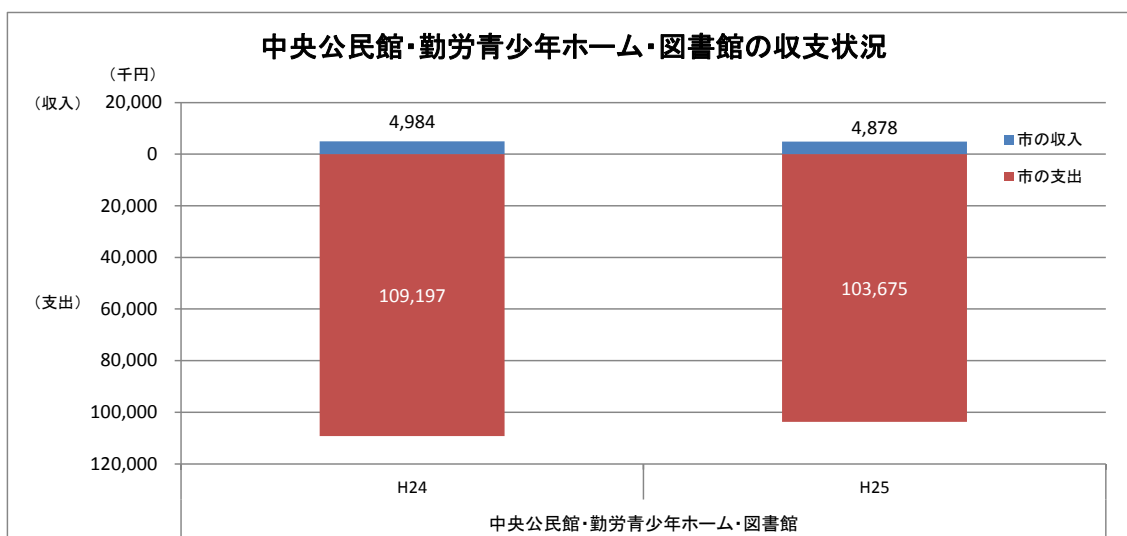
平成 25 年度（いずれも延数）

利用者数	158,974 人
開館日数(最大日数)	308 日
1日当たりの利用者数	529 人

(参考：平成 25 年 12 月度人口 51,229 人)

(4) 施設運営状況

- ・当該施設は、白岡市直営となっております。
- ・平成 25 年度における、利用者一人当たりのコストは、621 円となっております。



※ 収支状況 (支出-収入)

平成 24 年度 : 109,197 千円 - 4,984 千円 = 104,213 千円

平成 25 年度 : 103,675 千円 - 4,878 千円 = 98,797 千円 (平成 24 年度より 5.2%減)

(利用者一人当たりのコスト = 98,797 千円/158,974 人 = 621 円)

(5) 検討課題

【施設状況】

- ・昭和 56 年以前に建築された旧耐震基準の施設ではあるが、耐震対応については、平成 23 年度に調査を実施し、国土交通省指針の I S 値を上回っている。

【利用状況】

- ・規模に比べて、利用者数は低く、コストも高めである。
- ・有効な平日利用や施設（特に体育設備や蔵書）の改善・拡充等を含めた見直しを図る必要がある。

【運営状況】

- ・築 35 年を超えており、今後老朽化に伴う修繕費用などの支出がかさむ恐れがあるため、修繕費の平準化を図るなど、計画的な維持修繕が必要となる。

3. 保健福祉系施設

3. 1 高齢者福祉施設

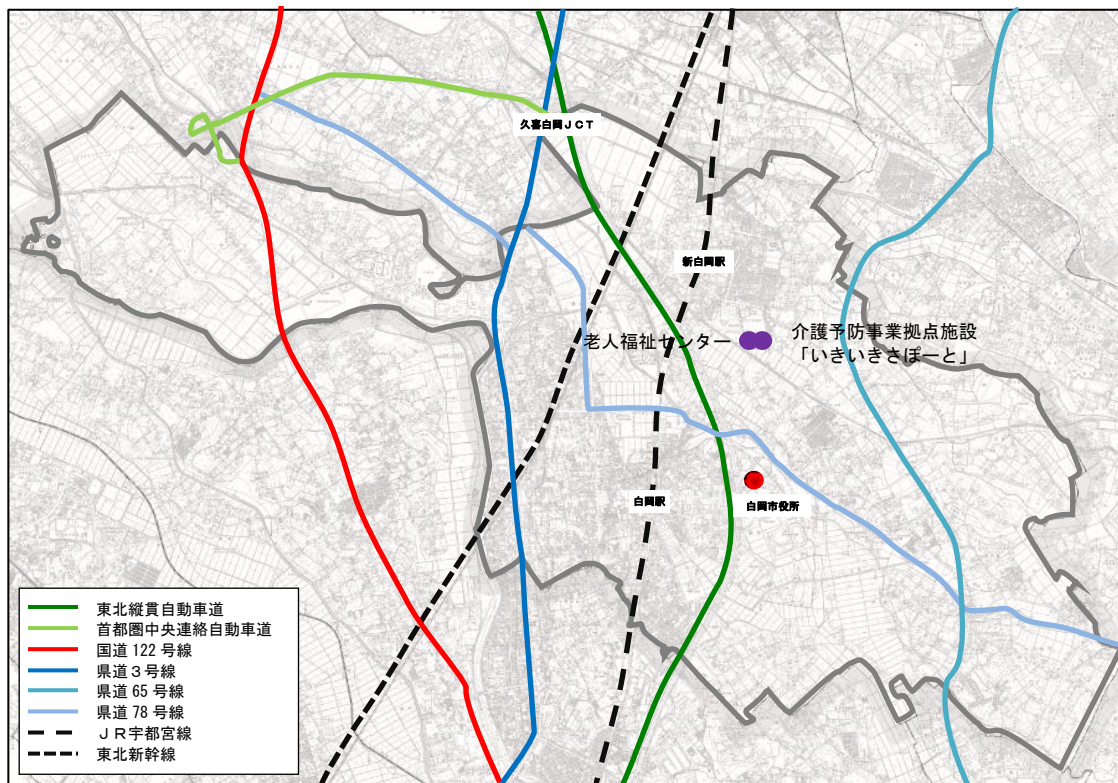
(1) 施設の概要

- ・老人福祉センターは、昭和 57 年、高岩地内に開所した高齢者の憩いの施設です。ステージつき大広間、軽運動室、娯楽室（図書コーナー）、浴室、リハビリコーナーなどがあり、多くの高齢者が利用しています。
- ・老人福祉センターは、緊急時の避難所としての施設です。
- ・介護予防事業拠点施設「いきいきさぼと」は、介護予防を目的としたトレーニング室や多目的室を完備した施設です。
- ・介護予防事業拠点施設は、福祉避難所指定施設です。
- ・昭和 57 年以降に建築された新耐震基準の施設です。

No.	施設名	住所	建築年	築年数	延床面積 (㎡)	耐震診断	耐震改修
1	老人福祉センター	高岩 2177	昭和 57	32	1,098.83	新耐震	新耐震
2	介護予防事業拠点施設「いきいきさぼと」	高岩 2177-1	平成 6	20	457.78	新耐震	新耐震

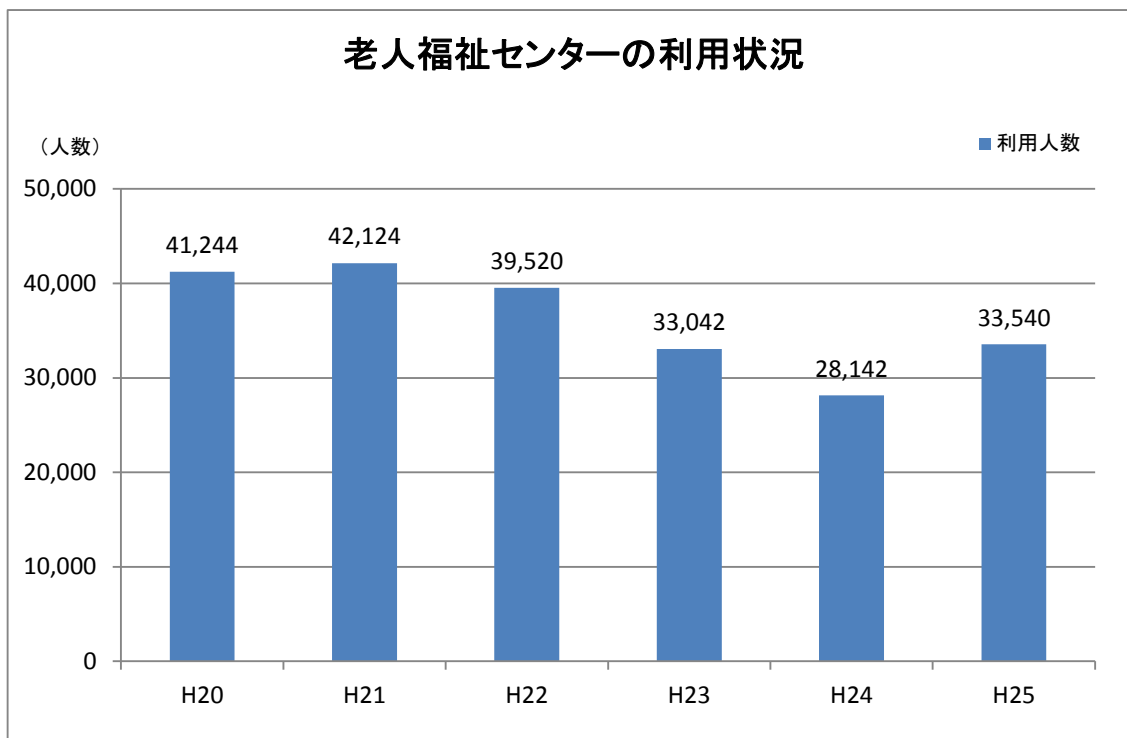
(2) 施設配置状況

白岡市の北東部（高岩地区）に位置しています。



(3) 施設利用状況

- ・老人福祉センターの過去6年間の年間利用者数は、平成20年度～平成22年度までは、約40,000人前後であったものの、平成23年度～平成25年度までは、約33,000人前後で推移している。
- ・1日あたりの利用者数としては、約100人～150人で推移している。

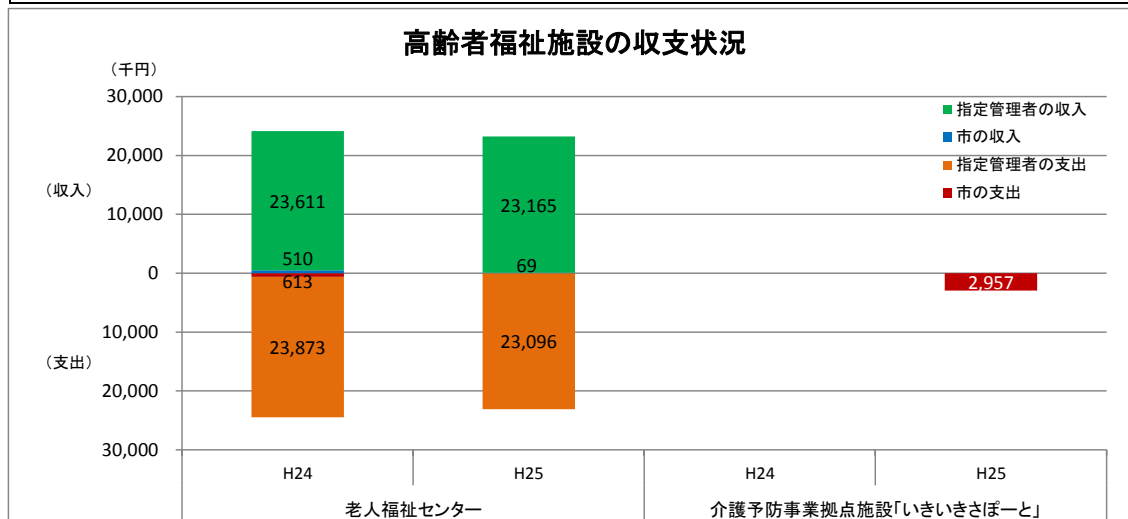


平成20年度：開館日数291日、1日あたりの利用者数141.7人
 平成21年度：開館日数290日、1日あたりの利用者数145.3人
 平成22年度：開館日数278日、1日あたりの利用者数142.2人
 平成23年度：開館日数287日、1日あたりの利用者数115.1人
 平成24年度：開館日数292日、1日あたりの利用者数96.4人
 平成25年度：開館日数290日、1日あたりの利用者数115.6人

バリアフリー対応状況	有	
エレベーター	無	
スロープ	有	
手すり	有	
障害者用トイレ	有	
点字誘導ブロック	無	
自動ドア	有	
環境対応状況	無	
再生可能エネルギーの導入	無	
建物緑化	無	
環境対応設備の導入	無	
老朽化状況		
大規模修繕	未実施	

(4) 施設運営状況

- ・老人福祉センターは、指定管理者制度を利用し運営しています。
また、平成 25 年度は収入が支出を上回っております。
- ・介護予防事業拠点施設「いきいきさぼーと」は、白岡市直営となっております。



※ 老人福祉センターの収支状況（支出-収入）

平成 24 年度：23,873 千円 - 23,611 千円 = 262 千円

平成 25 年度：23,096 千円 - 23,165 千円 = -69 千円（支出<収入）

(5) 検討課題

【施設状況】

- ・両施設とも、昭和 57 年以降に建築された新耐震基準の施設である。

【利用状況】

- ・老人福祉センターについては、1 日当たりの利用者数は 100~150 人程度で推移している。
- ・当該施設は、最寄駅からは 1 km 以上離れているが、指定管理者の送迎があります。公共交通手段の拡充を図り、市内全域からのアクセスがより良好となることが望ましい。

【運営状況】

- ・福祉的な施設であるが、老人福祉センターについては、収入が支出を上回っており、比較的良好であるといえる。

3. 2 障害者支援施設

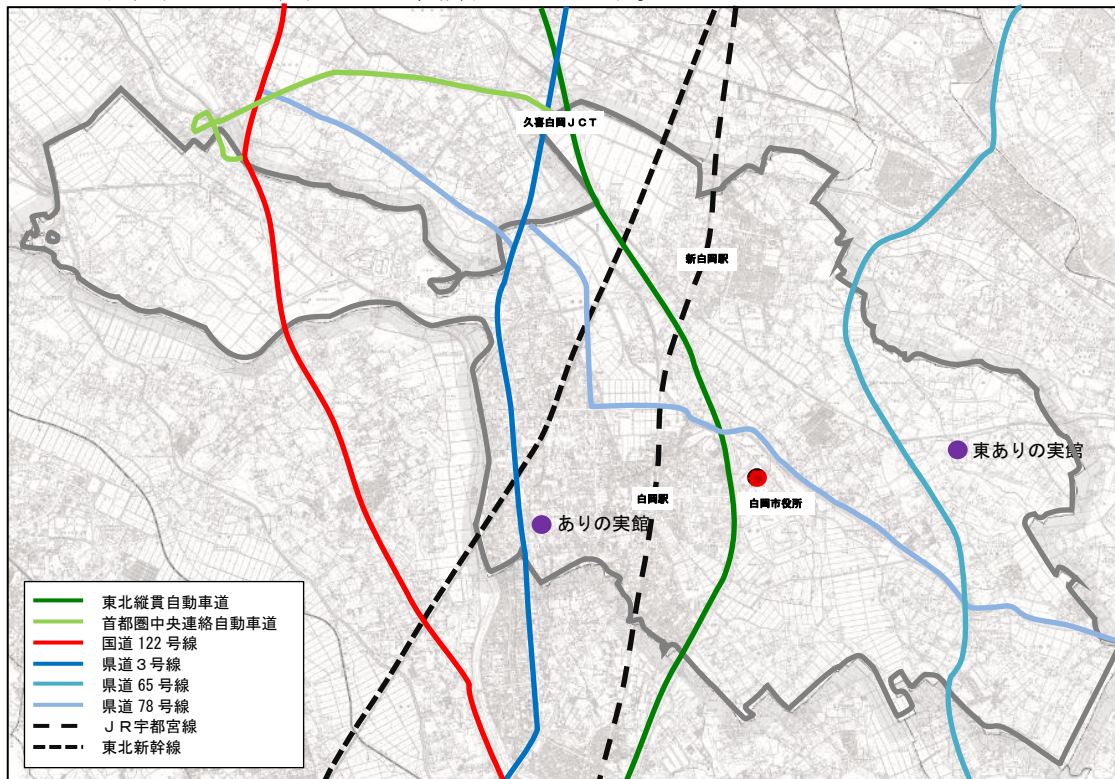
(1) 施設の概要

- ・「ありの実館」は、一般企業での就労が困難な人に、働く場を提供とともに、知識及び能力の向上のために必要な訓練を行う施設で、自主生産品のみかんせっけん販売、ウエス製造販売、アルミ缶回収のほか、企業の下請け作業などを行っています。また、ボランティアの協力を得て、生け花や茶道などの活動も取り入れています。市内のバザーや館のフェスティバル、古着市などの各種行事を年間通じて活動しています。
- ・「東ありの実館」は、一般企業での就労が困難な人に、働く場を提供とともに、知識及び能力の向上のために必要な訓練を行う施設で、自主生産品のみかんせっけん、施設内で採れた農作物、ウエスの製造販売のほか、企業の下請け作業などの作業訓練を行っています。また、ボランティアの協力も得て、生け花や茶道を取り入れた活動を行っています。白岡高校の「ありの実祭」や小中学校のバザーに参加し、地域の行事にも積極的に参加しています。自然に囲まれた環境で「ありのまま祭」を毎年5月に開催し、さまざまな行事を年間通じて活動しています。
- ・昭和57年以降に建築された新耐震基準の施設です。

No.	施設名	住所	建築年	築年数	延床面積 (㎡)	耐震診断	耐震改修
1	ありの実館	白岡 805-2	昭和 63	26	196.02	新耐震	新耐震
2	東ありの実館	爪田ヶ谷 52-3	平成 4	22	230.04	新耐震	新耐震

(2) 施設配置状況

白岡山と爪田ヶ谷地内に、所在しています。



(3) 施設利用状況

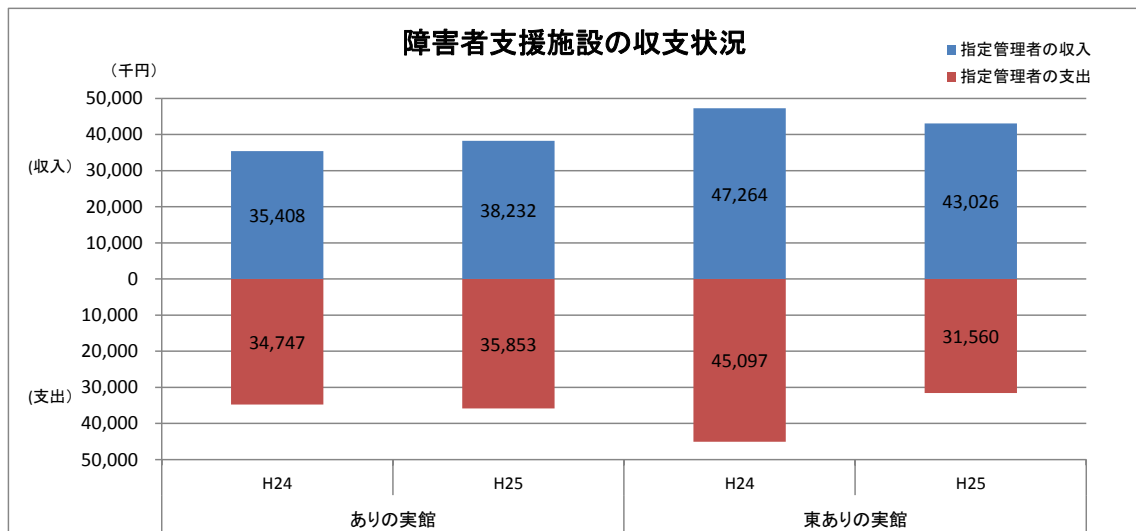
- ・ありの実館、東ありの実館、同様に定員 20 名、利用登録者 19 名となっています。

【ありの実館、東ありの実館も同様】平成 26 年現在

- ・障害者支援施設（就労継続支援 B 型事業所）
- ・定員：20 名
- ・利用登録者：19 名

(4) 施設運営状況

- ・ありの実館、東ありの実館、両施設とも、指定管理者制度を利用し運営しています。
- ・ありの実館は、約 3,500 万円程度、東ありの実館は約 3,800 万円程度の支出があります。
- ・東ありの実館は、平成 25 年度に約 1,400 万円程度の支出削減となっています。
- ・両施設とも、収入が支出を上回っており、運営状況は良好です。



(5) 検討課題

【施設状況】

- ・両施設とも、昭和 57 年以降に建築された新耐震基準の施設である。

【利用状況】

- ・ほぼ定員どおりの利用登録状況にある。

【運営状況】

- ・平成 25 年度に大幅な支出削減となっており、今後も継続的に運営状況の改善を図ることが必要である。

3. 3 保健福祉施設

(1) 施設の概要

- ・ 幼児・高齢者・障害者の方々の健康と充実した生活を支援するための施設です。はびすしらおか内には様々な施設が整備されています。

【1階】

- ・ 保健センター
- ・ 社会福祉協議会
- ・ デイサービスセンター

【2階】

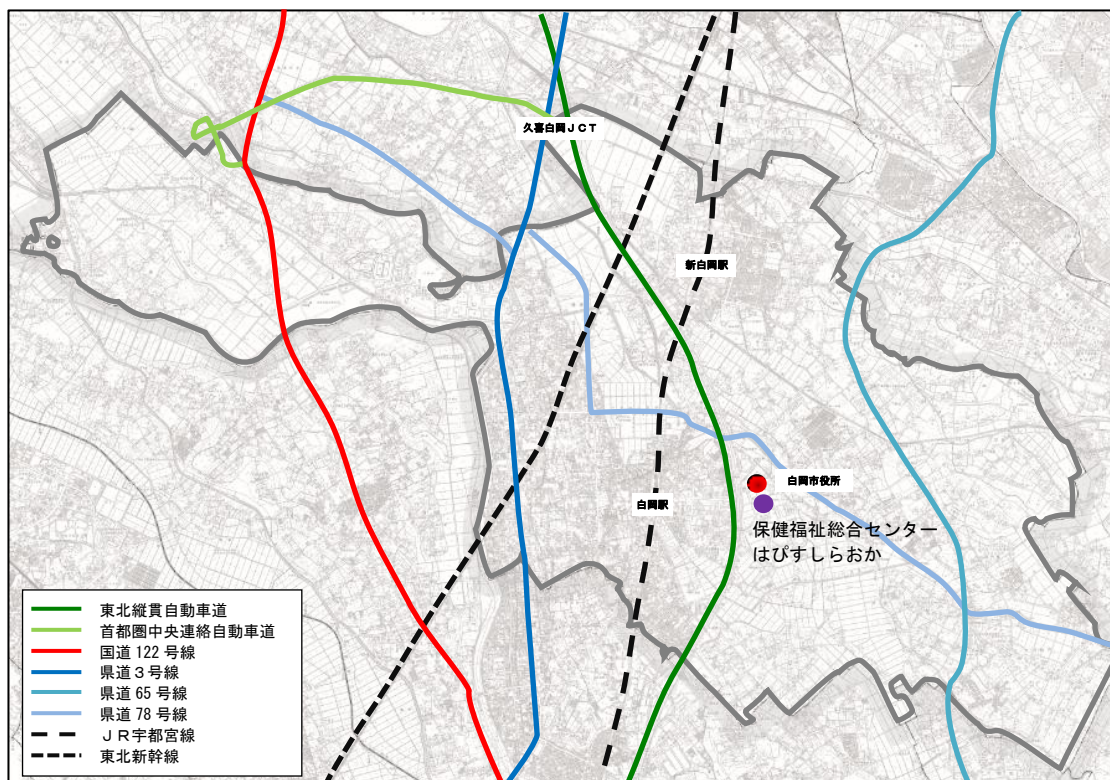
- ・ 東児童館
- ・ 子育て支援センター「はびちる」
- ・ ファミリーサポートセンター

また、施設内には貸し会議室が7室。調理実習室も借りることが可能です。

- ・ 昭和57年以降に建築された新耐震基準の施設です。

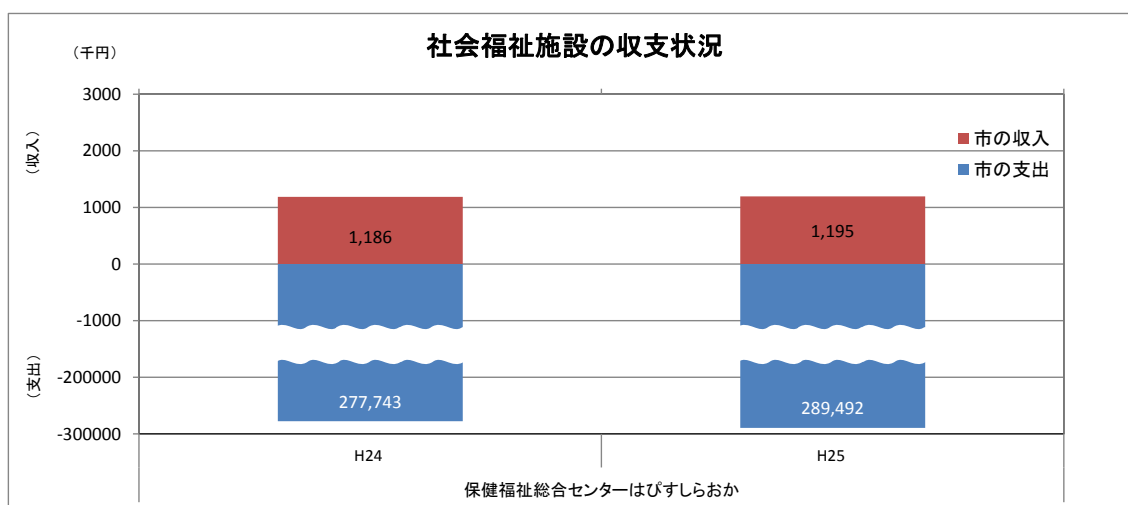
No	施設名	住所	建築年	築年数	延床面積 (㎡)	耐震診断	耐震改修
1	保健福祉総合センターはびすしらおか	千駄野 445	平成 16	10	4,656.62	新耐震	新耐震

(2) 施設配置状況



(3) 施設運営状況

- ・当該施設は、白岡市直営です。
- ・近年での支出状況は、2億8千万円程度で推移しております。



(4) 検討課題

【施設状況】

- ・昭和 57 年以降に建築された新耐震基準の施設である。

【運営状況】

- ・建築物については築 10 年程度であり、早急な老朽化対策は必要ではないが、建物附属設備については、耐用年数を経過しているものが多く経年劣化している。計画的な維持修繕を立案することが望ましい。

4. スポーツ・レクリエーション系施設

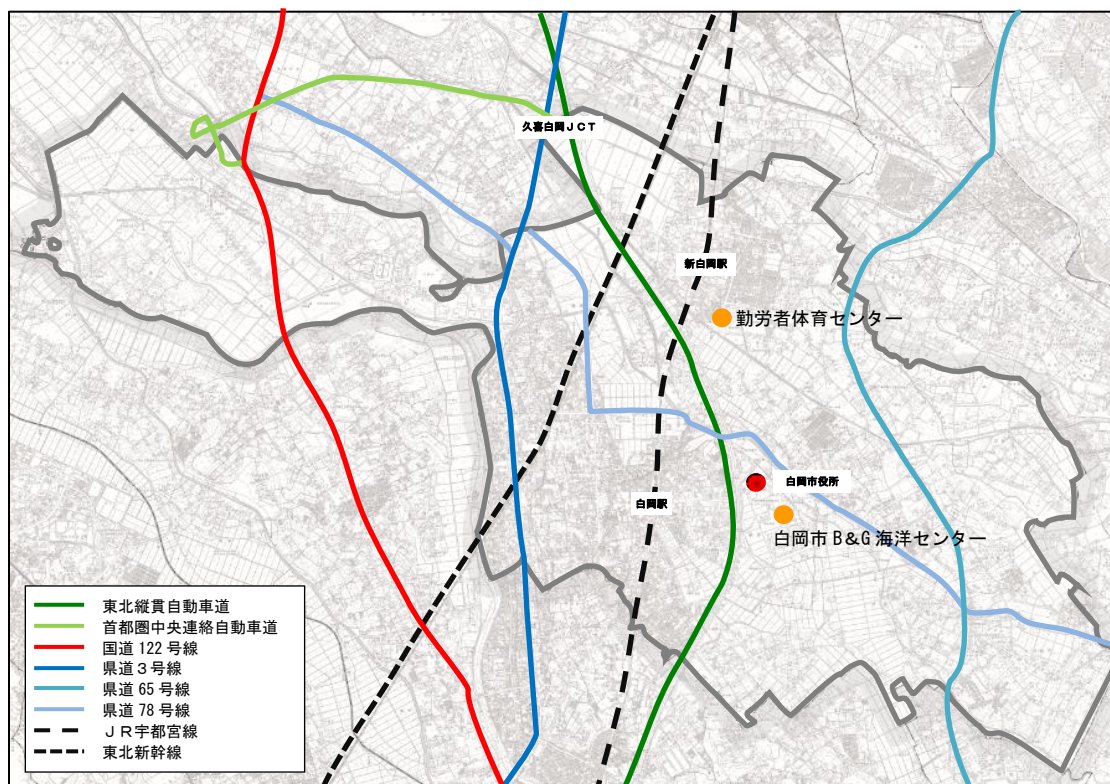
4. 1 スポーツ施設

(1) 施設の概要

- ・「勤労者体育センター」は、主として勤労者のためのスポーツ・レクリエーション施設であり、市民の方のスポーツの普及振興を図り、健全な心身の発達に寄与するために設置されたものです。平成元年オープンしました。バスケットコート1面、バレーコート2面がとれるアリーナ（体育館）ほか、テニスコート5面（ナイター利用可）、ミーティングルーム兼軽体育室、談話ホール、更衣室などを備えています。
- ・昭和57年以降に建築された新耐震基準の施設です。
- ・「勤労者体育センター」は、緊急時の避難所としての施設です。
- ・「白岡市B&G海洋センター」は、白岡市と財団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド財団（略称B&G財団）が共同で建設した屋内温水プールです。総合運動公園に隣接しており、25m 遊泳プール（7コース）ほか、スパイラルウォータースライダー、幼児プール、ジャグジーなどがあります。

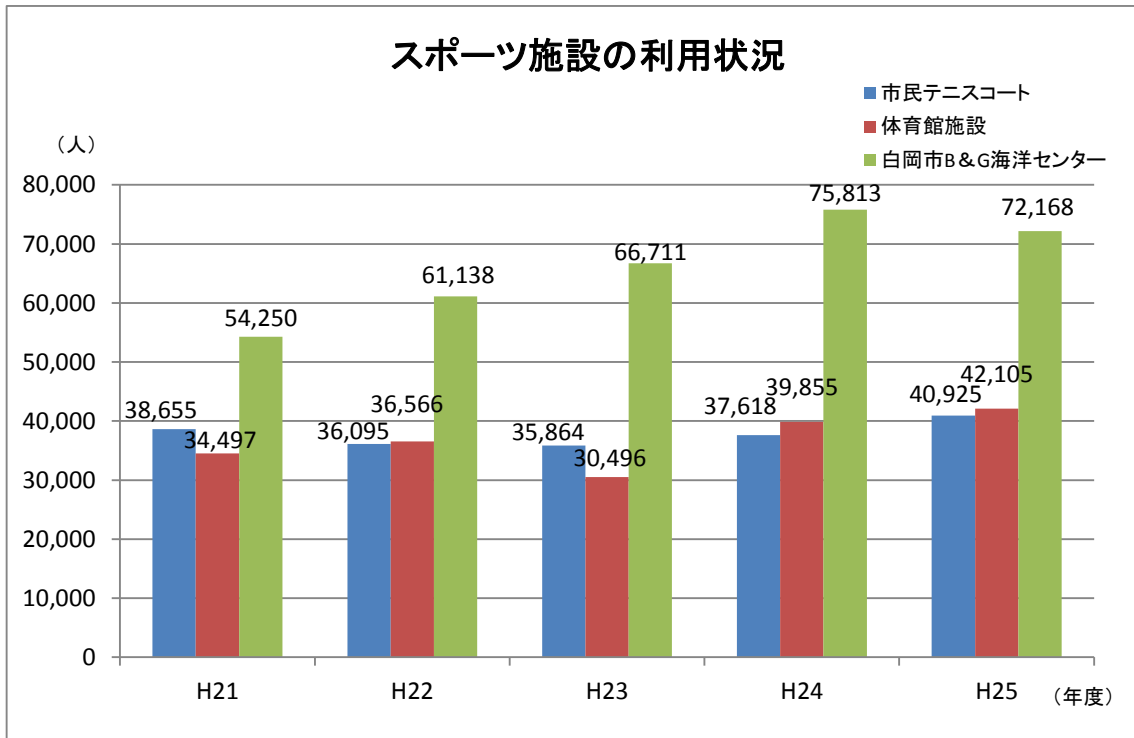
No.	施設名	住所	建築年	築年数	延床面積 (㎡)	耐震診断	耐震改修
1	勤労者体育センター	新白岡3丁目200-2	平成1	25	15.68	新耐震	新耐震
2	白岡市B&G海洋センター	千駄野371-3	平成10	16	2,280.89	新耐震	新耐震

(2) 施設配置状況



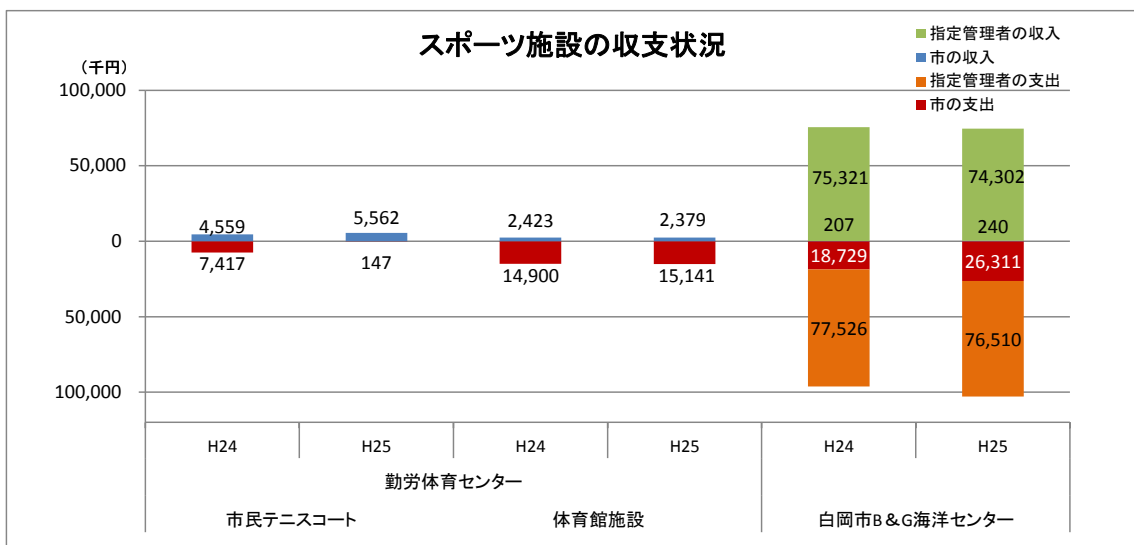
(3) 施設利用状況

- ・過去5年間の年間利用者数は、3施設とも増加しています。
(3施設合計：127,402人(平成21年度)⇒155,198人(平成25年度) 22%増)



(4) 施設運営状況

- ・市民テニスコートは、収入が支出を上回っています。
- ・平成25年度における、利用者一人当たりのコストは、「白岡市B&G海洋センター」が392円、「勤労者体育センター」が303円となっております。
- ・「白岡市B&G海洋センター」は、指定管理者制度、「市民テニスコート」「勤労者体育センター」は、業務委託となっております。



※ 収支状況 (支出-収入)

【勤労者体育センター】

平成 24 年度： 14,900 千円 - 2,423 千円 = 12,477 千円

平成 25 年度： 15,141 千円 - 2,379 千円 = 12,762 千円（平成 24 年より 2%増）

（利用者一人当たりのコスト = 12,762 千円/42,105 人 = 303 円）

【白岡市B&G海洋センター】

平成 24 年度： 96,255 千円 - 75,528 千円 = 20,727 千円

平成 25 年度： 102,821 千円 - 74,542 千円 = 28,279 千円（平成 24 年度より 35%増）

（利用者一人当たりのコスト = 28,279 千円/72,168 人 = 392 円）

（5） 検討課題

【施設状況】

- ・ 昭和 57 年以降に建築された新耐震基準の施設である。

【利用状況】

- ・ 近年は増加傾向にあり、良好であるとする。

【運営状況】

- ・ 収支状況より、3 施設とも比較的良好であるとする。
- ・ 築 25 年程度であり、早急な老朽化対策等はないが、修繕費の平準化を図るなど、計画的な維持修繕を立案することが望ましい。

4. 2 運動公園等（建物を伴う公園内施設）

（1）施設の概要

- ・「モミジ公園」は、滑り台、ブランコ、吊り輪、トイレ、パーゴラが設置してある公園です。
- ・「シラカバ公園」は、遊具やトイレが設置されており、針葉樹が特徴のある公園です。
- ・「ツツジヶ丘公園」は、大きな広場のある公園です。長い土管が通る築山やトイレが設置してあります。
- ・「アジサイ公園」は、大きな広場やトイレのある公園で、あじさいが咲きます。
- ・「白岡公園（野球場）」は、元荒川沿の公園です。遊具、多目的トイレの他駐車スペースもあり、飲料水販売機と野球広場があります。
- ・「イチョウ公園」は、滑り台、ブランコ、鉄棒、ロープウェイ、トイレ、パーゴラ等が設置してある公園です。
- ・「久伊豆公園」は、古くからの樹木に囲まれ、夏でも涼しい風が吹き避暑に訪れる人が多く、多目的トイレも設置してある公園です。
- ・「八幡公園」は、桜の季節には多くの人々が花見に訪れる公園です。コミュニティセンターに隣接しており、トイレも設置してある公園です。
- ・「新白岡つつじ公園」は、砂場、鉄棒、パーゴラ等が設置してある公園です。
- ・「新白岡けやき公園」は、滑り台、スプリング遊具、パーゴラ等が設置してある公園です。
- ・「新白岡さざんか公園」は、滑り台、パーゴラ等が設置してある公園です。
- ・「新白岡くすのき公園」は、コンビネーション遊具、滑り台、鉄棒、パーゴラ、ベンチ等が設置してある公園です。
- ・「新白岡中央公園」は、滑り台、スプリング遊具、健康遊具、トイレ、パーゴラ等が設置してある公園です。
- ・「新白岡さくら公園」は、滑り台、アニマル遊具等が設置してある公園です。
- ・「新白岡もみじ公園」は、滑り台、ブランコ、鉄棒、パーゴラ、ベンチが設置してある公園です。
- ・「高岩公園」は、広々とした多目的広場、遊具やトイレがあり、運動や散歩もできる公園です。
- ・「緑地（第1・2・3・4・5・6）」は、新白岡地内に点在する緑地（計6箇所）です。
- ・「せせらぎ公園」は、線路沿いに設置された公園で、流水池があります。夏には水が流れ、プールとして遊ぶ子どもたちで賑わいます。
- ・「ふれあいの森公園」は、園内に無料で使えるバーベキュー広場や、イベント等で利用される広々とした芝生広場があり、多目的トイレも設置してあります。
- ・「原ヶ井戸北公園」は、滑り台、ブランコ、鉄棒等が設置してある公園です。
- ・「屋敷前公園」は、複合遊具、健康遊具が設置されている公園です。
- ・「白岡市総合運動公園」は、運動を楽しめるたくさんの施設及び多目的トイレがあります。広場には子ども用の遊具や、健康遊具があります。
- ・「ローヤルシティ白岡第二公園」は、マンションの敷地内にある公園です。敷地は広くあ

りませんが、ベンチと砂場が設置されています。

- ・「原ヶ井戸南公園」は、数多くの遊具や多目的トイレが設置してある公園です。
- ・「駒形公園」は、滑り台、ブランコ、スプリング遊具、ジャングルジム、多目的トイレ、鉄棒等が設置された公園です。
- ・「柴山沼」は、大きな沼を囲んで園路、多目的トイレがあります。多くの散歩客や釣り人が訪れる観光スポットです。
- ・「いこいの森公園」は、マンションに併設された公園であり、駅に近い住民の方々だけでなく、一般の方の利用も多いです。
- ・「えんみょうモクセイ公園」は、スプリング遊具、ベンチが設置されており、常緑樹に囲まれ、緑豊かな公園です。
- ・「したばたハナミズキ公園」は、スプリング遊具、水飲み、ベンチが設置されており、ハナミズキを主とした植栽がある公園です。
- ・「中ノ宮公園」は、多目的トイレ、パーゴラ等が設置され、インターロッキングで舗装された公園です。
- ・「古代蓮池」は、白岡の観光名所の一つで、6月から8月のシーズンには貴重な古代蓮の開花を見ることができます。
- ・「どんぐり公園」は、舗装された広場と、遊具スペースに二分された公園です。多目的トイレや水飲み、パーゴラが設置されています。
- ・「下田公園」は、元荒川に沿う形の細長い公園で駐車場、水飲み場も設置されています。
- ・「八幡公園」「高岩公園」「白岡市総合運動公園」は、緊急時の避難所としての施設です。

No.	施設名	住所	開設年	経過年数	敷地面積 (㎡)	施設内容	管理	備考
1	モミジ公園	西9丁目4	昭和52	37	5,720	遊具4基 砂場 水飲み トイレ	フェンス 照明 車止め	
2	シラカバ公園	西1丁目9	昭和53	36	2,469	遊具5基 砂場 水飲み トイレ	フェンス 照明 車止め	
3	ツツジヶ丘公園	西2丁目4	昭和53	36	3,590	遊具2基 砂場 水飲み トイレ	フェンス 照明 車止め	
4	アジサイ公園	西4丁目6	昭和53	36	2,861	遊具2基 砂場 水飲み トイレ	フェンス 照明 車止め	
5	白岡公園 (野球場)	西5丁目12	昭和53	36	12,097	遊具5基 砂場 グラウンド 水飲み トイレ	フェンス 防球ネット 照明 車止め	
6	イチョウ公園	西10丁目4	昭和53	36	2,974	遊具5基 砂場 水飲み トイレ	フェンス 照明 車止め	
7	久伊豆公園	小久喜21-1	昭和57	32	3,520.23	遊具4基 砂場 水飲み トイレ	フェンス 照明 車止め	
8	八幡公園	白岡858-1	昭和58	31	6,958	遊具7基 砂場 水飲み トイレ	フェンス 照明 車止め	

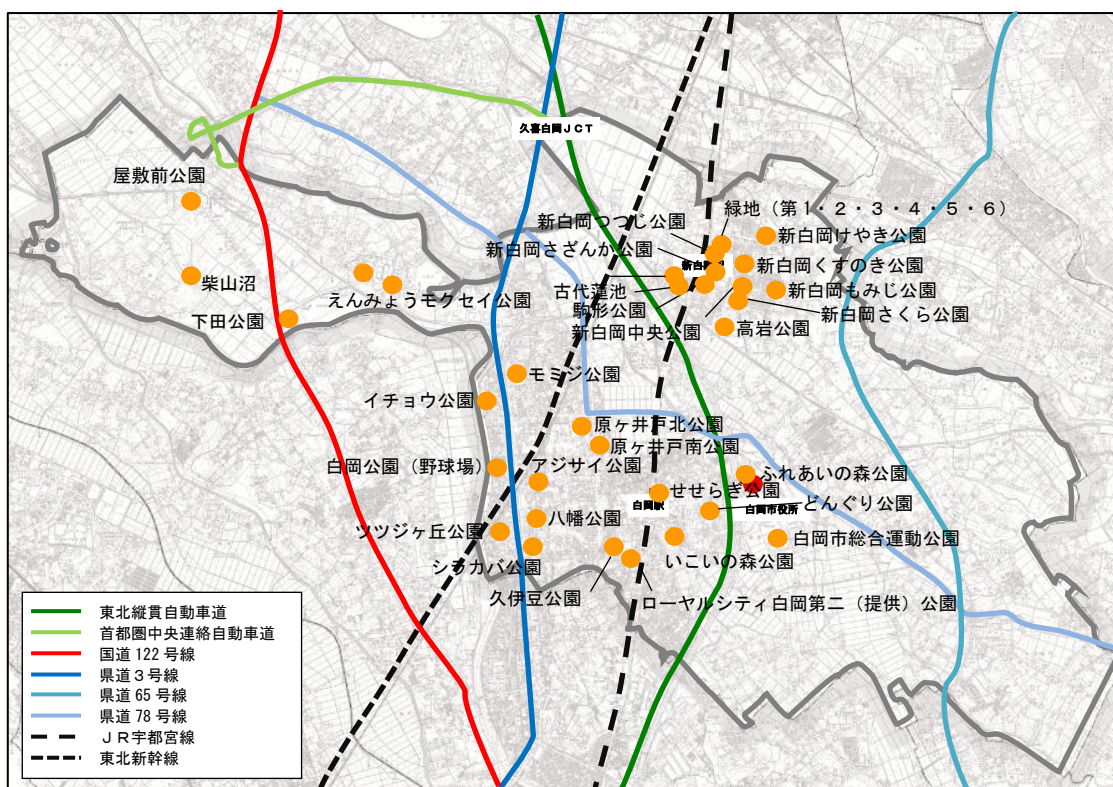
No.	施設名	住所	開設年	経過 年数	敷地面積 (㎡)	施設内容	管理	備考
9	新白岡つつじ公園	新白岡 1 丁目 7-1	昭和 63	26	900.46	遊具 1 基 砂場 水飲み	フェンス 照明 車止め	
10	新白岡けやき公園	新白岡 1 丁目 26-11	昭和 63	26	800.78	遊具 5 基 砂場 水飲み	フェンス 照明 車止め	
11	新白岡さざんか公園	新白岡 2 丁目 5-13	昭和 63	26	805.81	遊具 1 基 砂場 水飲み	フェンス 照明 車止め	
12	新白岡くすのき公園	新白岡 2 丁目 18-15	昭和 63	26	800.45	遊具 2 基 砂場 水飲み	フェンス 照明 車止め	
13	新白岡中央公園	新白岡 2 丁目 19-9	昭和 63	26	1,710.13	遊具 7 基 砂場 水飲み トイレ	フェンス 照明 車止め	
14	新白岡さくら公園	新白岡 3 丁目 12-15	昭和 63	26	800.39	遊具 3 基 砂場 水飲み	フェンス 照明 車止め	
15	新白岡もみじ公園	新白岡 3 丁目 29-13	昭和 63	26	800.27	遊具 3 基 砂場 水飲み	フェンス 照明 車止め	
16	高岩公園	新白岡 3 丁目 43	昭和 63	26	23,242	遊具 13 基 砂場 水飲み トイレ	フェンス 照明 車止め 時計塔	
17	緑地 (第 1・2・3・4・5・6)	白岡市新白岡 1-13-2 外	昭和 63	26	7,239.44	—	フェンス (一部)	
18	せせらぎ公園	小久喜 1109-16	平成 3	23	1,500	遊具 5 基 砂場 水飲み じゃぶじゃぶ池	フェンス 照明 車止め	
19	ふれあいの森公園	小久喜 765	平成 6	20	20,455	バーベキュー 遊具 3 基 水飲み トイレ	フェンス 照明 車止め ステージ	
20	原ヶ井戸北公園	白岡東 4	平成 6	20	1,412	遊具 3 基 砂場 水飲み	フェンス 照明 車止め	
21	屋敷前公園	荒井新田 371-20	平成 7	19	2,529.99	遊具 6 基 水飲み	フェンス 照明 車止め	
22	白岡市総合運動公園	千駄野 345	平成 9	17	126,959.36	陸上競技場 野球場 多目的広場 テニスコート サブグラウンド ジョギングコース 水飲み トイレ	管理棟 備品倉庫 フェンス 防球ネット 照明 車止め	
23	ローヤルシティ白岡第二 (提供) 公園	小久喜 927-10	平成 9	17	135.20	遊具 2 基 砂場	フェンス	
24	原ヶ井戸南公園	白岡東 19	平成 9	17	2,154	遊具 5 基 砂場 水飲み トイレ	フェンス 照明 車止め	
25	駒形公園	野牛・高岩土地区画整理地内	平成 9	17	2,900	遊具 8 基 砂場 水飲み トイレ	照明 車止め 時計	
26	柴山沼	柴山 1941-3	平成 9	17	13,000	栈橋 橋 デッキ 水飲み トイレ	フェンス 照明 車止め	
27	いこいの森公園	小久喜 675-14	平成 10	16	3,248.59	遊具 4 基 砂場 水飲み	照明 車止め	
28	えんみょうモクセイ公園	下大崎 66-5	平成 12	14	1,566.25	遊具 2 基 水飲み	フェンス 照明 車止め	

No.	施設名	住所	開設年	経過年数	敷地面積 (㎡)	施設内容	管理	備考
29	したばたハナミズキ公園	下大崎 638-2	平成 12	14	1,257.55	遊具 2 基 水飲み	フェンス 照明 車止め	
30	中ノ宮公園	野牛・高岩土地区画整理地内	平成 14	12	4,500	水飲み トイレ	照明 車止め	
31	古代蓮池	野牛・高岩区画整理地内 (1号調整池)	平成 16	10	4,132	—	フェンス 観覧施設	
32	どんぐり公園	白岡駅東部中央土地区画整理地内	平成 26	—	2,400	遊具 5 基 砂場 水飲み トイレ	フェンス 照明 車止め	
33	下田公園	荒井新田 1 1 1 1 - 9 外	平成 26	—	4892	水飲み	フェンス 車止め	

《建物を伴う公園内施設》

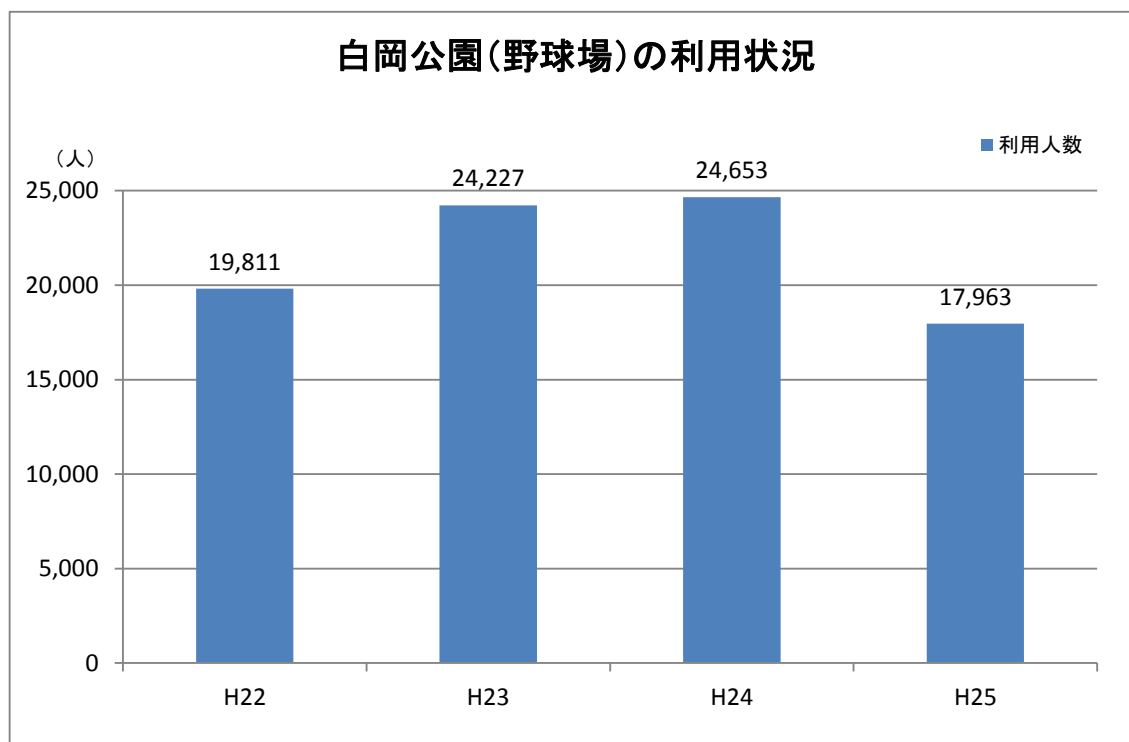
No.	施設名	公園内施設名	建築年	築年数	延床面積 (㎡)	耐震診断	耐震改修
1	白岡市総合運動公園 (管理棟)	公園管理棟	平成 9	17	206.73	新耐震	新耐震

(2) 施設配置状況

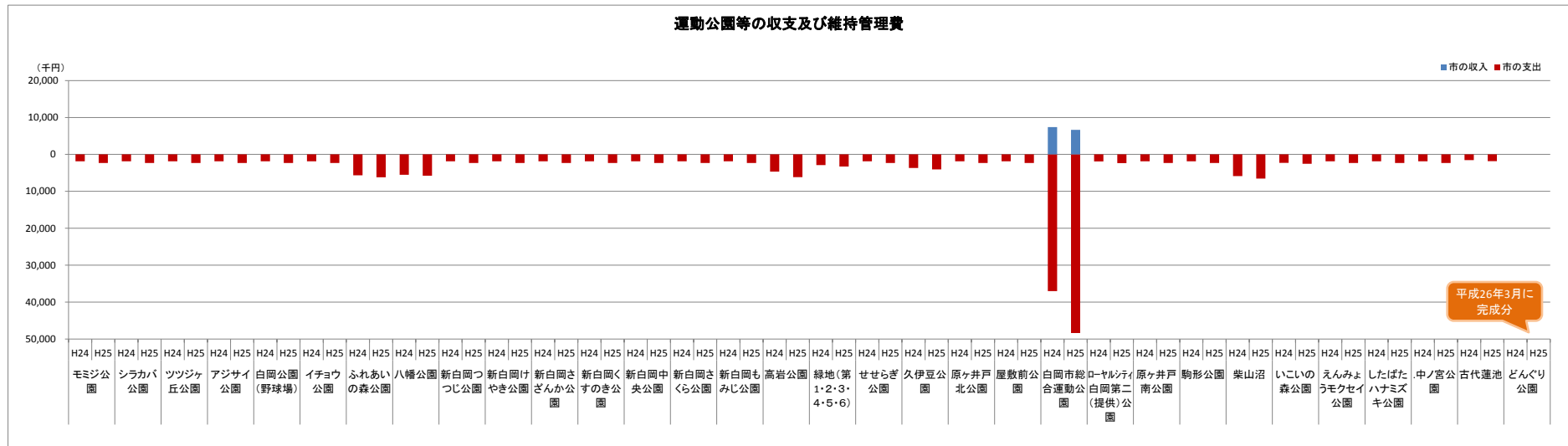


(3) 施設利用状況

・公園施設の正確な利用状況を把握するのは困難ですが、白岡公園の野球場の利用状況を見ると、近年は増加傾向でしたが、平成 25 年度は 3 割程度の減少となっています。



(4) 施設運営状況



- ・全施設合計での収支状況（支出－収入）は、
平成24年度：102,931千円 ⇒平成25年度：129,048千円（3割増）
- ・どんぐり公園は、平成26年3月に完成したため、
維持管理費を計上していない。

(5) 検討課題

【施設状況】

- ・ 建築物は昭和 57 年以降に建築された新耐震基準の施設である。

【利用状況】

- ・ 白岡市総合運動公園及びふれあいの森公園は、利用者が増加しているが、白岡公園野球場は昨年度減少している。なお、他の公園については、利用者の記録が残らないため、数値化できない。

【運営状況】

- ・ 白岡市総合運動公園については使用料を予算に充当している。
- ・ 白岡市総合運動公園以外の公園については、基本的には収入はなく市民負担に依存する。
- ・ 建築物について、早急な老朽化対策等はないが、今後、同時期に耐用年数を迎えるものも多く、個別具体的な長寿命化を図らなければならない。

4. 3 グラウンド

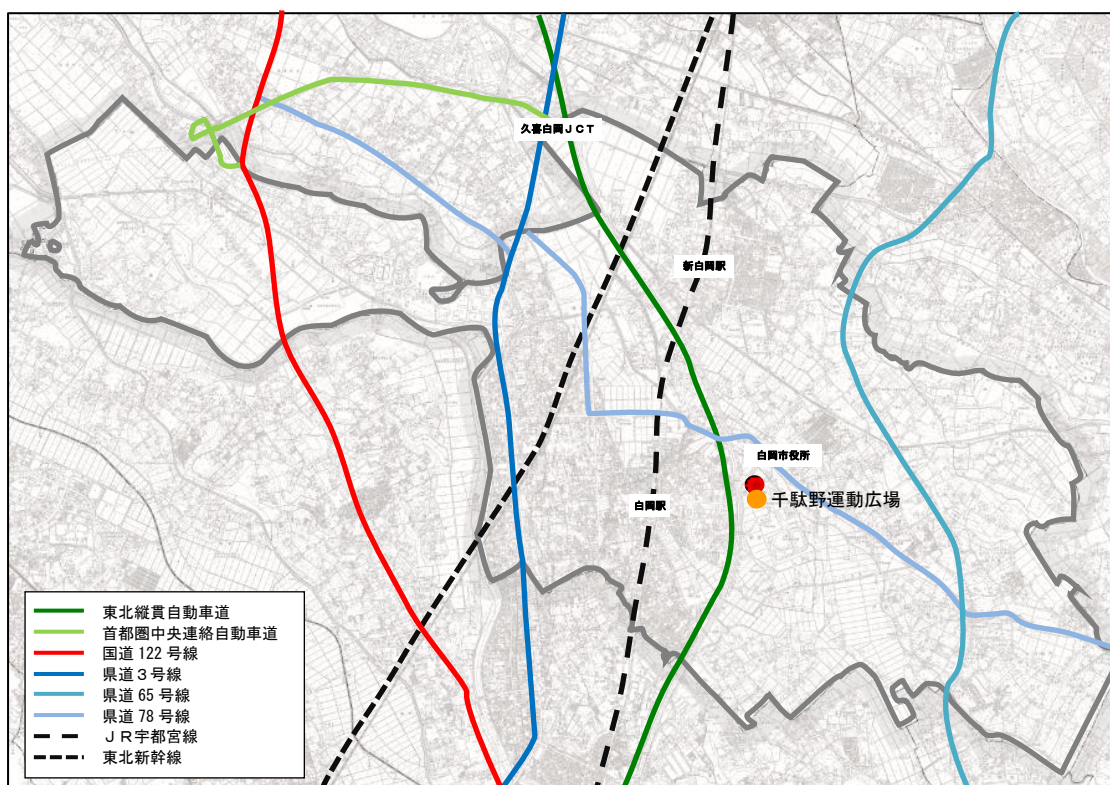
(1) 施設の概要

- ・市民の方の心身の健全なる発展に資するため、スポーツ・レクリエーション活動の場として提供するものです。

No.	施設名	住所	施設概要	敷地面積 (㎡)	夜間照明
1	千駄野運動広場	千駄野 432	運動施設	8,812.57	—

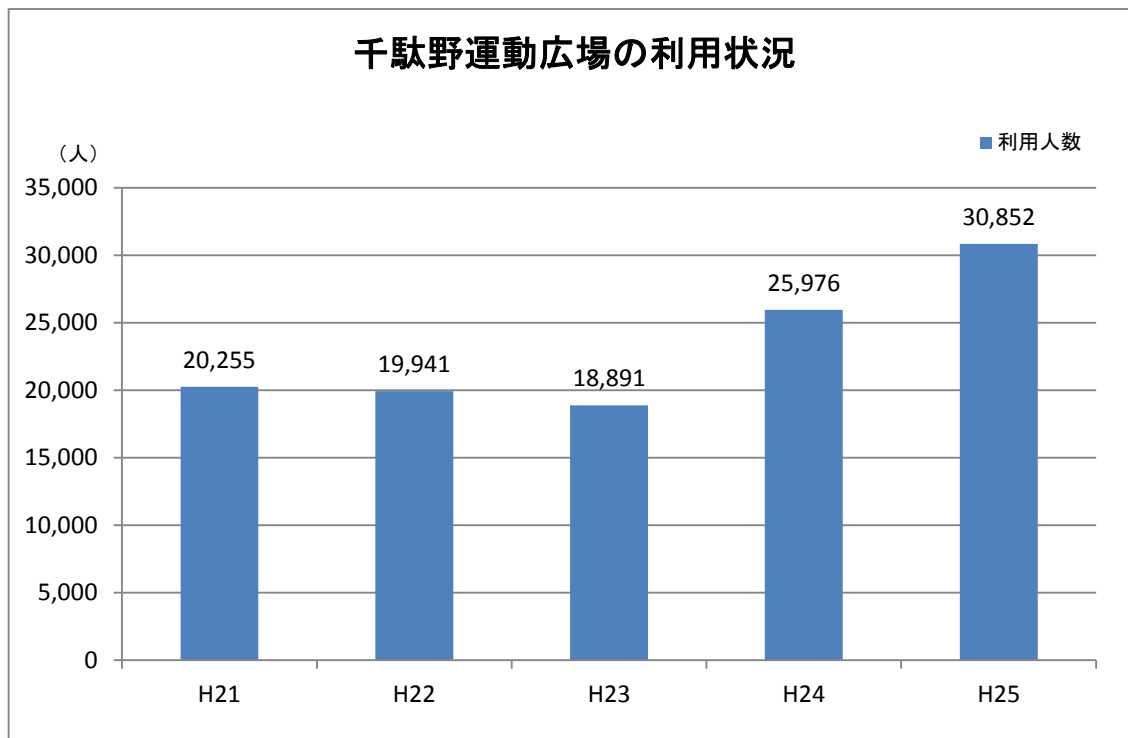
(2) 施設配置状況

白岡市の中心部に位置しています。



(3) 施設利用状況

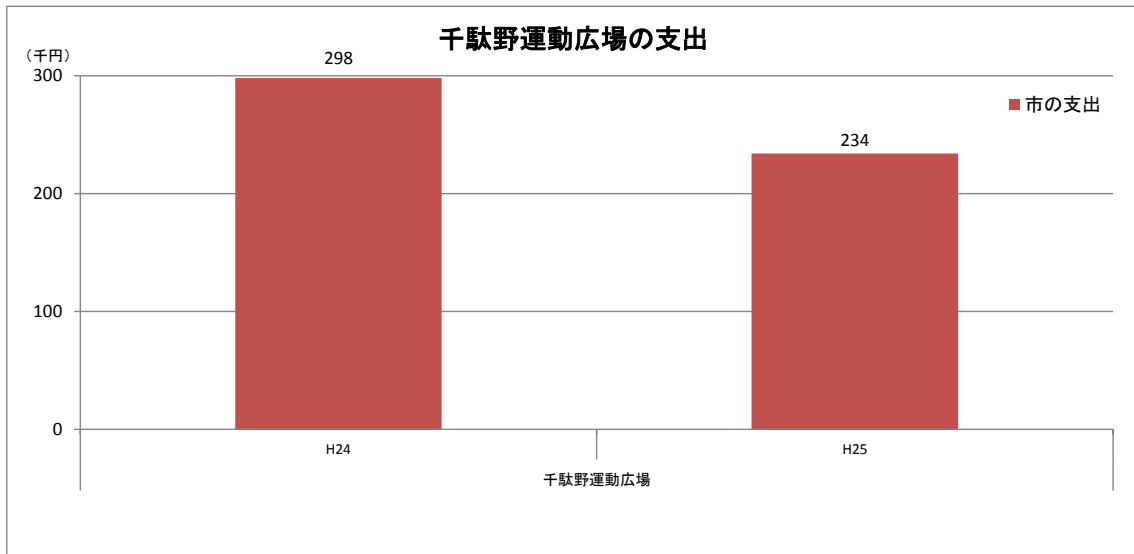
- 千駄野運動広場の年間利用人数は、平成 21 年度～平成 23 年度が約 20,000 人程度で推移しており、平成 24 年度の年間利用人数は、約 25,000 人、平成 25 年度は、約 30,000 人と増加傾向にあります。
- 利用件数をみても、平成 25 年度が 746 件と過去 5 年間で最多となっています。



	利用件数	利用者数
【平成 25 年度】	746 件	30,852 人
【平成 24 年度】	603 件	25,976 人
【平成 23 年度】	557 件	18,891 人
【平成 22 年度】	570 件	19,941 人
【平成 21 年度】	620 件	20,255 人

(4) 施設運営状況

- ・千駄野運動広場は、約 30 万円程度の支出があります。
- ・平成 24 年度の 29.8 万円から平成 25 年度に 23.4 万円と若干減少しています。



(5) 検討課題

- ・利用者は、増加傾向にあるため、今後も継続して利用者の確保に努めることが望ましい。
- ・建築物としては、築 25 年程度の備品倉庫があり、昭和 57 年以降に建築された新耐震基準の施設である。
- ・利用収入はなく、市負担に依存する。

4. 4 児童遊園

(1) 施設の概要

- ・白岡市には、30 施設の児童遊園が設置されています。
- ・各児童遊園とも、数基の遊具が設置されています。設置年は、最長で 47 年程度経過している児童遊園もあります。

No.	施設名	住所	設置年	経過年数	敷地面積 (㎡)	主な併設施設等
1	実ヶ谷児童遊園地	実ヶ谷薬師堂境内	昭和 42	47	176	遊具 4 基
2	小久喜沖山児童遊園地	小久喜 524-2 外	昭和 42	47	1290	遊具 4 基
3	下野田鷲宮児童遊園地	下野田鷲宮神社境内	昭和 42	47	400	遊具 3 基
4	篠津久伊豆児童遊園地	篠津久伊豆神社境内	昭和 42	47	252	遊具 3 基
5	高岩天満児童遊園地	高岩天満神社境内	昭和 44	45	435	遊具 3 基
6	岡泉鷲児童遊園地	鷲神社境内	昭和 44	45	805	遊具 4 基
7	柴山児童遊園地	柴山諏訪八幡神社境内	昭和 44	45	300	遊具 3 基
8	上野田鷲宮児童遊園地	上野田鷲宮神社境内	昭和 47	42	202.5	遊具 2 基
9	下大崎住吉児童遊園地	下大崎住吉神社境内	昭和 47	42	1443	遊具 2 基
10	千駄野八幡児童遊園地	千駄野八幡神社境内	昭和 48	41	242	遊具 1 基
11	千駄野稻荷児童遊園地	千駄野稻荷神社境内	昭和 49	40	157.5	遊具 2 基
12	小久喜埜地児童遊園地	小久喜 318-36	昭和 49	40	332.22	遊具 4 基
13	太田新井安楽寺児童遊園地	太田新井安楽寺境内	昭和 51	38	195	遊具 1 基
14	小久喜里児童遊園地	小久喜 774-1	昭和 52	37	886	遊具 7 基
15	上野田山中児童遊園地	上野田 1714-1	昭和 52	37	160	遊具 4 基
16	上野田宮山第 1 児童遊園地	上野田 1375-53	昭和 52	37	939.88	遊具 5 基
17	上野田宮山第 2 児童遊園地	下野田 1213-83	昭和 52	37	414	—
18	上野田宮山第 3 児童遊園地	下野田 1213-84	昭和 52	37	654	遊具 5 基
19	小久喜三光区児童遊園地	小久喜 1456-6	昭和 55	34	528	遊具 5 基
20	茶屋児童遊園地	白岡 920-48	昭和 55	34	228	遊具 2 基
21	小久喜相野谷児童遊園地	小久喜 1164	昭和 57	32	214.73	遊具 3 基
22	篠津志部児童遊園地	篠津 586-10	昭和 57	32	146	遊具 2 基
23	青葉台児童遊園地	白岡 772-10	昭和 57	32	346	遊具 3 基
24	あけぼの児童遊園地	太田新井 1602-3、6、7	昭和 61	28	1254.65	遊具 7 基
25	東伸児童遊園地	彦兵衛 21-1~21-4	昭和 61	28	3694	遊具 4 基
26	上野田本村児童遊園	上野田 274-5	平成 5	21	90	—
27	太田新井海老島児童遊園	太田新井 1614-1 外	平成 7	19	450	遊具 2 基
28	白岡東児童遊園	白岡 1003-27	平成 9	17	116	遊具 2 基
29	小久喜埜地第二児童遊園	小久喜 296-34	平成 19	7	113.23	遊具 2 基
30	茶屋第二児童遊園	白岡 911-22, 25, 29	平成 21	5	199.93	—

(2) 施設配置状況

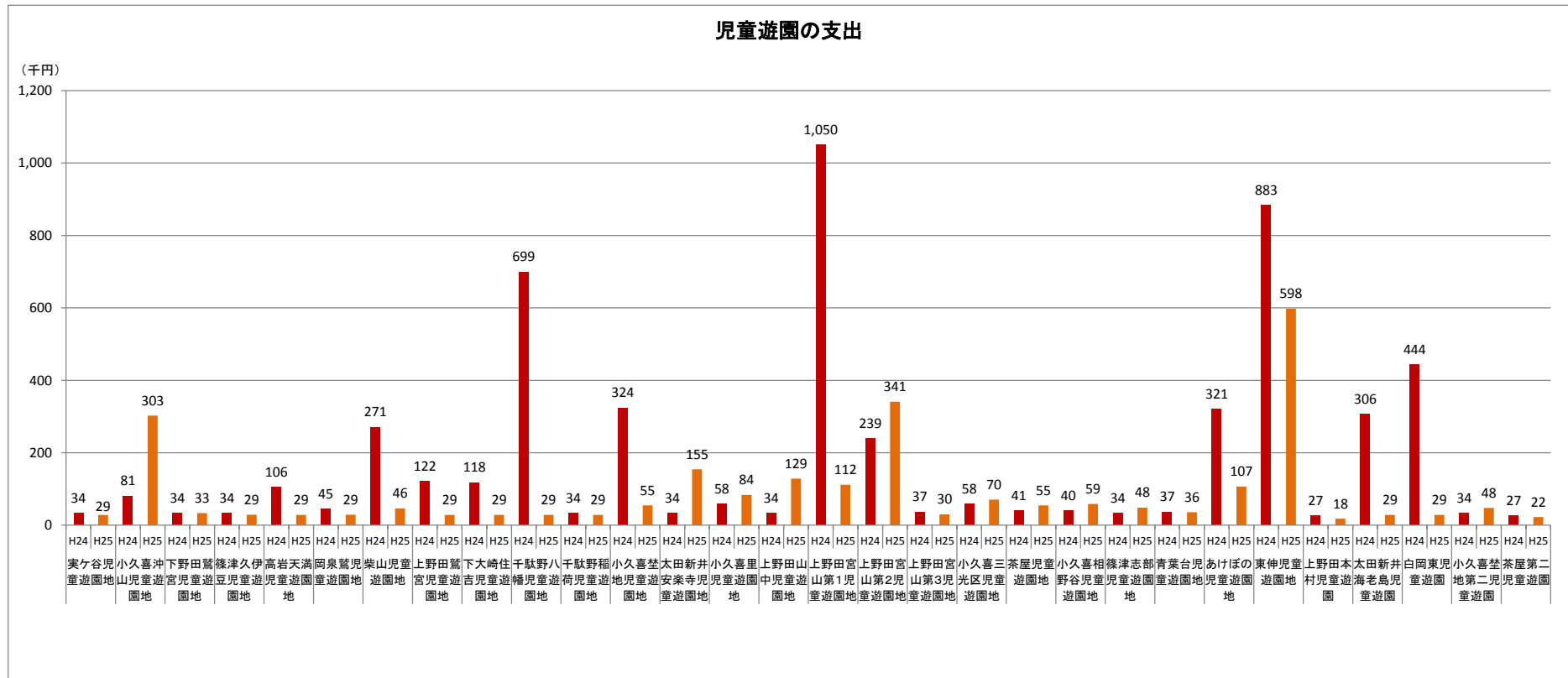
白岡市の全域に児童遊園を配置しています。



(3) 施設利用状況

- ・市内及び近郊市内町在住者、市内通勤・通学者によって利用されています。
- ・地域住民の方に利用されています。

(4) 施設運営状況



・市が遊具を設置し、地域住民で管理する形態をとっています。

(5) 検討課題

- ・利用者数を把握できてないため、実態を掴みにくい状態である。
- ・経過年数から、今後老朽化がさらに進むと考えられるが、施設数も多いため、計画的な維持管理が必要となる。
- ・遊具の老朽化によるけがのリスクについて、市としての見解を再確認することが望ましい。

5. 産業系施設

5. 1 物産センター等

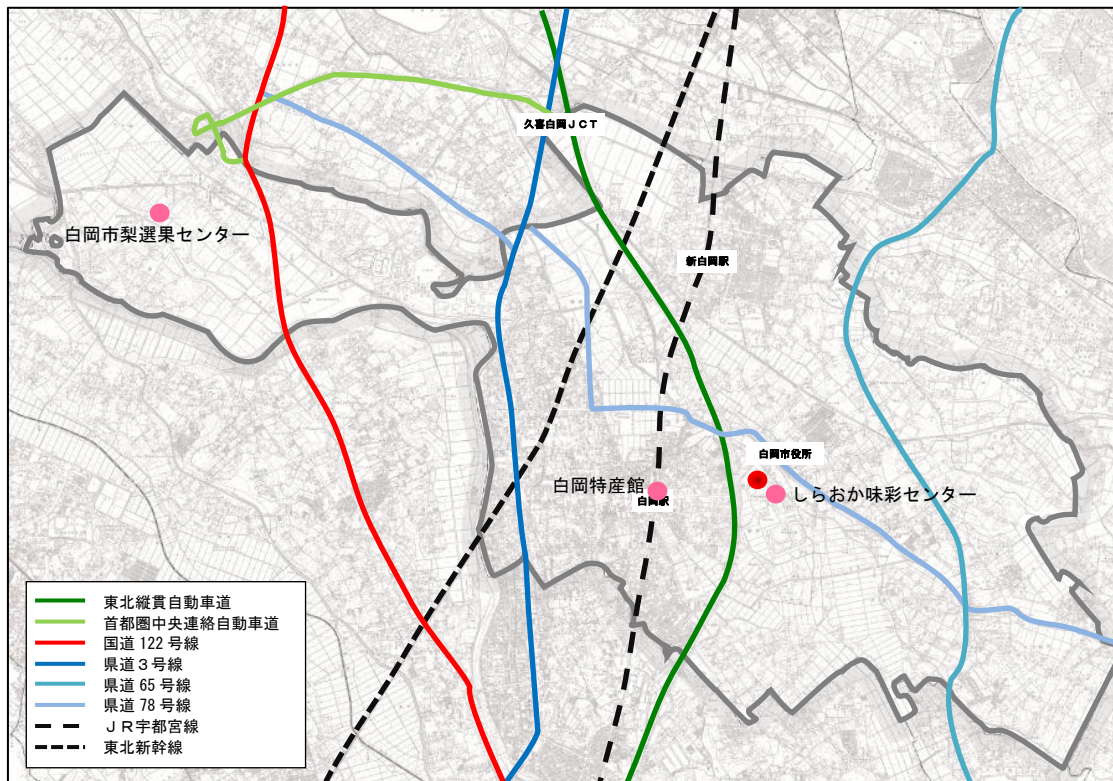
(1) 施設の概要

- ・「白岡市梨選果センター」は、白岡市特産の梨の選果処理施設です。エリア方式選別、カラー測定、面積測定などに新鋭機器が活躍しています。
- ・「白岡特産館」は、白岡市の特産である「梨」を使った商品などが販売されています。さらに、冷蔵・冷凍商品も扱っており、梨のアイスクリームやシャーベット・半生チョコレートなどの販売もあります。白岡市のマスコットキャラクターである「なしべえ・なしりん」のグッズもあります。
- ・昭和 56 年以前に建築された旧耐震基準の施設が 1 施設、昭和 57 年以降に建築された新耐震基準の施設が 2 施設です。
- ・「しらおか味彩センター」は、生産者の顔がみえる安全な野菜、採れたてのおいしい新鮮野菜を四季折々に豊富に取り揃えております。
 - 農産物の販売
 - 農産物の加工及び販売
 - 地域食材供給施設の管理、運営
- ・また、白岡市産のそば粉を使用したそばが食べられる「いっとこ茶屋」を設置しています。そば打ち体験も可能です。
- ・白岡市の農家が新鮮な野菜を毎朝出荷している農産物の直売所として、「おおばん市場」を設置しています。

No.	施設名	住所	建築年	築年数	延床面積 (㎡)	耐震診断	耐震改修
1	白岡市梨選果センター	荒井新田 770-24	平成 9	17	1295.97	新耐震	新耐震
2	しらおか味彩センター	千駄野 398	平成 15	11	555.27	新耐震	新耐震
3	白岡特産館	小久喜 1053-7	平成 20	6	18.63	—	—

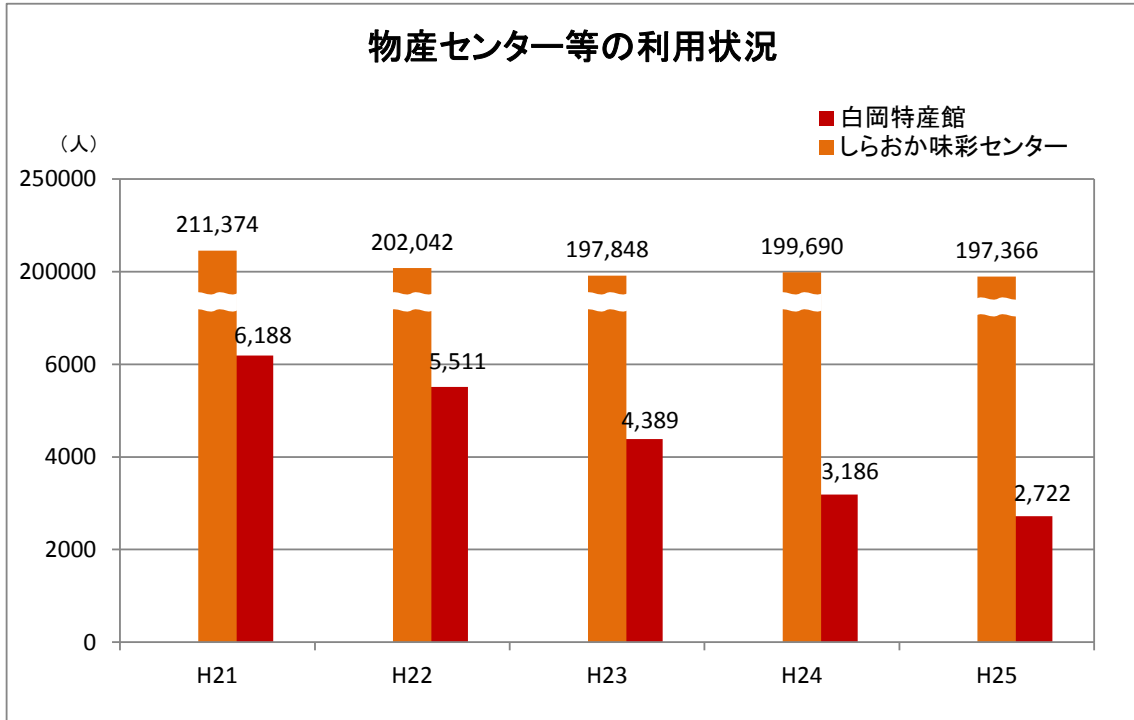
(2) 施設配置状況

白岡市の物産センター関連施設の位置を示します。



(3) 施設利用状況

- ・「しらおか味彩センター」は、平成 21 年度に約 21 万人の利用があったのに対し、平成 25 年度は、20 万人を切っています。
- ・「白岡特産館」の過去 5 年間の年間利用者数を見ると、平成 21 年度には、約 6,000 人の利用があったのに対し、毎年減少傾向にあり、平成 25 年度には、約 2,700 人の利用に留まっています。

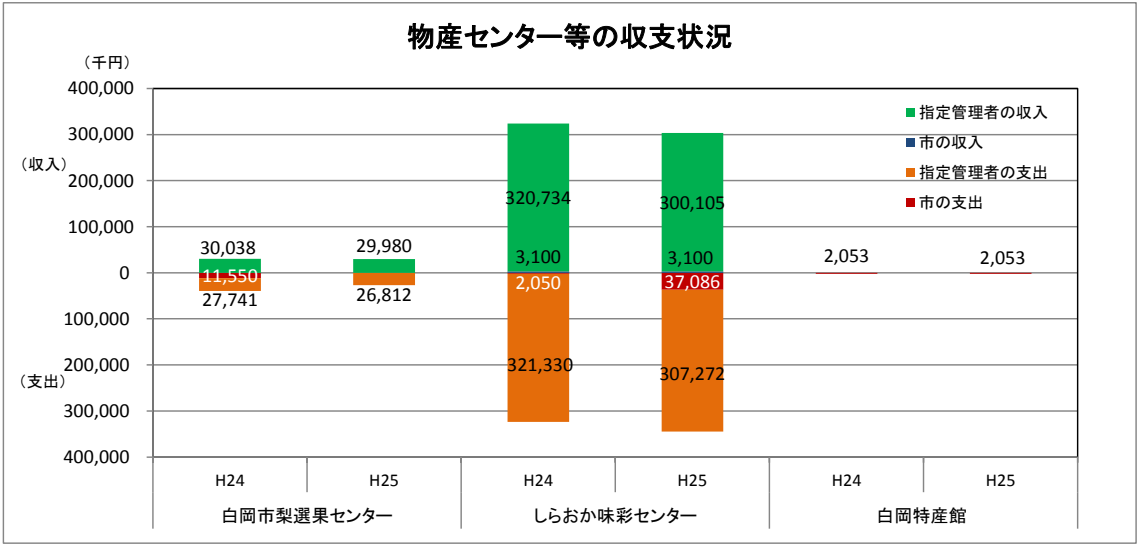


【白岡特産館】利用状況（営業日及び来客数）

平成 21 年度	303 日	1 日当たり 20.4 人
平成 22 年度	310 日	1 日当たり 17.8 人
平成 23 年度	311 日	1 日当たり 14.1 人
平成 24 年度	308 日	1 日当たり 10.3 人
平成 25 年度	308 日	1 日当たり 8.8 人

(4) 施設運営状況

- ・「しらおか味彩センター」、「白岡市梨選果センター」は、指定管理者制度を利用し運営しています。
- ・「白岡特産館」は、管理を行政区及び商工会に委託しています。
- ・「しらおか味彩センター」は、約3億円程度の支出と収入があります。
- ・「白岡市梨選果センター」は、約3,000万円程度の支出と収入があります。



(5) 検討課題

- 【施設状況】**
- ・昭和 56 年以前に建築された旧耐震基準の施設が 1 施設あるため、安全対策が必要となる。
- 【利用状況】**
- ・「しらおか味彩センター」、「白岡特産館」は、利用者が年々、減少傾向にあるため、利用促進のための方策を検討する必要がある。

6. 子育て支援施設

6. 1 保育所

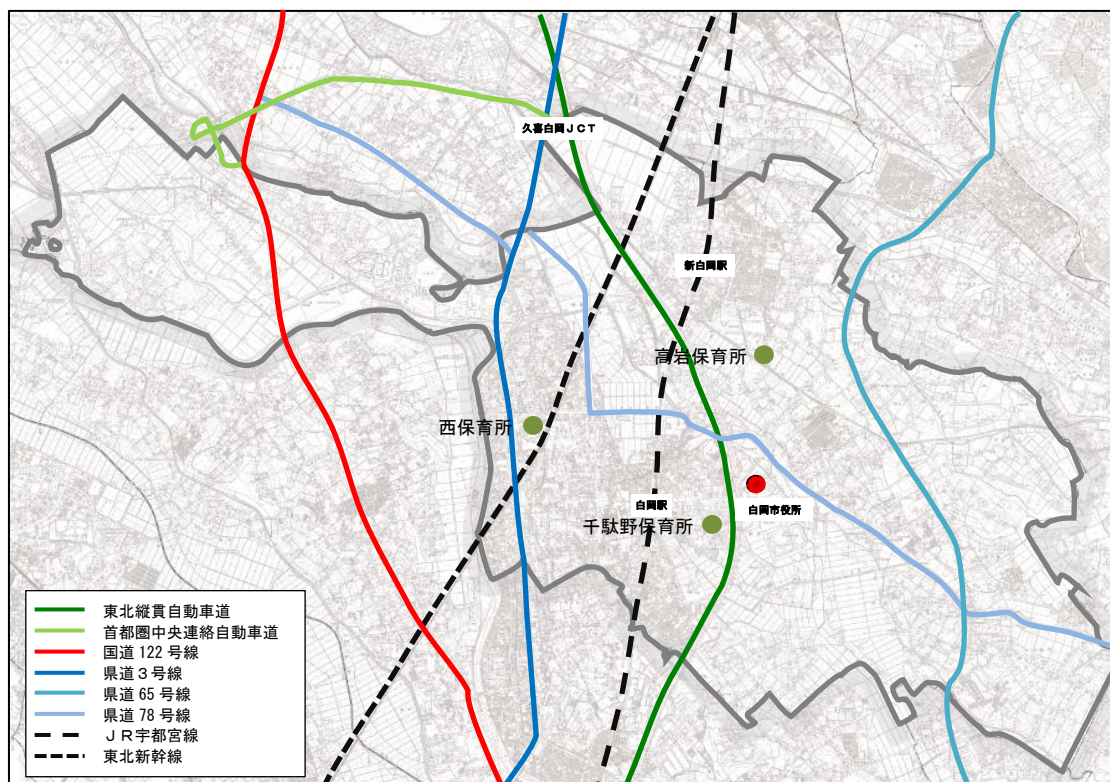
(1) 施設の概要

- ・保護者が仕事に従事していたり、病気のためにお子さんを見ることができない場合に、保護者に代わって保育を行う施設です。

No.	施設名	住所	建築年	築年数	延床面積 (㎡)	定員 (人)	耐震診断	耐震改修
1	西保育所	西 6-10-3	昭和 60	29	442.02	60	新耐震	新耐震
2	高岩保育所	高岩 2227-1	平成 10	16	507.00	60	新耐震	新耐震
3	千駄野保育所	千駄野 880	平成 16	10	983.23	90	新耐震	新耐震

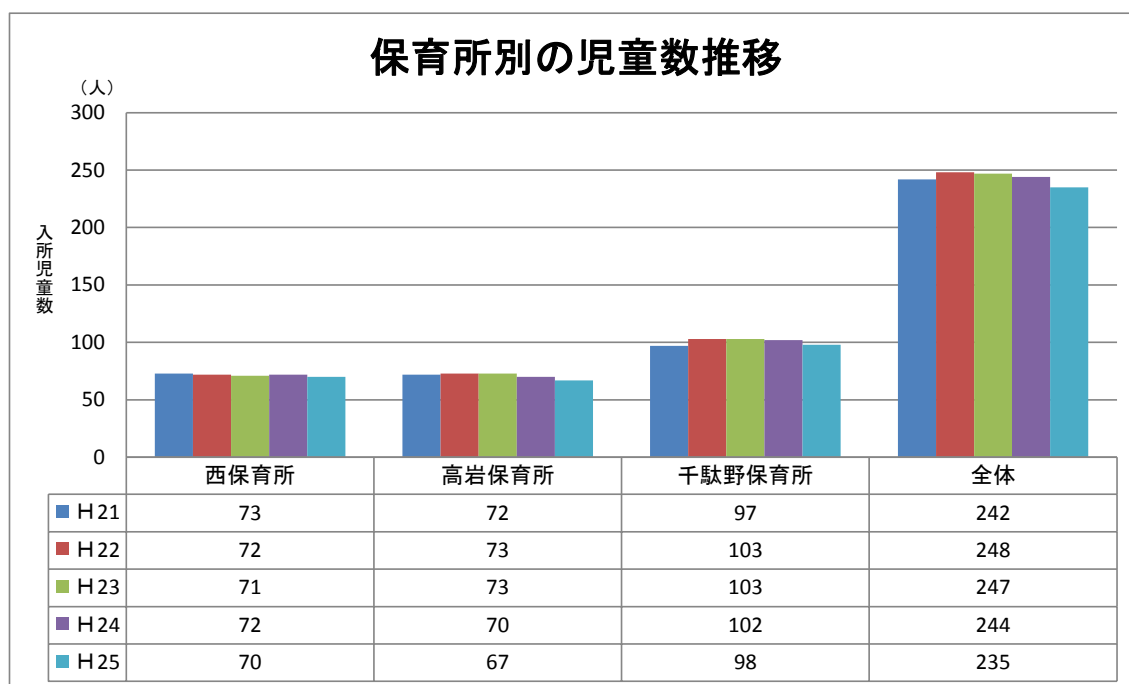
(2) 施設配置状況

各保育所の位置を示します。



(3) 施設利用状況

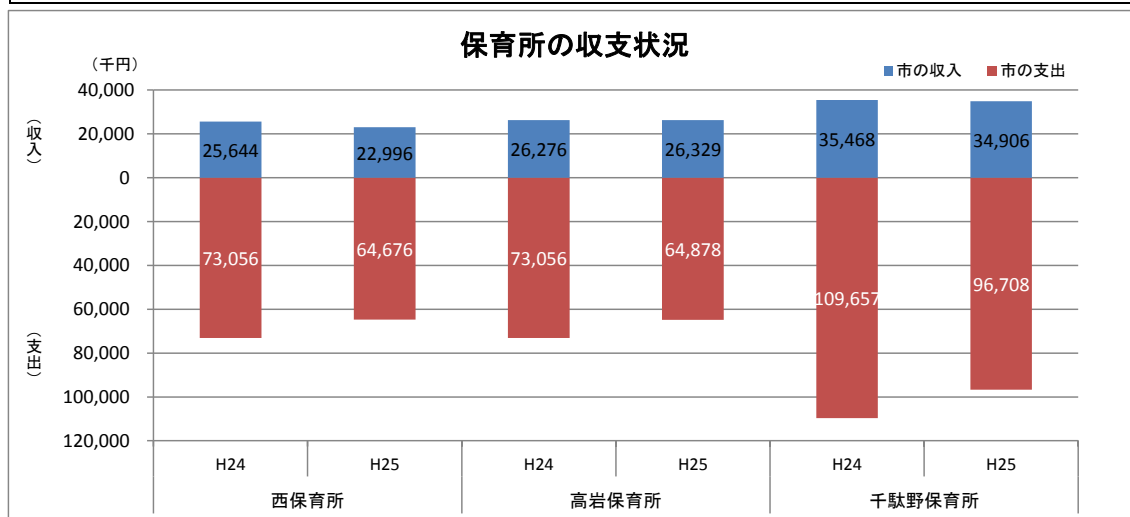
- ・「西保育所」は、入所児童数が横ばいであり、平成 25 年度末の入所児童数は 70 名となっています。
- ・「高岩保育所」は、入所児童数が横ばいであり、平成 25 年度末の入所児童数は 67 名となっています。
- ・「千駄野保育所」は、入所児童数が横ばいであり、平成 25 年度末の入所児童数は 98 名となっています。



(入所児童数は各年度末時点)

(4) 施設運営状況

- ・「西保育所」は、収入が約 2,500 万円程度に対し、支出が約 6,500 万円程度となっています。
- ・「高岩保育所」は、収入が約 2,600 万円程度に対し、支出が約 6,500 万円程度となっています。
- ・「千駄野保育所」は、収入が約 3,500 万円程度に対し、支出が約 1 億円程度となっています。



(5) 検討課題

- ・利用状況を見ると、定員に対して、どの保育所も超過している状況である。

6. 2 学童保育所等

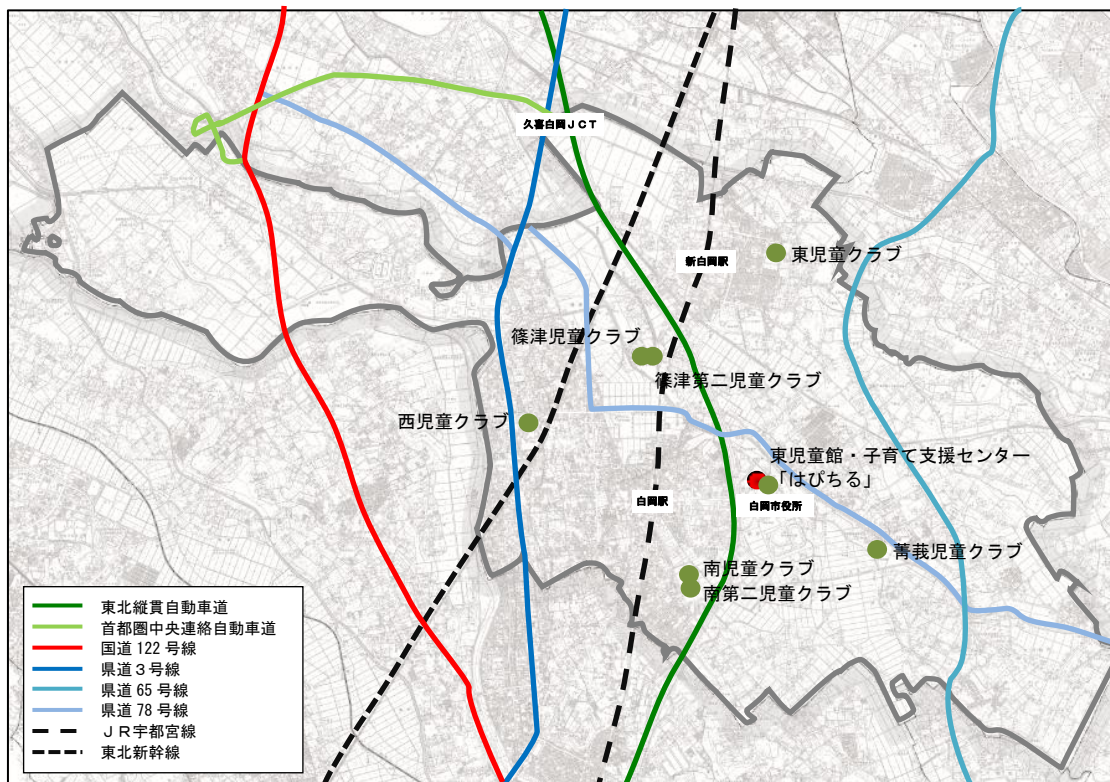
(1) 施設の概要

- ・「東児童館・子育て支援センター「はぴちる」」は、健全な遊びを通して、子どもたちの健やかな成長を積極的に図るための施設です。自由に遊んだり、行事に参加したりしながら生活体験を豊かにし、心身ともに健康に育つことを願い、指導と援助をしていきます。また、子育て支援センター「はぴちる」では、親子で楽しめる子育てクラブや育児相談(毎週月・火・水・金・土*休館日を除く 9時~17時)、子育てサークルの育成・支援、子育ての情報提供等を行っています。
- ・学童保育所(児童クラブ)は、保護者の就労等により放課後及び土曜日、春・夏・冬休み等の学校休業日に家庭等において保育することができない児童を家庭の保護者に代わって生活指導等を行い、児童の健全な育成を図ることを目的としています。
- ・ほとんどの施設が昭和57年以降に建築された新耐震基準の施設です。
- ・旧耐震基準での施設については、耐震工事が完了しております。

No.	施設名	住所	建築年	築年数	延床面積 (㎡)	定員 (人)	耐震診断	耐震改修	備考
1	篠津児童クラブ	篠津 2644	昭和 41	48	63.00	40	対応済	対応済	
2	善哉児童クラブ	上野田 101-1	昭和 44	45	86.00	40	対応済	対応済	
3	東児童クラブ	新白岡 2丁目 28-1	平成 6	20	105.00	40	新耐震	新耐震	
4	西児童クラブ	西 6丁目 3-1	平成 7	19	105.35	60	新耐震	新耐震	
5	南児童クラブ	小久喜 524-1	平成 10	16	164.00	60	新耐震	新耐震	
6	東児童館・子育て支援センター「はぴちる」	千駄野 445	平成 16	10	629.48	—	新耐震	新耐震	
7	篠津第二児童クラブ	篠津 2621-9	平成 24	2	101.38	40	新耐震	新耐震	
8	南第二児童クラブ	小久喜 603-4	平成 26	0	134.15	60	新耐震	新耐震	

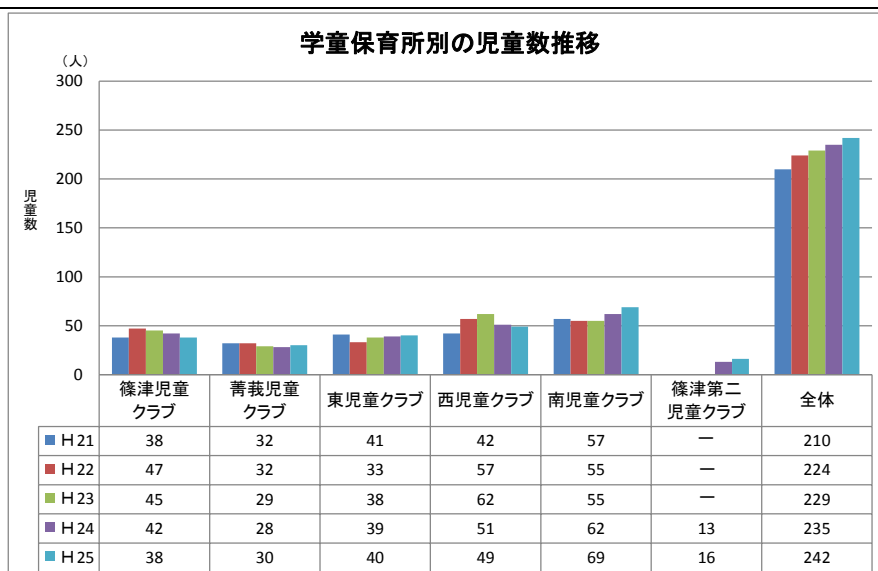
(2) 施設配置状況

各施設の位置図を示します。

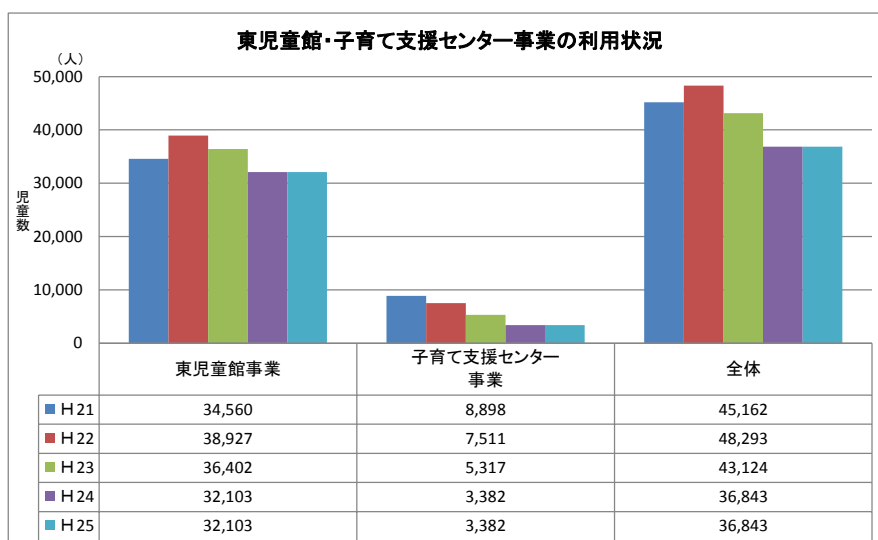


(3) 施設利用状況

- ・「篠津児童クラブ」は、入所児童数の増加に伴い、平成 24 年度に「篠津第二児童クラブ」を新設しました。
- ・「菁莪児童クラブ」は、入所児童数が横ばいであり、平成 25 年度の入所児童数は 30 名となっています。
- ・「東児童クラブ」は、入所児童数が横ばいであり、平成 25 年度の入所児童数は 40 名となっています。
- ・「西児童クラブ」は、平成 23 年度の入所児童数が 62 名でしたが、平成 25 年度の入所児童数は 49 名となっています。
- ・「南児童クラブ」は、入所児童数の増加に伴い、平成 26 年度に「南第二児童クラブ」を新設しました。
- ・学童保育所全体として、入所児童数は増加傾向であり、平成 21 年度の入所児童数が 210 名だったのに対し、平成 25 年度は 242 名となっています。

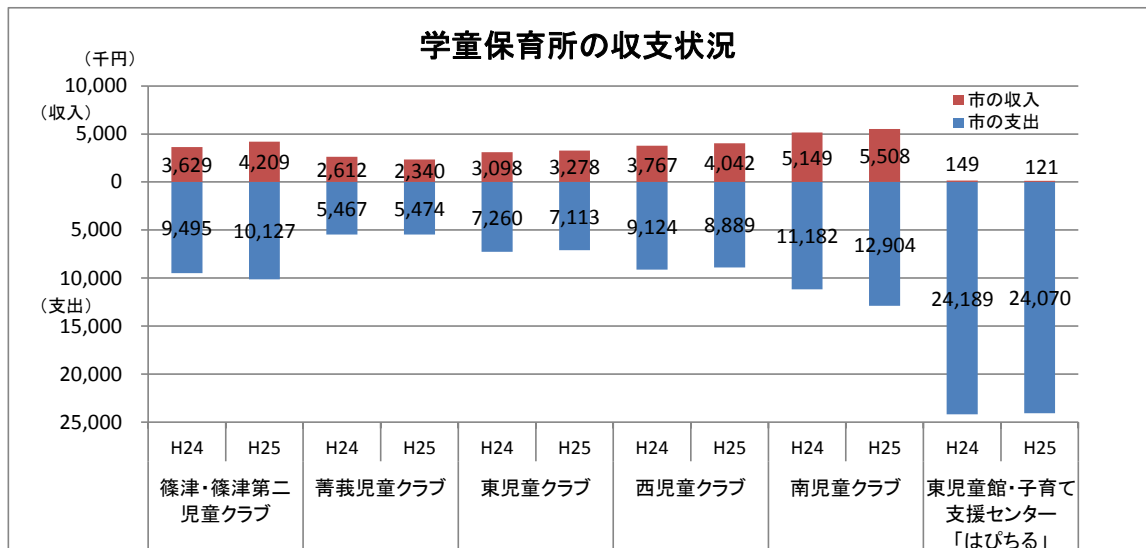


(入所児童数は各年度末時点)



(4) 施設運営状況

- ・「篠津・篠津第二児童クラブ」は、収入が約 400 万円程度に対し、支出が約 1,000 万円程度となっています。
- ・「菁莪児童クラブ」は、収入が約 250 万円程度に対し、支出が約 550 万円程度となっています。
- ・「東児童クラブ」は、収入が約 300 万円程度に対し、支出が約 700 万円程度となっています。
- ・「西児童クラブ」は、収入が約 400 万円程度に対し、支出が約 900 万円程度となっています。
- ・「南児童クラブ」は、収入が約 500 万円程度に対し、支出が約 1,200 万円程度となっています。
- ・「東児童館・子育て支援センター「はぴちる」」は、支出が約 2,400 万円程度となっています。



(5) 検討課題

- ・学童保育所を利用する児童は、過去 5 年間で約 30 名程度、増加している。
- ・収入に比べ、支出が大きいことから、今後も受け入れ入所児童数が増加する場合、支出も増加することが考えられる。

7. 学校教育系施設

7. 1 小学校

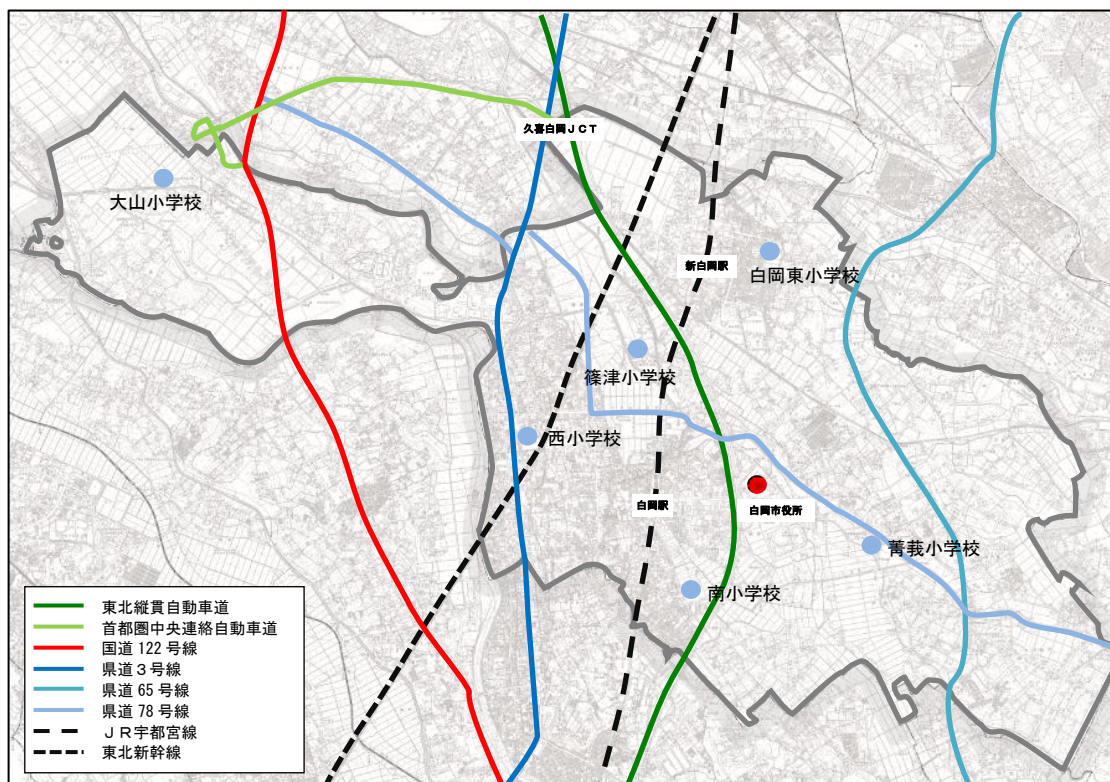
(1) 施設の概要

- ・ほとんどの施設が築30年以上を経過しています。昭和56年以前に建築された旧耐震基準の施設が5施設、昭和57年以降に建築された新耐震基準の施設が1施設です。
- ・旧耐震基準での施設については、耐震工事が完了しております。

No.	施設名	住所	建築年	築年数	延床面積 (㎡)	入所児童数 (人)	学級数 (室)	耐震診断	耐震改修
1	篠津小学校	篠津 2644	昭和41	48	4,153	470	15	対応済	対応済
2	菁莪小学校	上野田 101-1	昭和44	45	6,658	301	13	対応済	対応済
3	南小学校	小久喜 524-1	昭和50	39	7,630	736	25	対応済	対応済
4	大山小学校	荒井新田 339	昭和55	34	3,314	88	7	対応済	対応済
5	西小学校	西6丁目 3-1	昭和53	36	6,878	606	18	対応済	対応済
6	白岡東小学校	新白岡2丁目 28-1	平成7	19	6,644	487	16	新耐震	新耐震

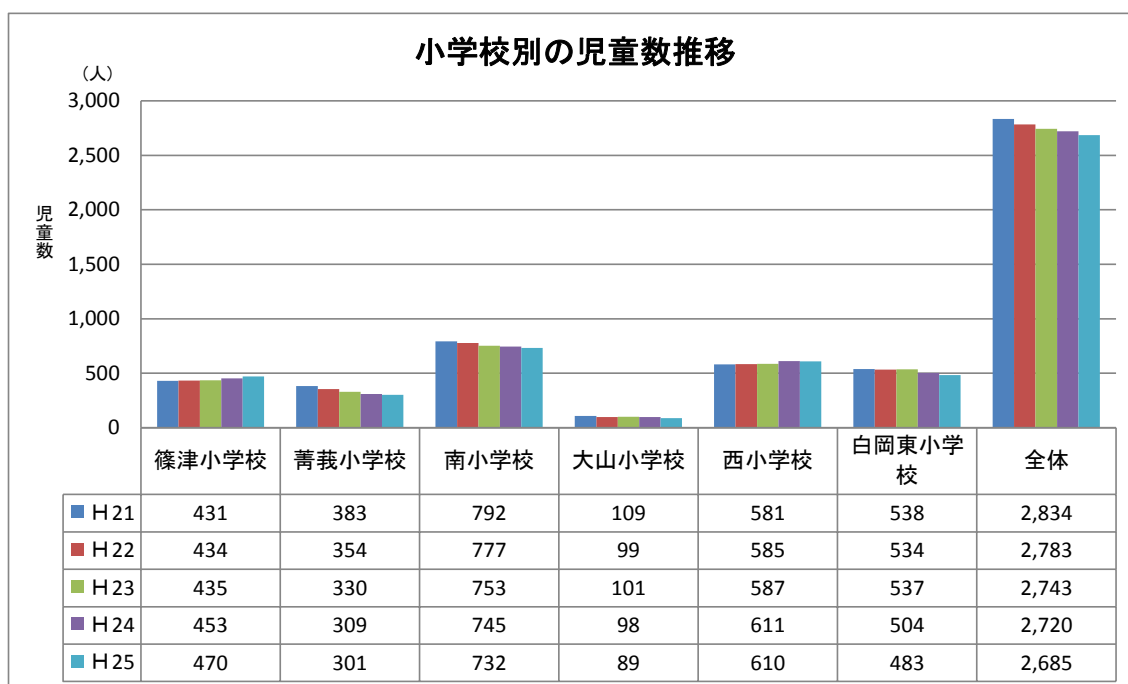
(2) 施設配置状況

各小学校の位置を示します。



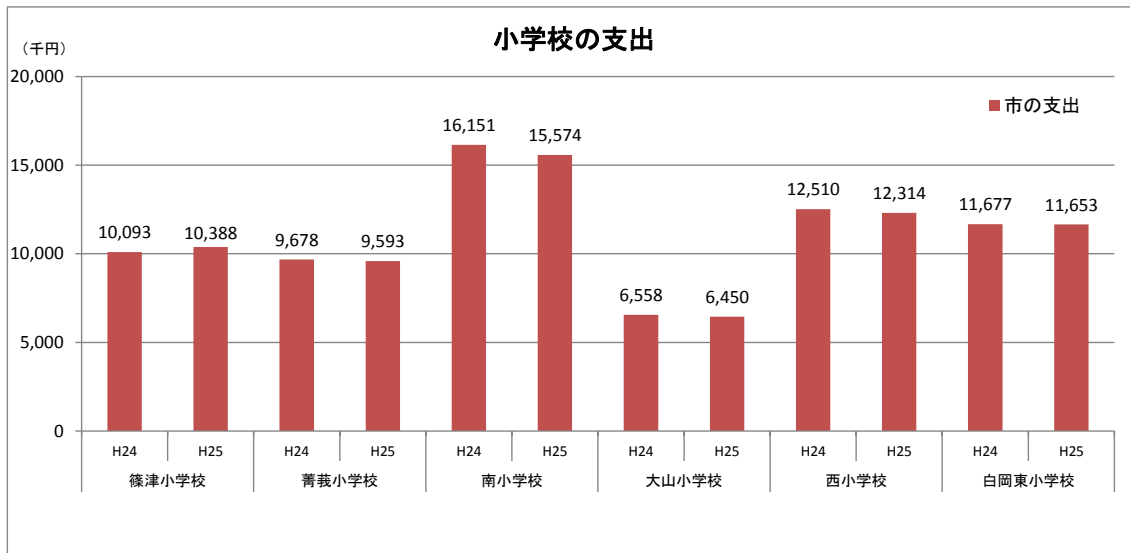
(3) 児童数の推移

- ・「篠津小学校」は、児童数が増加傾向にあり、平成 25 年度の児童数は 470 名となっています。
- ・「菁莪小学校」は、児童数が減少傾向にあり、平成 25 年度の児童数は 301 名となっています。
- ・「南小学校」は、児童数が減少傾向にあり、平成 25 年度の児童数は 732 名となっています。
- ・「大山小学校」は、児童数が減少傾向にあり、平成 25 年度の児童数は 89 名となっています。
- ・「西小学校」は、児童数が増加傾向にあり、平成 25 年度の児童数は 610 名となっています。
- ・「白岡東小学校」は、児童数が減少傾向にあり、平成 25 年度の児童数は 483 名となっています。
- ・小学校全体として、児童数は減少傾向であり、平成 25 年度の児童数は 2,685 名となっています。



(4) 施設運営状況

- ・「篠津小学校」は、支出が約 1,000 万円程度となっています。
- ・「菁莪小学校」は、支出が約 950 万円程度となっています。
- ・「南小学校」は、支出が約 1,500 万円程度となっています。
- ・「大山小学校」は、支出が約 650 万円程度となっています。
- ・「西小学校」は、支出が約 1,200 万円程度となっています。
- ・「白岡東小学校」は、支出が約 1,100 万円程度となっています。



(5) 検討課題

【施設状況】

- ・耐震補強済であるものの、築年数は 40 年程度経過しており、計画的に維持修繕を行っていく必要がある。

【児童数の状況】

- ・児童数が増えている小学校もあるものの、全体として減少傾向にあるため、今後、検討が必要となってくる。

7. 2 中学校

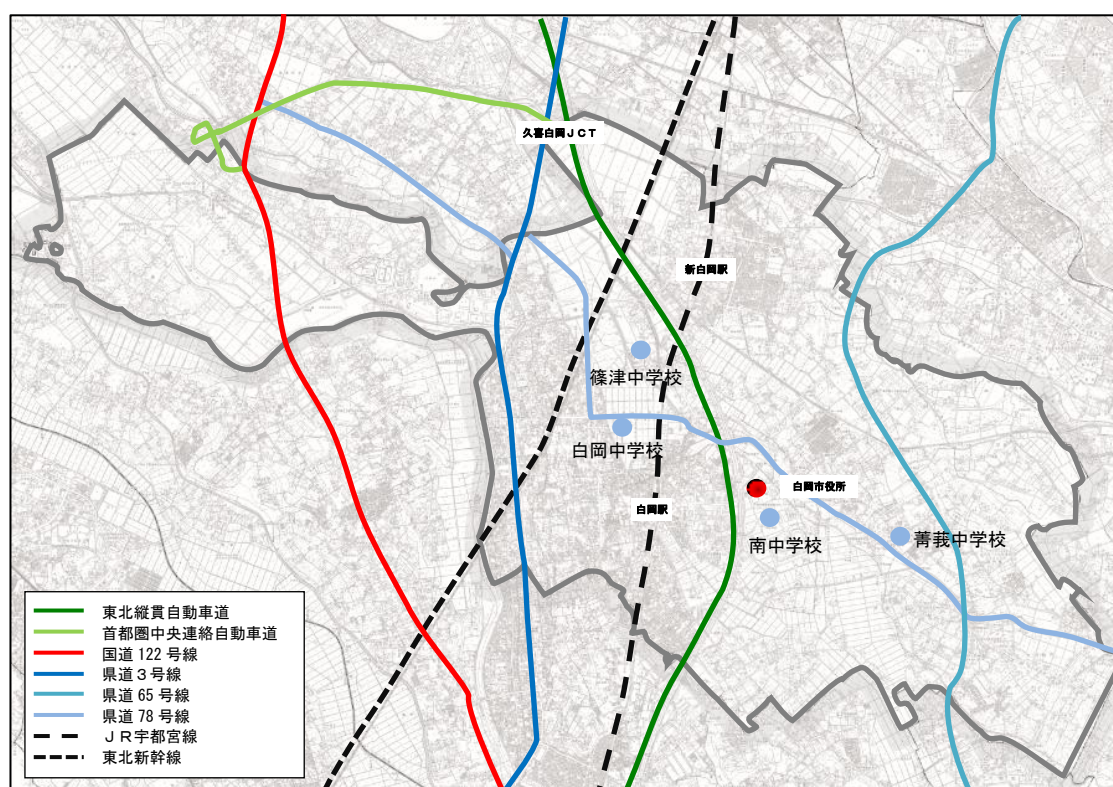
(1) 施設の概要

- ・ 3施設が築 30 年以上を経過しています。昭和 56 年以前に建築された旧耐震基準の施設が 2 施設、昭和 57 年以降に建築された新耐震基準の施設が 2 施設です。
- ・ 旧耐震基準での施設については、耐震工事が完了しております。

No.	施設名	住所	建築年	築年数	延床面積 (㎡)	生徒数 (人)	学級数 (室)	耐震診断	耐震改修
1	菁莪中学校	下野田 927	昭和 46	43	6,034	173	6	対応済	対応済
2	篠津中学校	篠津 2617	昭和 53	36	6,773	430	12	対応済	対応済
3	南中学校	千駄野 356-1	昭和 57	32	6,291	383	14	新耐震	新耐震
4	白岡中学校	白岡 1647-1	平成 2	24	6,999	372	13	新耐震	新耐震

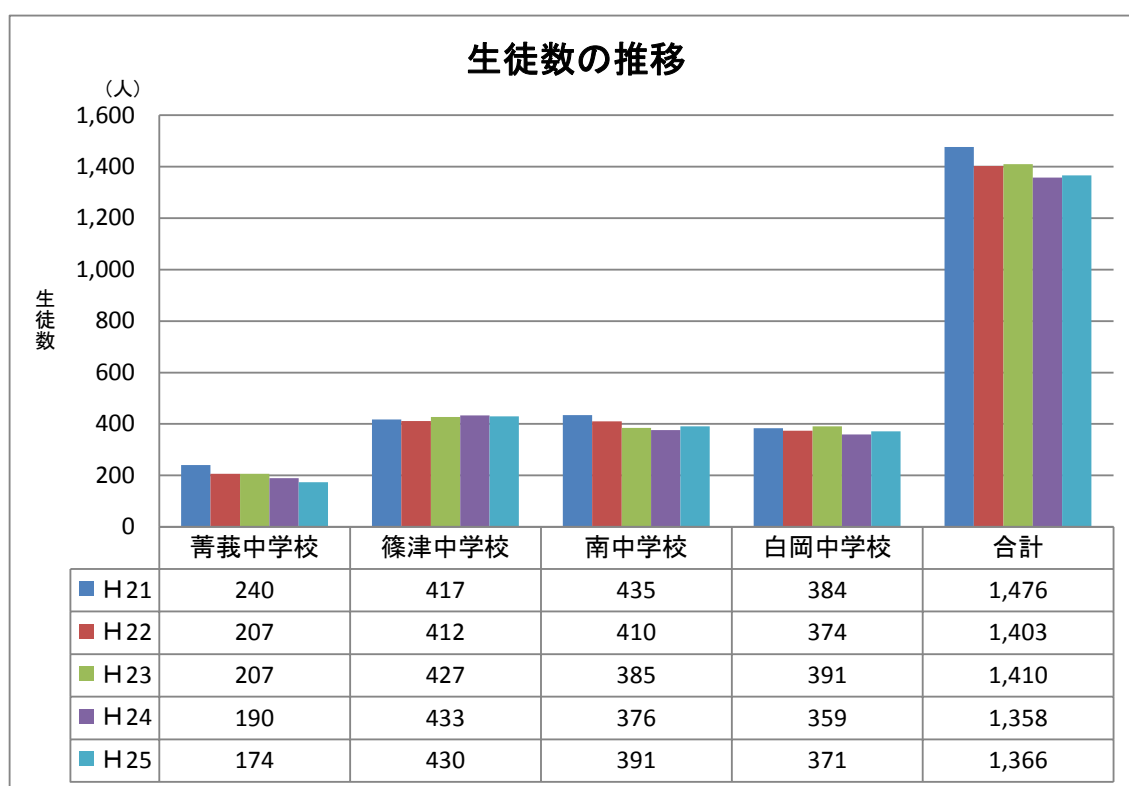
(2) 施設配置状況

各中学校の位置を示します。



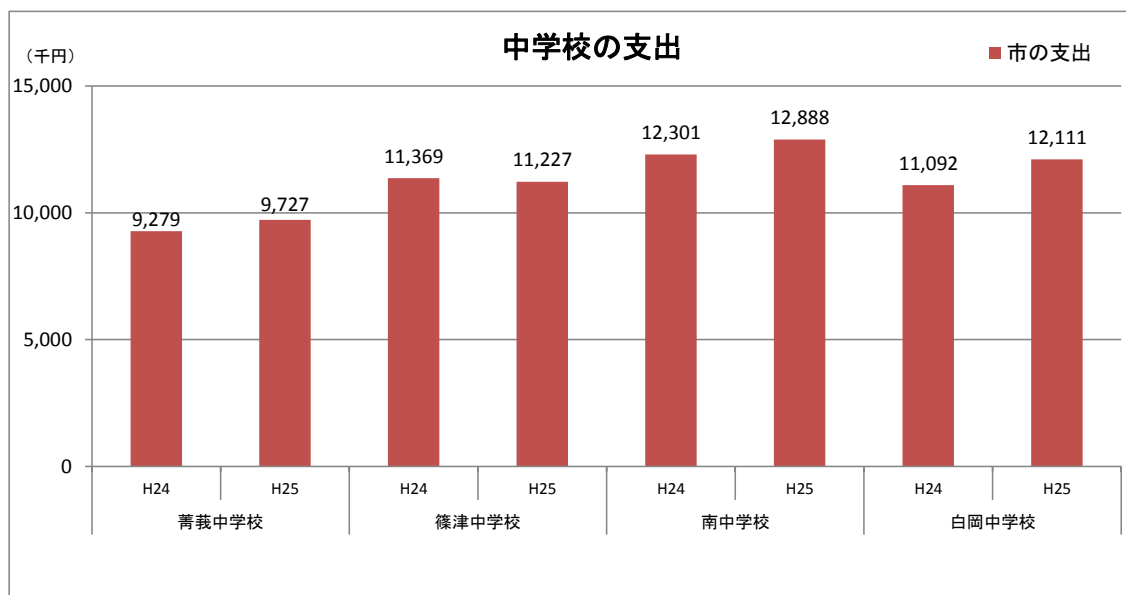
(3) 生徒数の推移

- ・「菁莪中学校」は、生徒数が減少傾向にあり、平成 25 年度の児童数は 174 名となっています。
- ・「篠津中学校」は、生徒数が増加傾向にあり、平成 25 年度の児童数は 430 名となっています。
- ・「南中学校」は、生徒数が減少傾向にあり、平成 25 年度の児童数は 391 名となっています。
- ・「白岡中学校」は、生徒数が減少傾向にあり、平成 25 年度の児童数は 371 名となっています。
- ・中学校全体として、生徒数は減少傾向であり、平成 25 年度の児童数は 1,366 名となっています。



(4) 施設運営状況

- ・「菁莪中学校」は、支出が約 950 万円程度となっています。
- ・「篠津中学校」は、支出が約 1,100 万円程度となっています。
- ・「南中学校」は、支出が約 1,200 万円程度となっています。
- ・「白岡中学校」は、支出が約 1,150 万円程度となっています。



(5) 検討課題

【施設状況】

- ・耐震補強済であるものの、築年数は 40 年程度経過しており、計画的に維持修繕を行っていく必要がある。

【生徒数の状況】

- ・生徒数が増えている中学校もあるものの、全体として減少傾向にあるため、今後、検討が必要となってくる。

8. 行政系施設

8. 1 庁舎等

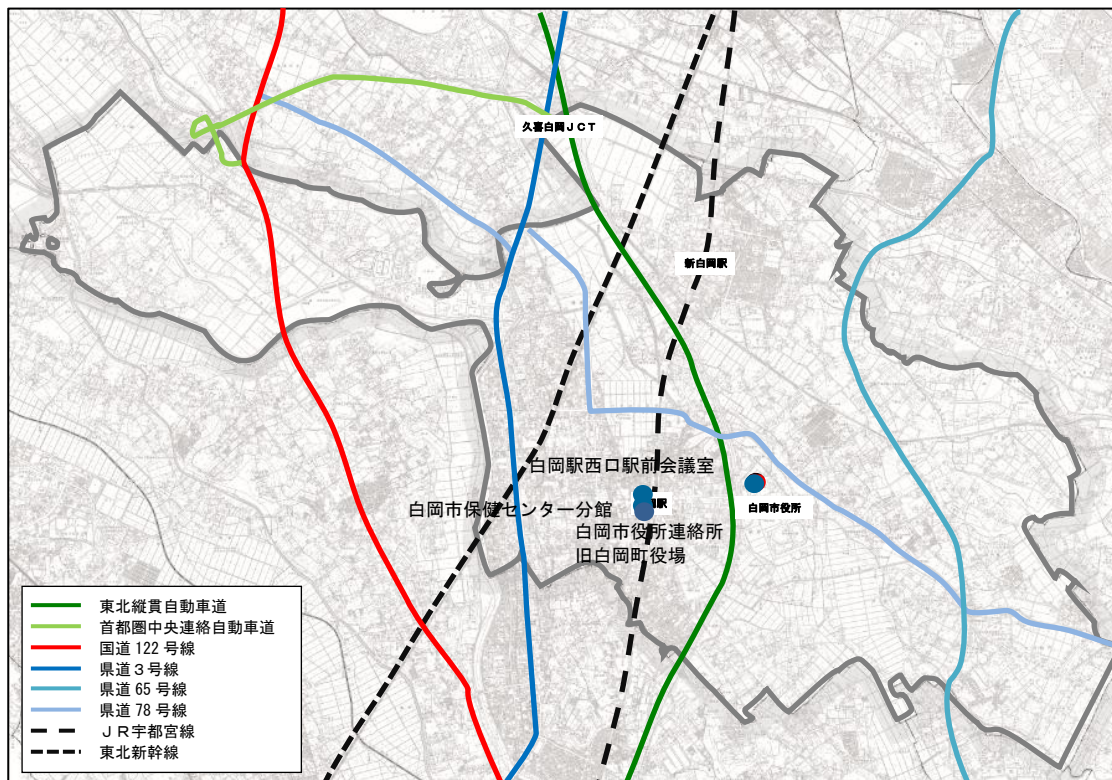
(1) 施設の概要

- ・「白岡市保健センター分館」は現在、白岡市の総合施設として利用しています。
- ・1階には白岡市観光協会もあります。
- ・緊急時の避難所としての施設です。
- ・本施設の1階部分には、白岡市観光協会事務局及び介護予防に資する拠点施設として高齢者筋力向上トレーニング事業等が実施され年間約23,000人の方々が利用しています。また、2階部分には教育支援センターが設置されています。
- ・旧白岡町役場と白岡市保健センター分館を除いて、昭和57年以降に建築された新耐震基準の施設です。
- ・「白岡市役所連絡所」では、戸籍謄抄本や住民票、印鑑登録証明書、母子健康手帳の交付や、年金受給者の現況証明書の交付、その他の簡易な事務に関するサービスを行っています。
- ・「白岡駅西口駅前会議室」については、白岡駅西口周辺整備のまちづくりに対する住民の機運の醸成及び整備計画の策定の推進を図るための会議室として設置しています。

No.	施設名	住所	建築年	築年数	延床面積 (㎡)	耐震診断	耐震改修
1	旧白岡町役場	小久喜 1213-1	昭和 31	58	786.06	—	—
2	白岡市保健センター 分館	白岡 1172	昭和 55	34	907.58	未実施	未実施
3	白岡市役所	千駄野 432	平成 4	22	8,566.89	新耐震	新耐震
4	白岡市役所連絡所	小久喜 1213-3	平成 4	22	41.54	新耐震	新耐震
5	白岡駅西口駅前会議室	小久喜 1214	平成 6	20	99.00	新耐震	新耐震

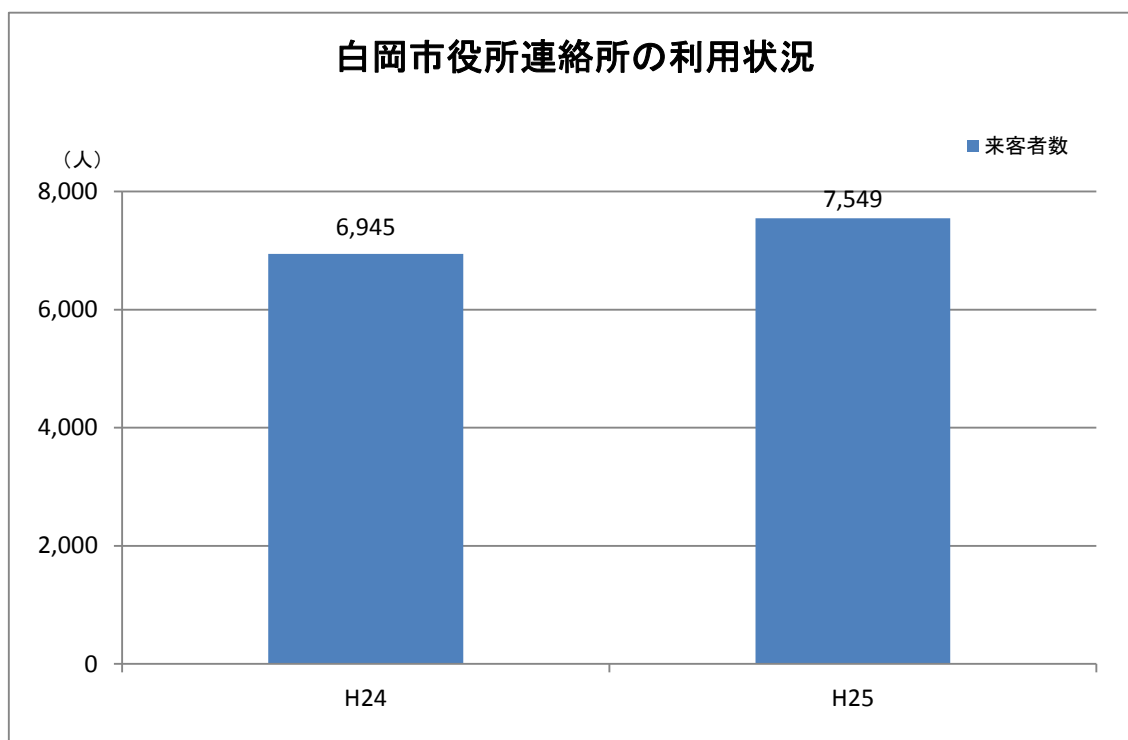
(2) 施設配置状況

各施設の位置を示します。



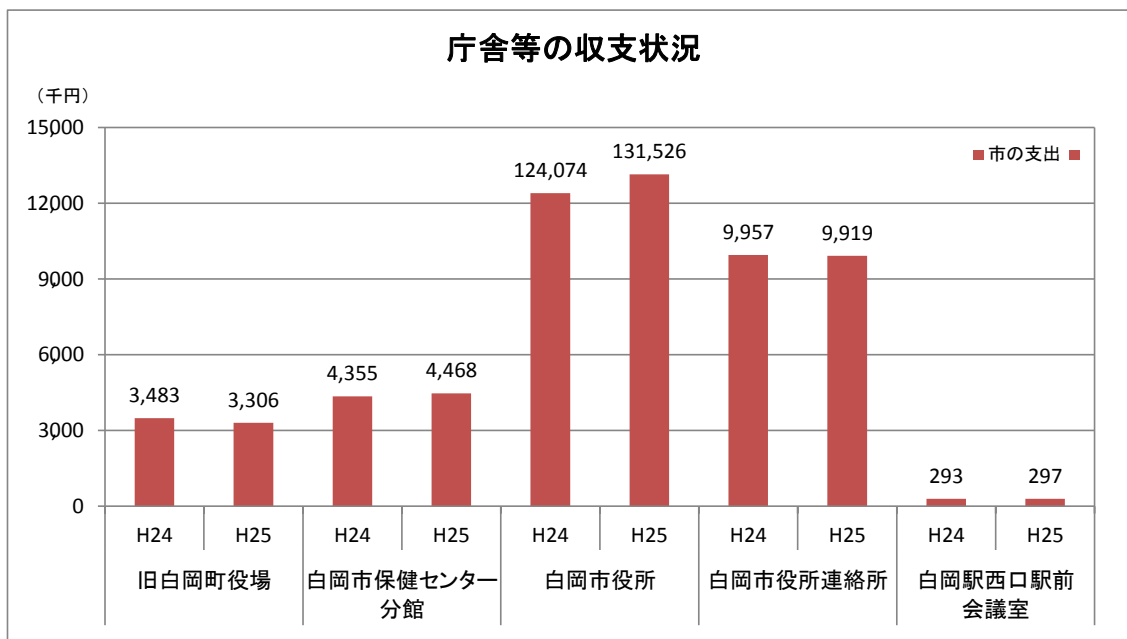
(3) 施設利用状況

・「白岡市役所連絡所」は、平成24年度に6,945人の利用があり、平成25年度には7,549人の利用がありました。



(4) 施設運営状況

- ・「白岡市保健センター分館」は、支出が440万円程度となっています。
- ・「旧白岡町役場」は、支出が約3,000万円程度となっています。
- ・「白岡市役所」は、支出が約1億3,000万円程度となっています。
- ・「白岡市役所連絡所」は、支出が約1,000万円程度となっています。
- ・「白岡駅西口駅前会議室」は、支出が約30万円程度となっています。



(5) 検討課題

- ・白岡市保健センター分館は、昭和56年以前に建築された旧耐震基準の施設であり、緊急時の避難所としての施設である。
- ・築30年を超えており、今後老朽化に伴う修繕費用などの支出がかさむ恐れがあるため、修繕費の平準化を図るなど、計画的な維持修繕が必要となる。
- ・市役所は、比較的新しく、昭和57年以降に建築された新耐震基準での建物であるため、老朽化に対する懸念は少ない。

8. 2 消防施設

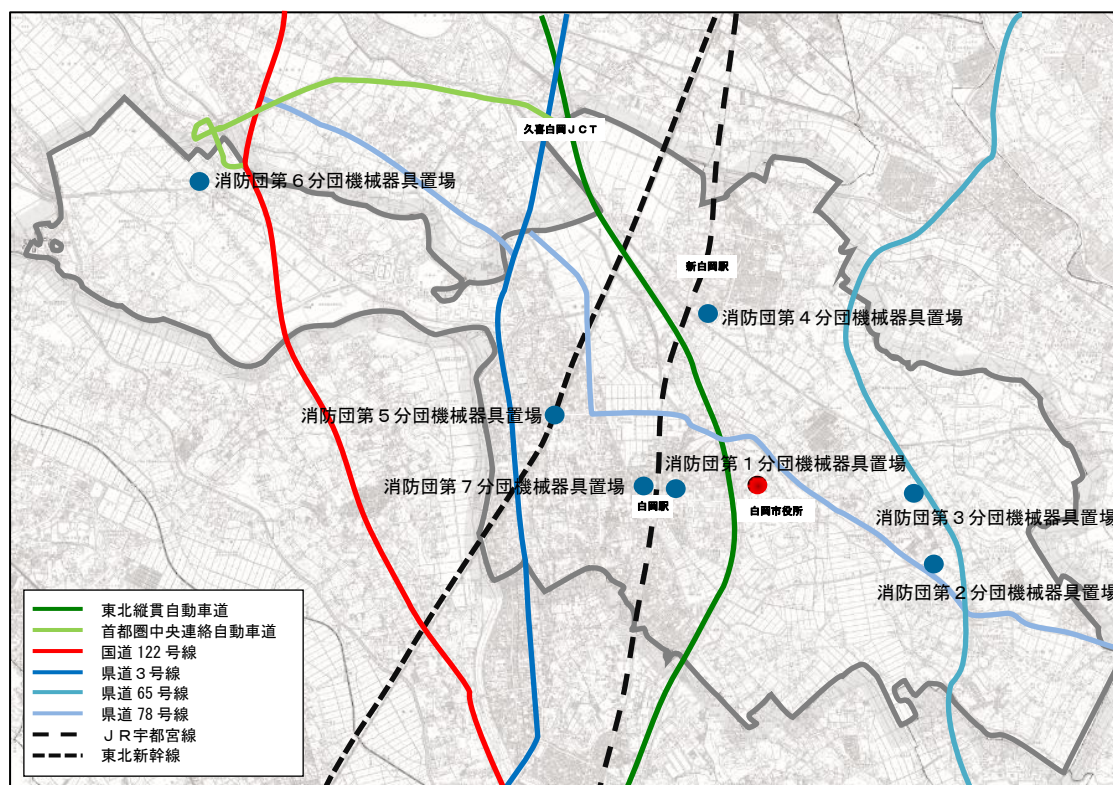
(1) 施設の概要

- ・消防団員が使用する消防ポンプ自動車等の資機材が置いてあり、月2回月例点検としてそれらの機械器具の点検を行っています。
- ・昭和56年以前に建築された旧耐震基準の施設が4施設、昭和57年以降に建築された新耐震基準の施設が3施設です。そのうち、「消防団第3分団機械器具置場」は、老朽化に伴い、建替え予定です。「消防団第7分団機械器具置場」についても、耐震基準を満たさないため、改修予定です。

No.	施設名	住所	建築年	築年数	延床面積 (㎡)	耐震診断	耐震改修
1	消防団第7分団機械器具置場	小久喜 1153-5	昭和50	39	52.05	改修予定	改修予定
2	消防団第3分団機械器具置場	下野田 716-1	昭和52	37	47.98	建替予定	建替予定
3	消防団第1分団機械器具置場	小久喜 1213-1	昭和55	34	47.98	未実施	未実施
4	消防団第5分団機械器具置場	篠津 1917-3	昭和55	24	47.26	未実施	未実施
5	消防団第2分団機械器具置場	岡泉 1363-3	平成3	23	70.21	新耐震	新耐震
6	消防団第4分団機械器具置場	高岩 451	平成6	20	70.21	新耐震	新耐震
7	消防団第6分団機械器具置場	荒井新田 359-4	平成9	17	70.21	新耐震	新耐震

(2) 施設配置状況

消防団機械器具置場の位置を示します。



(3) 施設利用状況

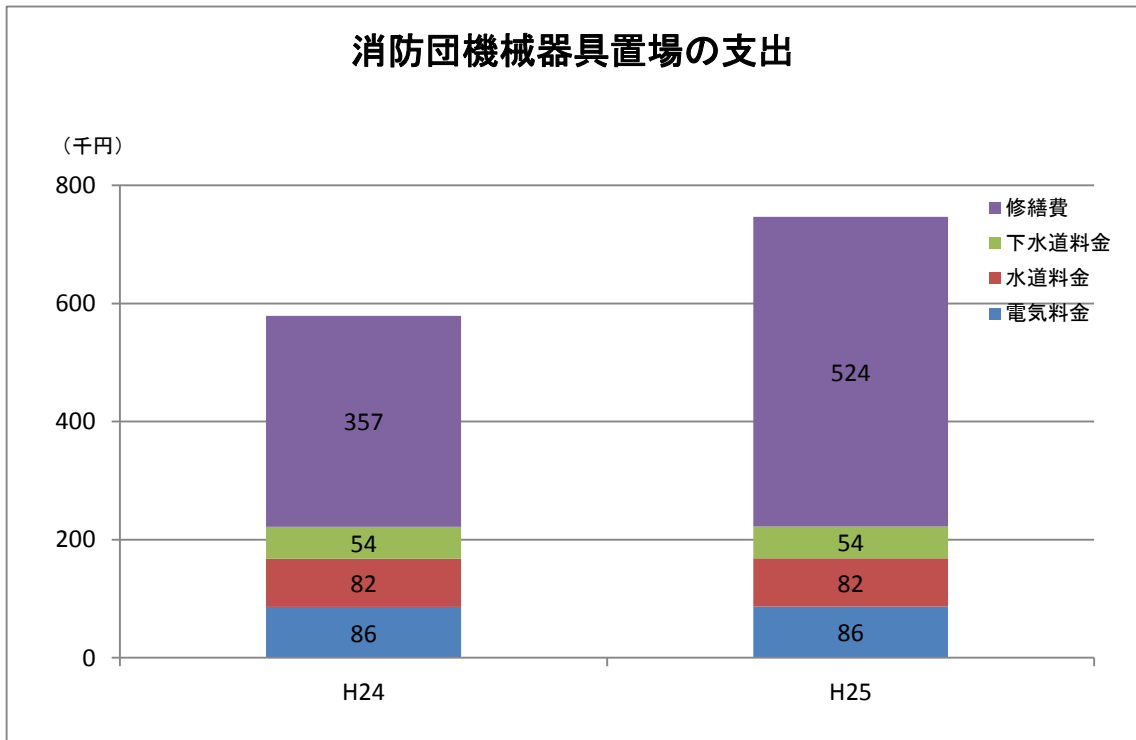
・月例点検として、各分団で月2回の点検活動を行っています。

年度	月例点検	火災出動回数	合計	備考 (火災出動分団)
平成25年度 上期	12回	2回	14回	第1～7分団
平成25年度 下期	12回	0回	12回	
平成26年度 上期	12回	1回	13回	第2分団

(4) 施設運営状況

・消防団機械器具置場の全体の支出として、平成24年度が約60万円程度であり、平成25年度が約75万円程度となっています。

・平成24年度の修繕費の内容としては、看板標示の変更、平成25年度の修繕費の内訳としては、流し台の設置、トイレ水洗化、畳張替えとなっています。



(5) 検討課題

・消防団第1分団機械器具置場、消防団第5分団機械器具置場については、今後耐震基準に対する対応が必要となる。

・維持管理費として、年間70万円前後の支出が必要となる。

9. その他施設

9. 1 車庫

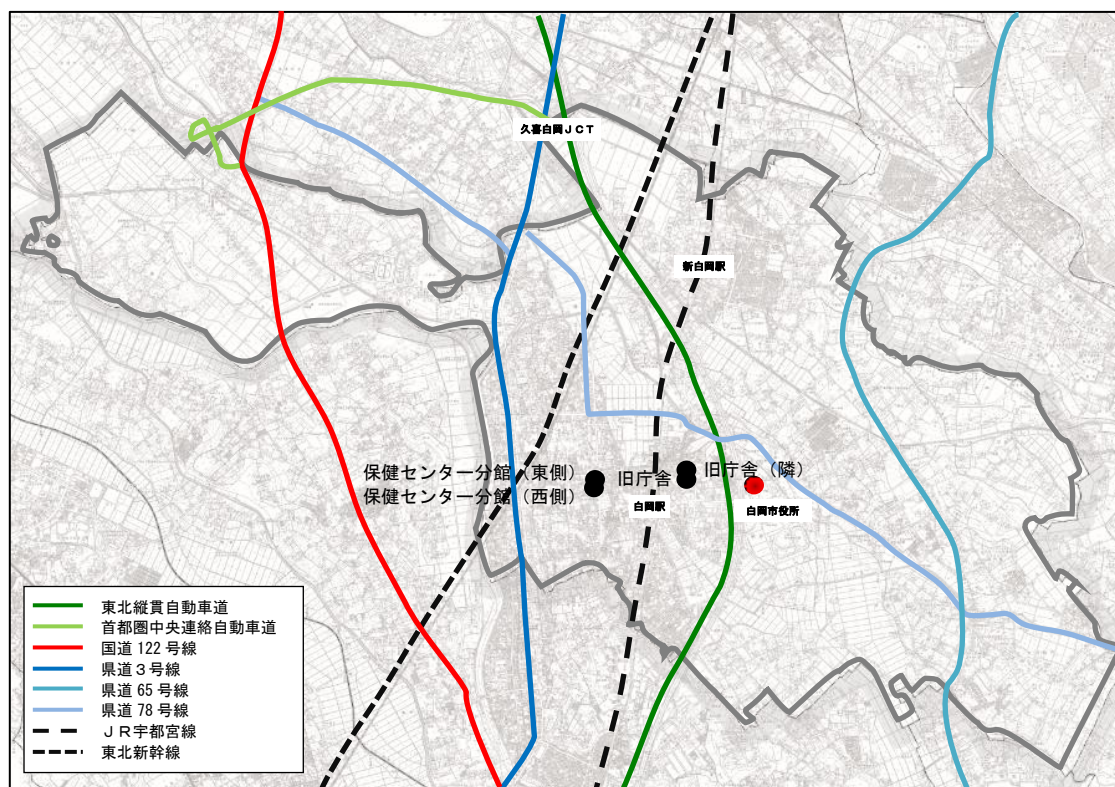
(1) 施設の概要

- ・すべての施設で、昭和56年以前に建築された旧耐震基準の施設です。

No.	施設名	住所	建築年	築年数	延床面積 (㎡)	耐震診断	耐震改修
1	旧庁舎	小久喜 1213-1	昭和 48	41	84.00	未実施	未実施
2	旧庁舎 (隣)	小久喜 1213-1	昭和 52	37	37.44	未実施	未実施
3	保健センター分館 (東側)	白岡 1172	昭和 55	34	37.50	未実施	未実施
4	保健センター分館 (西側)	白岡 1172	昭和 55	34	9.60	未実施	未実施

(2) 施設配置状況

各施設の位置を示します。



(3) 施設利用状況

- ・各施設への訪問者によって利用されています。

(4) 施設運営状況

- ・各施設の管理者により、運営されています。

9. 2 公衆便所

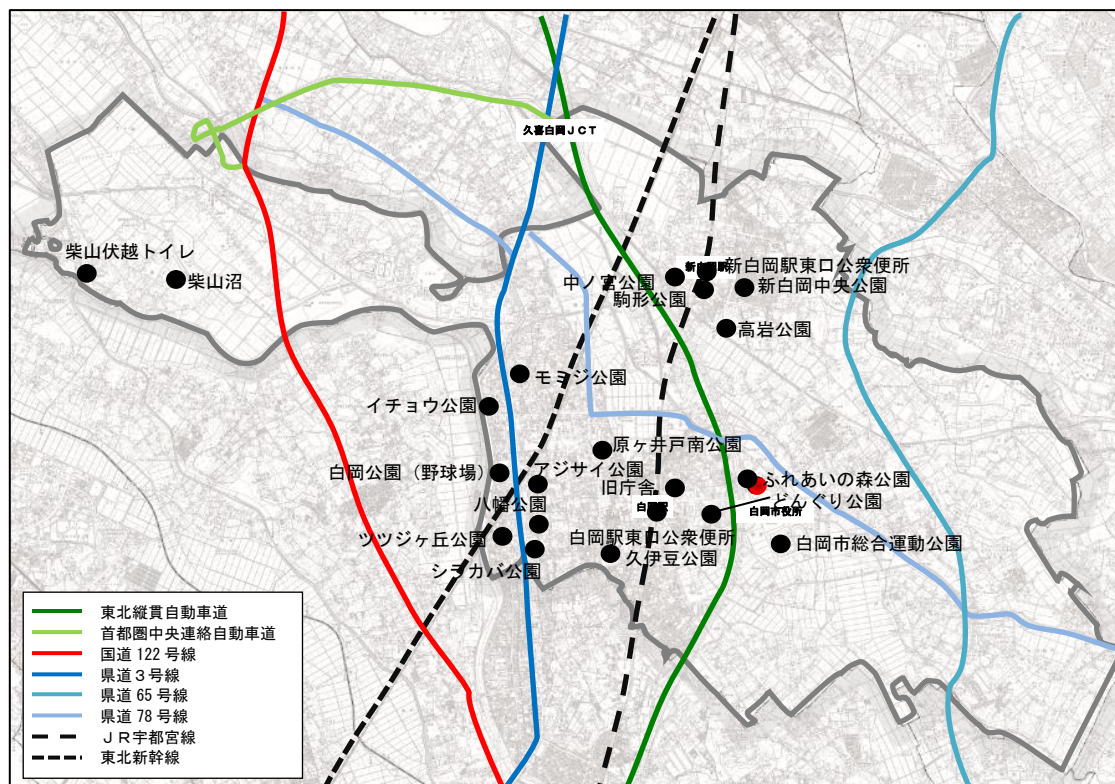
(1) 施設の概要

- ・公衆便所の 21 施設のうち、1 施設（旧庁舎）以外は、昭和 57 年以降に建築された新耐震基準の施設です。

No.	施設名	住所	建築年	築年数	延床面積 (㎡)	耐震診断	耐震改修
1	旧庁舎	小久喜 1213-1	昭和 57	32	36.34	未実施	未実施
2	新白岡駅東口公衆便所	野牛 1107-4	昭和 62	27	35.18	新耐震	新耐震
3	新白岡中央公園	新白岡 2 丁目 19-9	昭和 63	26	9.90	新耐震	新耐震
4	高岩公園	新白岡 3 丁目 43	昭和 63	26	23.58	新耐震	新耐震
5	ふれあいの森公園	小久喜 765	平成 4	22	24.25	新耐震	新耐震
6	八幡公園	白岡 858-1	平成 8	18	13.91	新耐震	新耐震
7	白岡市総合運動公園	千駄野 345	平成 9	17	128.80	新耐震	新耐震
8	アジサイ公園	西 4 丁目 6	平成 8	18	2.10	新耐震	新耐震
9	シラカバ公園	西 1 丁目 9	平成 9	17	2.00	新耐震	新耐震
10	柴山沼	柴山 1941-3	平成 7	19	39.66	新耐震	新耐震
11	モミジ公園	西 9 丁目 4	平成 10	16	2.28	新耐震	新耐震
12	柴山伏越トイレ	柴山 1098-4	平成 13	13	25.34	新耐震	新耐震
13	原ヶ井戸南公園	白岡東 19	平成 13	13	4.57	新耐震	新耐震
14	ツツジヶ丘公園	西 2 丁目 4	平成 14	12	6.37	新耐震	新耐震
15	中ノ宮公園	野牛・高岩土地区画整理地内	平成 14	12	6.12	新耐震	新耐震
16	白岡公園（野球場）	西 5 丁目 12	平成 15	11	11.60	新耐震	新耐震
17	イチョウ公園	西 1 〇丁目 4	平成 16	10	5.30	新耐震	新耐震
18	駒形公園	野牛・高岩土地区画整理地内	平成 21	5	6.21	新耐震	新耐震
19	久伊豆公園	小久喜 21-1	平成 22	4	16.90	新耐震	新耐震
20	どんぐり公園	白岡駅東部中央土地区画整理地内	平成 26	0	5.36	新耐震	新耐震
21	白岡駅東口公衆便所	小久喜 1195-2	平成 27	-	48.72	新耐震	新耐震

(2) 施設配置状況

各施設の位置を示します。



(3) 施設利用状況

・各施設への訪問者によって利用されています。

(4) 施設管理状況

・各施設の管理者により、管理されています。

9. 3 ポンプ室

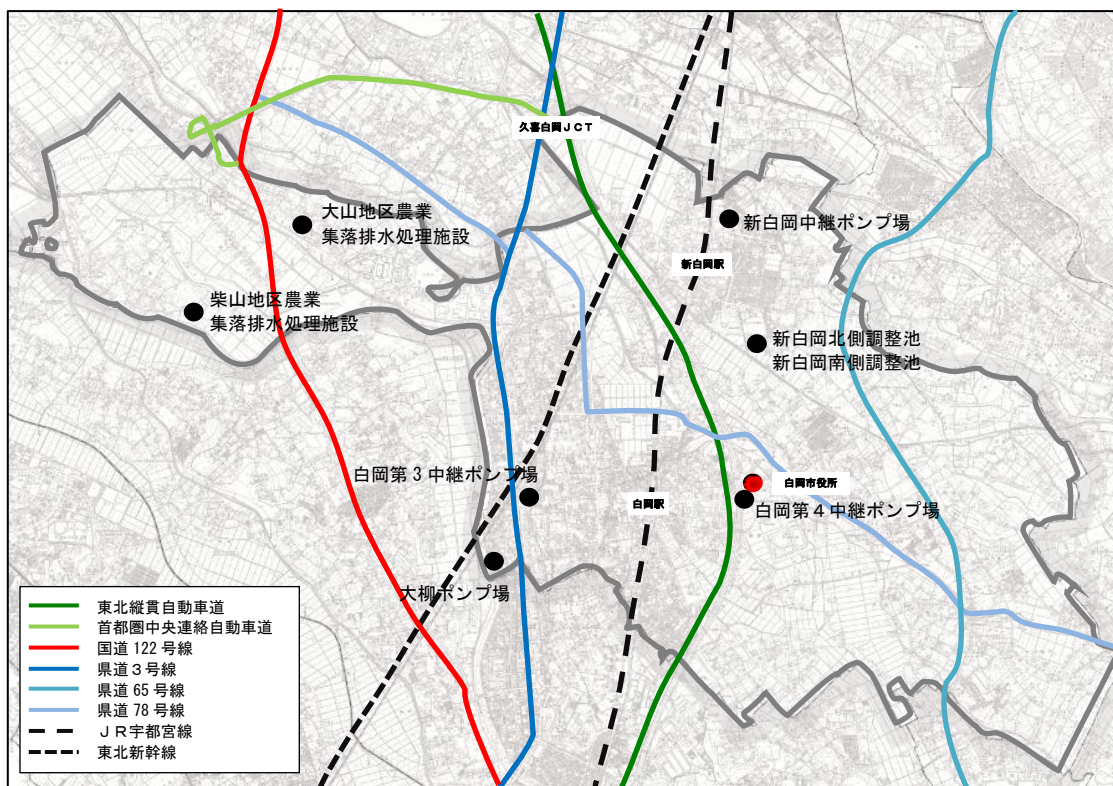
(1) 施設の概要

- ・「白岡第3中継ポンプ場」は、汚水を県で管理する中川流域下水道幹線（終末処理場は三郷市内）に導くための中継ポンプ場として、平成6年に建設したものです。
- ・「新白岡中継ポンプ場」は、新白岡地内の汚水を、白岡第4中継ポンプ場まで排水するための中継ポンプ場です。
- ・「新白岡北側調整池」は、新白岡北側遊水地に溜まった雨水を、一級河川備前掘川に放流するためのポンプ施設です。
- ・「新白岡南側調整池」は、南側遊水地に溜まった雨水を、一級河川姫宮堀川へ放流するためのポンプ施設です。
- ・「白岡第4中継ポンプ場」は、汚水を県で管理する中川流域下水道幹線（終末処理場は三郷市内）に導くための中継ポンプ場です。
- ・「柴山地区農業集落排水処理施設」は、処理区域内の汚水・雑排水を処理するための汚水処理施設です。
- ・「大柳ポンプ場」は、大雨により磯川が増水した場合、一級河川元荒川へ強制排出するためのポンプ施設です。
- ・「大山地区農業集落排水処理施設」は、処理区域内の汚水・雑排水を処理するための汚水処理施設です。
- ・すべて昭和57年以降に建築された新耐震基準の施設です。

No.	施設名	住所	建築年	築年数	延床面積 (㎡)	耐震診断	耐震改修
1	白岡第3中継ポンプ場	西4-1-11	平成6	20	290.53	新耐震	新耐震
2	新白岡中継ポンプ場	新白岡1-13-3	平成6	20	14.90	新耐震	新耐震
3	新白岡北側調整池	新白岡1-13-3	平成8	18	24.79	新耐震	新耐震
4	新白岡南側調整池	新白岡3-46	平成10	16	36.12	新耐震	新耐震
5	白岡第4中継ポンプ場	千駄野1031-1	平成12	14	603.09	新耐震	新耐震
6	柴山地区農業集落排水処理施設	柴山377	平成12	14	195.58	新耐震	新耐震
7	大柳ポンプ場	西2丁目18-11	平成15	11	94.17	新耐震	新耐震
8	大山地区農業集落排水処理施設	下大崎395	平成18	8	206.74	新耐震	新耐震

(2) 施設配置状況

各施設の位置を示します。

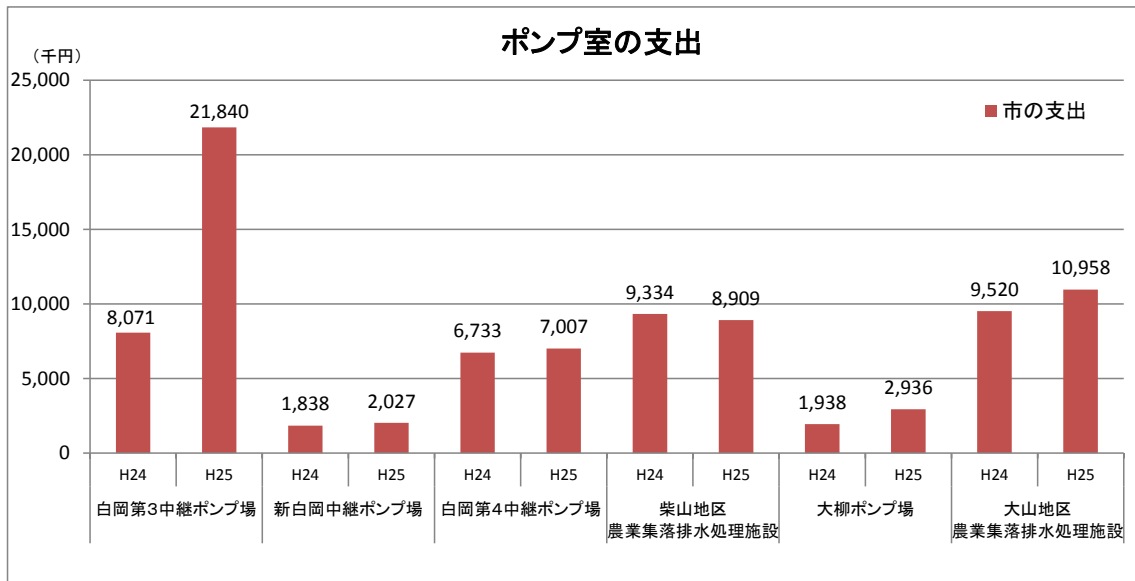


(3) 施設利用状況

・雨水や汚水、雑排水の放流や処理施設として利用されています。

(4) 施設運営状況

- ・「白岡第3中継ポンプ場」は、支出が2,000万円程度となっています。
- ・「新白岡中継ポンプ場」は、支出が約200万円程度となっています。
- ・「白岡第4中継ポンプ場」は、支出が700万円程度となっています。
- ・「柴山地区農業集落排水処理施設」は、支出が約900万円程度となっています。
- ・「大柳ポンプ場」は、支出が約250万円程度となっています。
- ・「大山地区農業集落排水処理施設」は、支出が約1,000万円程度となっています。
- ・すべて業務委託により運営されています。



(5) 検討課題

- ・昭和57年以降に建築された新耐震基準の施設であるが、複数施設があるため、計画的に維持修繕を進める必要がある。

9. 4 駐輪場

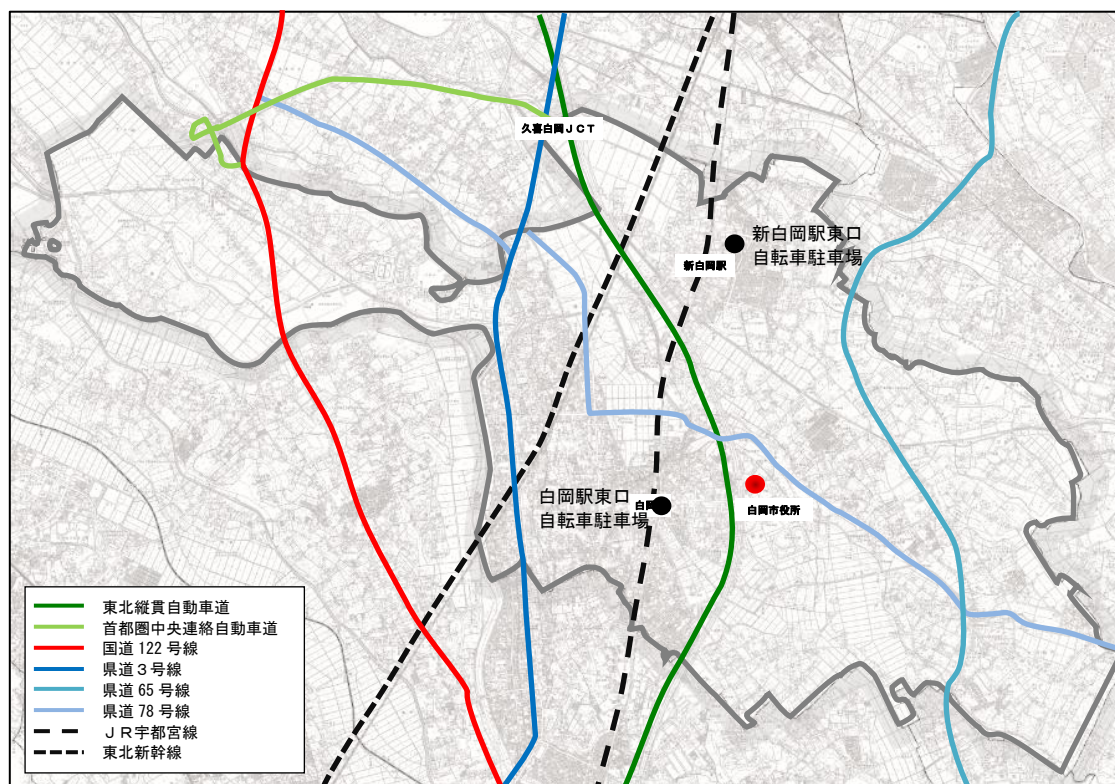
(1) 施設の概要

- すべて昭和 57 年以降に建築された新耐震基準の施設です。
- 「白岡駅東口自転車駐車場」は、白岡市の要望に基づき、財団法人自転車駐車場整備センターが昭和 62 年度に設置したものであり、平成 5 年度の増築を経て、平成 17 年度に市へ無償譲渡され、指定管理制度を利用した管理を開始しました。
- 「新白岡駅東口自転車駐車場」は、白岡市の要望に基づき、財団法人自転車駐車場整備センターが平成 7 年度に設置したものであり、平成 17 年度に市へ無償譲渡され、指定管理制度を利用した管理を開始しました。

No.	施設名	住所	建築年	築年数	延床面積 (㎡)	耐震診断	耐震改修
1	白岡駅東口自転車駐車場	小久喜 1109	昭和 63	26	770.55	新耐震	新耐震
2	新白岡駅東口自転車駐車場	高岩 773-3	平成 7	19	1455.40	新耐震	新耐震

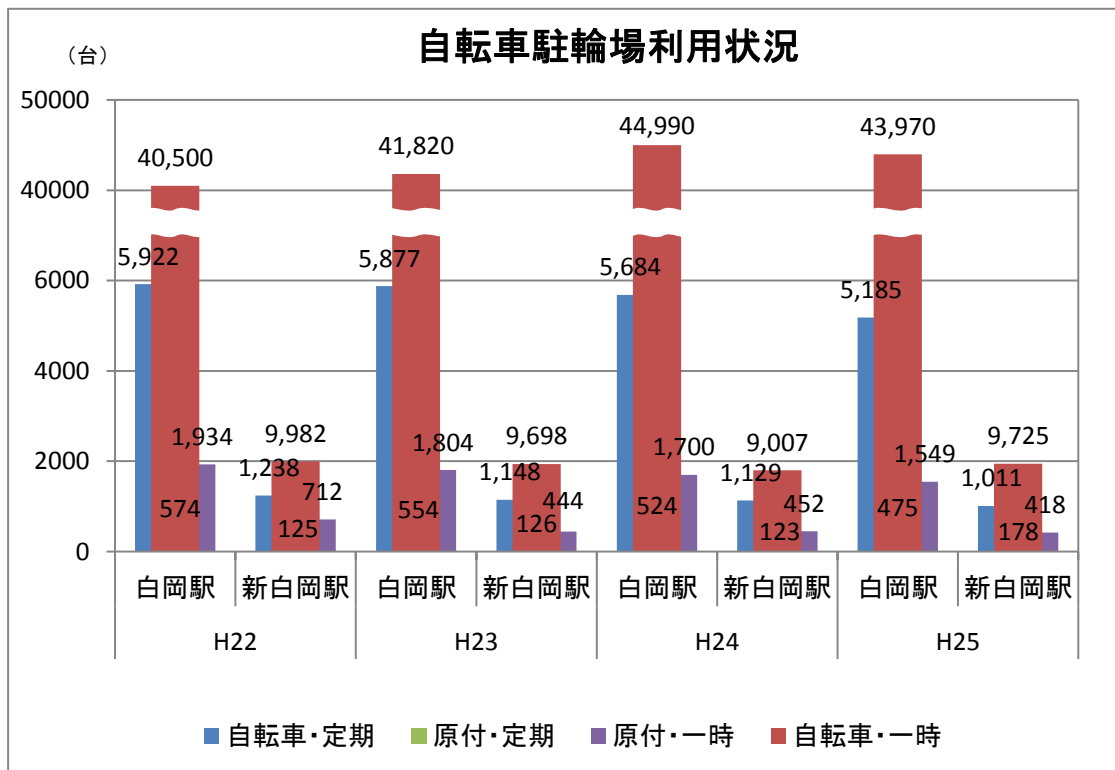
(2) 施設配置状況

各施設の位置を示します。



(3) 施設利用状況

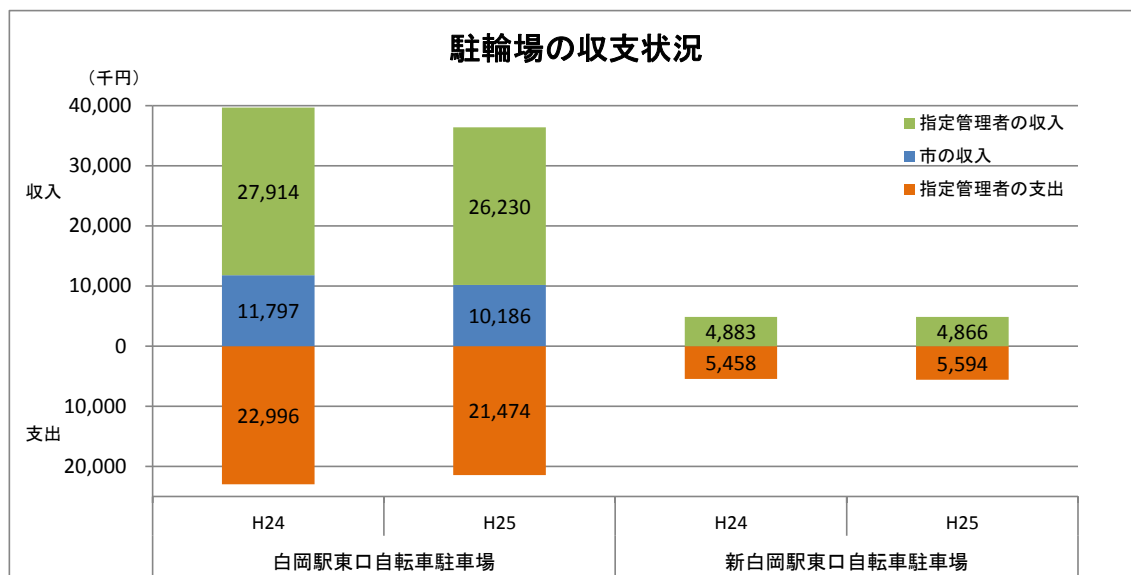
- ・白岡駅東口自転車駐車場の自転車の一時利用は、年間 40,000 台～45,000 台で推移しています。
- ・新白岡駅東口自転車駐車場の自転車の一時利用は、年間 10,000 台で推移しています。



- ・「白岡駅東口自転車駐車場」の収容可能台数は 784 台（原付含む）
- ・「新白岡駅東口自転車駐車場」の収容可能台数は 1,367 台（原付含む）

(4) 施設運営状況

- ・白岡駅東口自転車駐車場の収入は、年間約 3,900 万円であり、支出は、約 2,100 万円となっています。
- ・新白岡駅東口自転車駐車場の収入は、年間約 480 万円であり、支出は、約 550 万円となっています。



(5) 検討課題

- ・白岡駅東口自転車駐車場は、利用率（稼働率）が高く、収容しきれないほどの利用があるため、規模の検討を行う必要がある。
- ・新白岡駅東口自転車駐車場は、隣接して別の駐輪場もあるため、利用率（稼働率）があがらない現状があるため、利用促進を検討する必要がある。

9. 5 駅施設

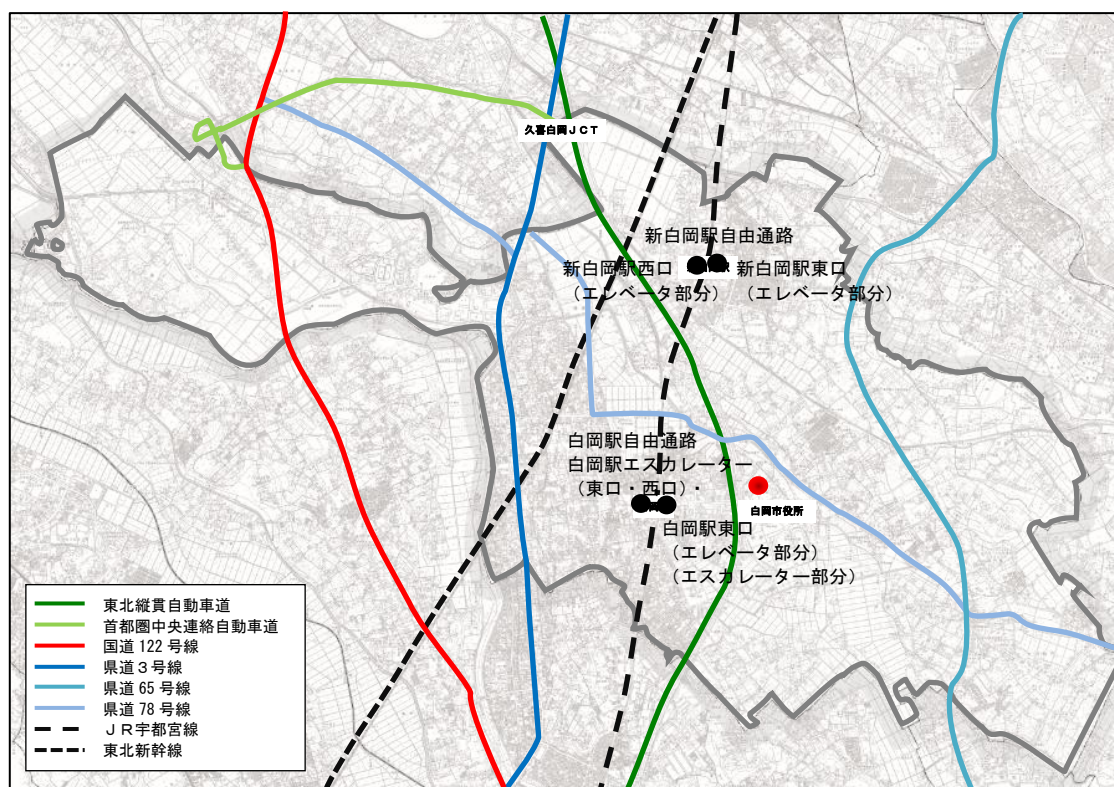
(1) 施設の概要

- ・すべて昭和 57 年以降に建築された新耐震基準の施設です。

No.	施設名	住所	建築年	築年数	延床面積 (㎡)	耐震診断	耐震改修
1	白岡駅自由通路	小久喜 1213	昭和 51	14	767.00	新耐震	新耐震
2	新白岡駅自由通路	野牛 1102-1	昭和 62	27	752.00	新耐震	新耐震
3	白岡駅エスカレーター (東口・西口)	小久喜 1213	平成 12	38	80.00	新耐震	新耐震
4	新白岡駅東口 (エレベーター部分)	高岩 682	平成 16	10	30.40	新耐震	新耐震
5	新白岡駅西口 (エレベーター部分)	野牛 1102-1	平成 16	10	30.40	新耐震	新耐震
6	白岡駅東口 (エレベーター部分)	小久喜 1213	平成 23	3	30.40	新耐震	新耐震

(2) 施設配置状況

各施設の位置を示します。

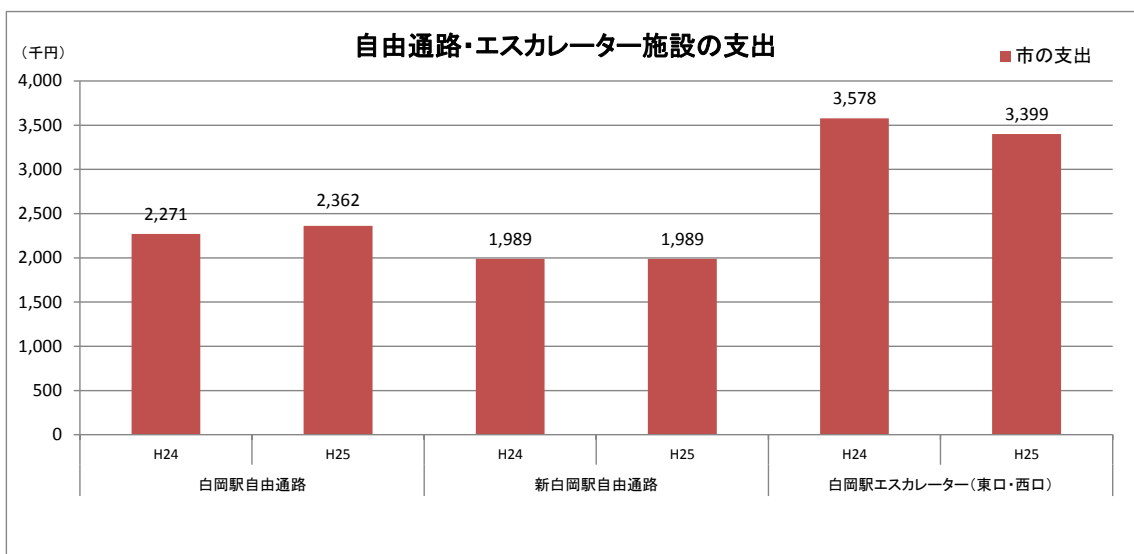
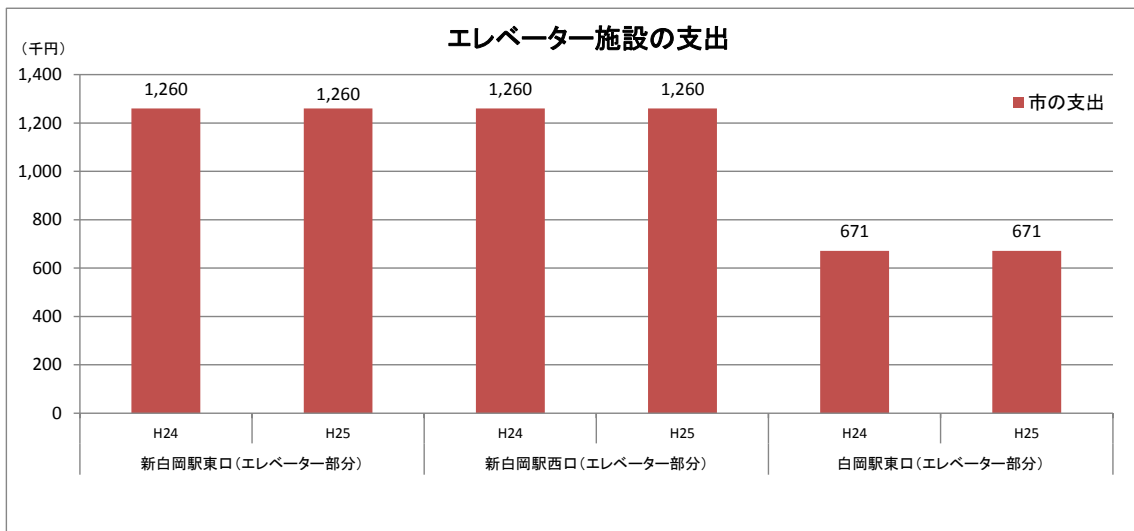


(3) 施設利用状況

- ・平成17年4月に新白岡駅東口に設置された乗降客用エレベーターであり、駅の利用に際し稼動しています。
- ・平成17年4月に新白岡駅西口に設置された乗降客用エレベーターであり、駅の利用に際し稼動しています。
- ・平成23年4月に白岡駅東口に設置されている乗降客用エレベーターであり、駅の利用に際し稼動しています。

(4) 施設運営状況

- ・新白岡駅東口エレベーターの支出は、約120万円となっています。
- ・新白岡駅西口エレベーターの支出は、約120万円となっています。
- ・白岡駅東口エレベーターの支出は、約70万円となっています。



第5章 公共施設等の将来予測

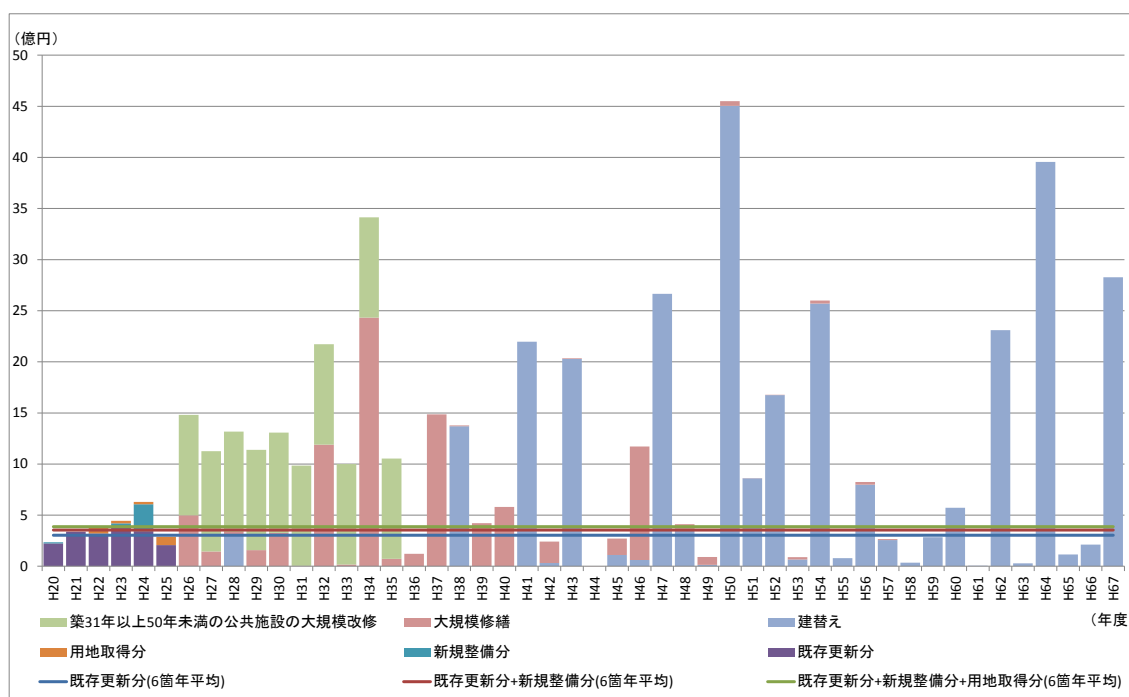
1. 公共施設の更新費用推計

1) 試算結果

現在、本市が保有する施設を、耐用年数経過後に同じ規模（延べ床面積）で更新したと仮定した場合、今後40年間の更新費用の総額は、約493.7億円で、試算期間における平均費用は年間12.3億円となります。過去6年間（平成20年度～25年度）の公共施設にかけてきた投資的経費（※）は、年平均3.9億円のため、現状の約3.2倍の費用がかかる計算となります。

今後、これまでの経済成長が期待できない中、老朽化する公共施設を現在と同規模で更新し維持し続けることは、本市の財政上の大きな負担となり、極めて困難と言わざるを得ません。

※投資的経費；その支出の効果が資本形成に向けられ、施設等がストックとして将来に残るものに支出される経費のこと。



2) 今後の課題

過去の一時期に集中して建設した施設が一斉に老朽化し更新時期を迎えます。施設の利用頻度の低迷や公共施設の統廃合・機能の複合化に向けて前向きな市民意識を踏まえると、施設の長寿命化だけではなく、施設の集約化による更新費用の削減が考えられます。

- ✓ 施設の長寿命化による大規模改修費用や更新費用の削減
- ✓ 施設の集約化による維持管理や大規模改修、更新費用の大幅な削減
- ✓ 管理水準やサービス水準の適正化

■試算条件について

公共施設の更新費用の推計にあたっては、整備年度ごとの延べ床面積に更新単価を乗じることで試算しています。

◆耐用年数・更新の考え方

建築物の耐用年数を60年とし、建物附属設備（電気設備、昇降機設備等）及び配管の耐用年数が概ね15年であることから、2回目の改修である建設後30年で大規模改修を行い、その後30年で建て替えるものと仮定している。

なお、現時点で既に31年以上経過している施設については、今後10年間で均等に大規模改修を行うものと仮定する。

◆更新単価について

延べ床面積あたりの大規模改修費用及び更新費用は、施設種別毎に下表の単価を設定し、試算を行った。

	大規模改修	建替え
学校教育系施設	17 万円/m ²	33 万円/m ²
その他	20 万円/m ²	36 万円/m ²
供給処理施設	20 万円/m ²	36 万円/m ²
公園	17 万円/m ²	33 万円/m ²
市営住宅	17 万円/m ²	28 万円/m ²
行政系施設	25 万円/m ²	40 万円/m ²
医療施設	25 万円/m ²	40 万円/m ²
保健・福祉施設	20 万円/m ²	36 万円/m ²
子育て支援施設	17 万円/m ²	33 万円/m ²
産業系施設	25 万円/m ²	40 万円/m ²
スポーツ・レクリエーション系施設	20 万円/m ²	36 万円/m ²
社会教育系施設	25 万円/m ²	40 万円/m ²
市民文化系施設	25 万円/m ²	40 万円/m ²

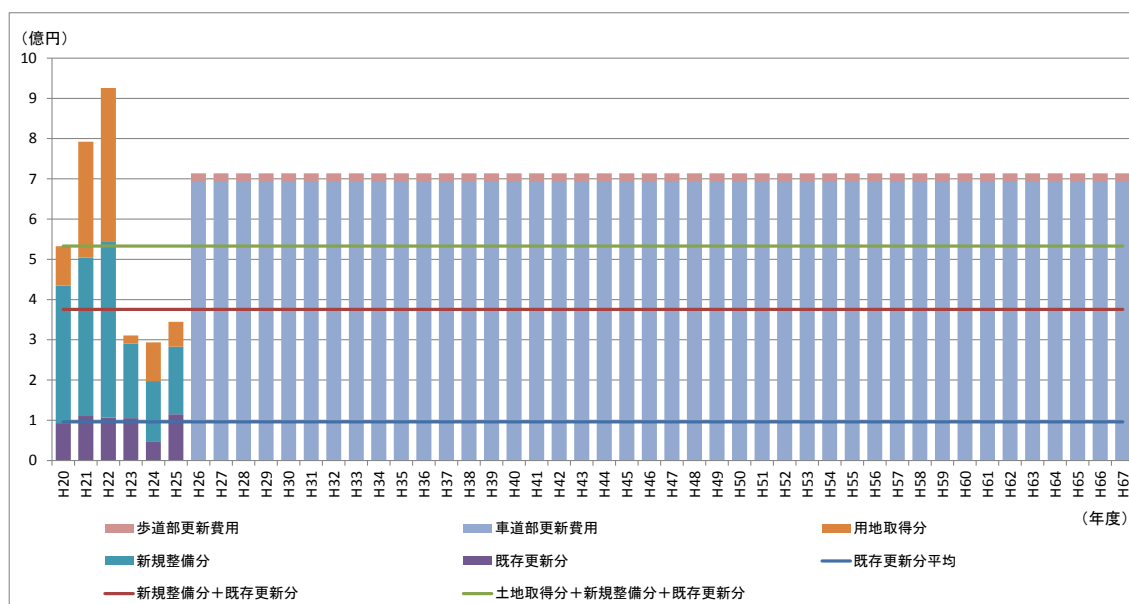
※出典：地方公共団体の財政分析等に関する調査研究会報告書／（財）自治総合センター／平成23年3月

2. インフラ施設の修繕・更新費推計

(1) 道路

1) 試算結果

舗装の耐用年数を15年と仮定して、現在の道路の総面積を15年で割ったものを1年間の舗装の更新量と仮定して試算した結果、今後40年間の更新費用の総額は約299.9億円となり、試算期間における平均費用は年間7.5億円となります。過去6年間（平成20年度～25年度）の道路舗装に用いた投資的経費は、更新費用として年平均9千万円、新規整備分+用地取得分として年平均4.4億円、合計約5.3億円を計上していますので、現状の約1.4倍の費用がかかる計算となります。



2) 今後の課題

本市が保有する道路は多種多様であり、すべての道路を同じ水準で管理すると、これまでの新規整備分の投資的経費を投入しても、予算が不足する結果となっています。そのため、それぞれの道路の目的や用途に応じた管理水準を定め、メリハリを付けた維持管理が必要となります。

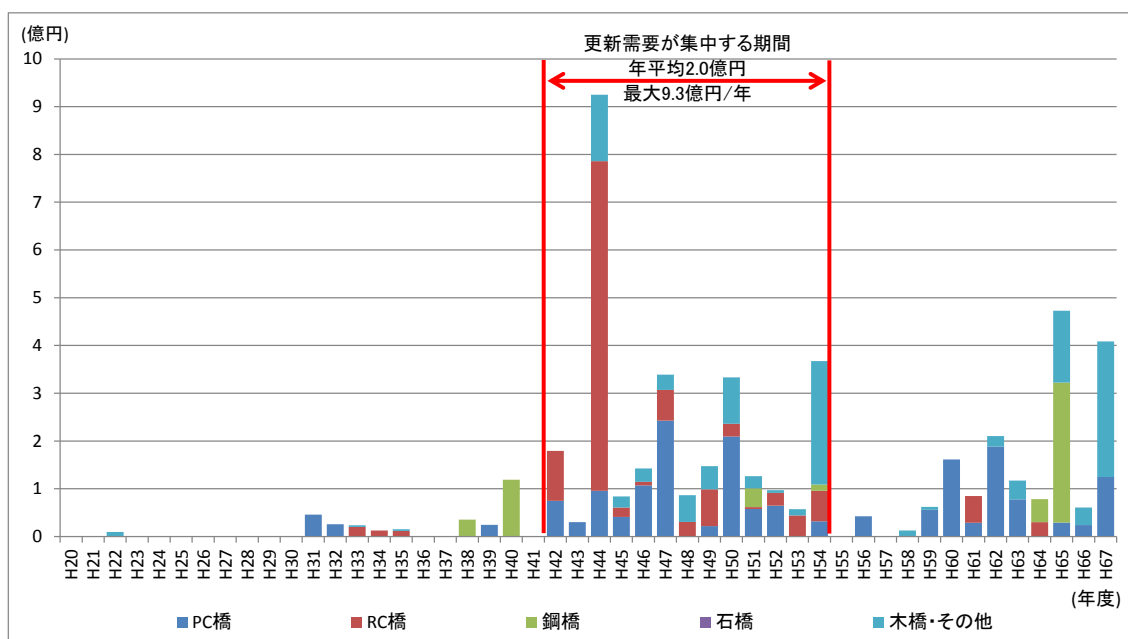
- ✓ 舗装の実態にかかる情報の把握（路面性状調査の実施など）
- ✓ 道路の目的や用途に応じた管理水準の設定による管理費用の縮減
- ✓ 事後保全型維持管理から予防保全型維持管理への転換

(2) 橋梁

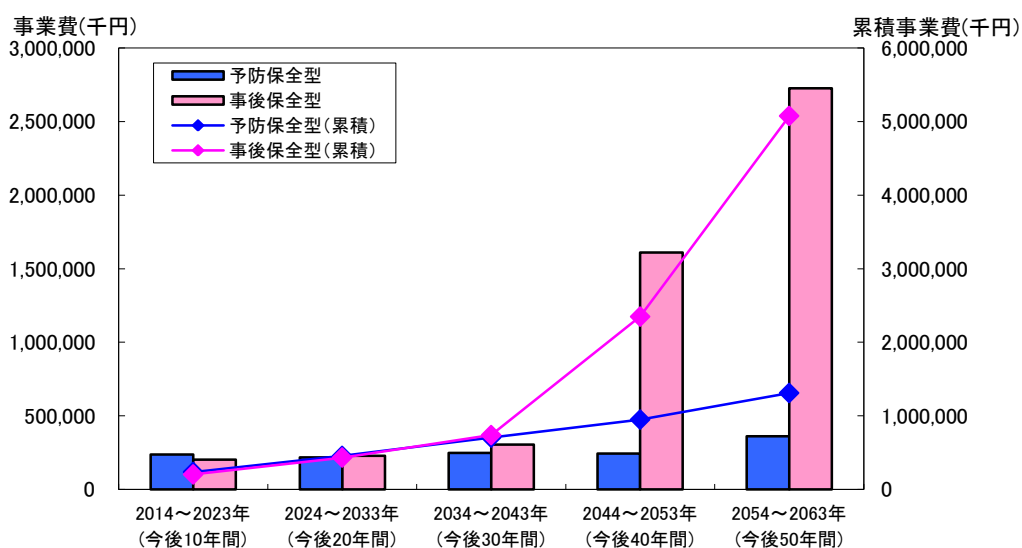
1) 試算結果

橋梁の耐用年数を法定耐用年数の60年と仮定して、整備した年度から60年を経た年度に更新（架け替え）するものとして試算した結果、今後40年間の更新費用の総額は約49.4億円となり、試算期間における平均費用は年間1.2億円となります。

一方、昭和40年代後半から昭和50年代前半にかけて集中的に整備した橋梁が一斉に更新時期を迎える平成42年を過ぎたあたりから、更新費用が高騰し、平成42年から平成54年の約10年間は平均すると年間2.0億円の整備費用が必要となります。



ただし、橋梁については、「橋梁長寿命化修繕計画」を既に策定済みであり、同計画により予防保全型の維持管理に転換することで、大幅なコスト縮減が期待されています。

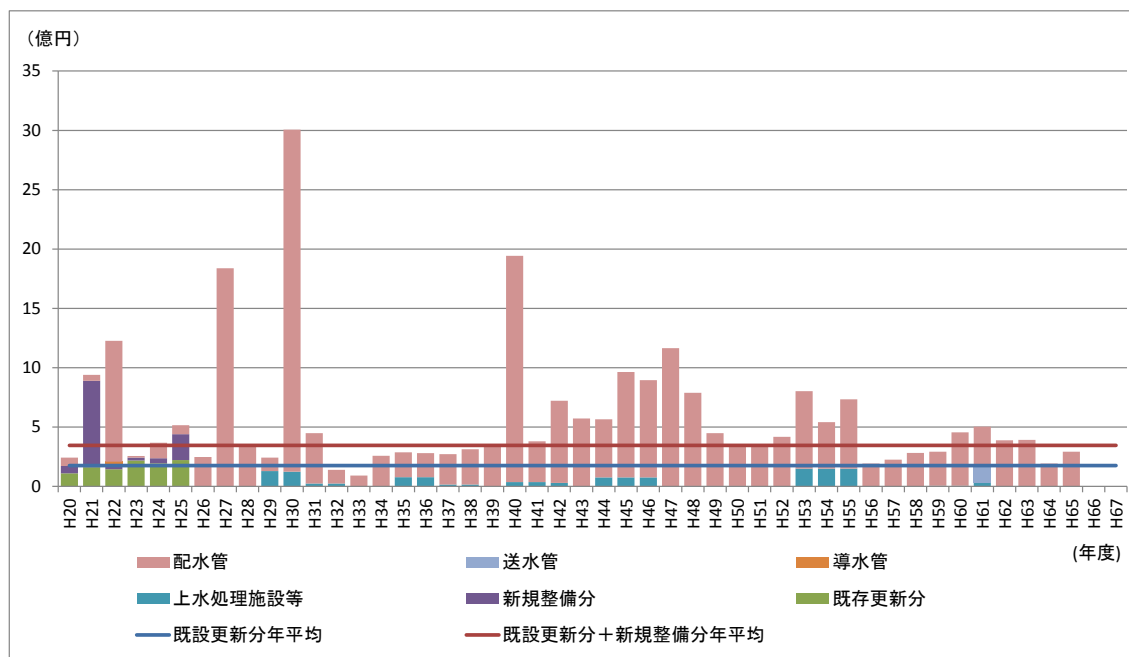


* 出典：橋梁長寿命化修繕計画より抜粋

(3) 上水道

1) 試算結果

上水道の耐用年数を法定耐用年数の40年と仮定して、導水管、送水管、配水管別に、管径別の延長に更新単価を乗じることで試算した結果、今後40年間の更新費用の総額は約251.4億円となり、試算期間における平均費用は年間6.3億円となります。過去6年間（平成20年度～25年度）の上水道に用いた投資的経費は、既存更新分として年平均1.7億円、新規整備分として年平均1.9億円、合計3.6億円/年を計上していますので、現状の約1.8倍の費用がかかる計算となります。



2) 今後の課題

上水道施設は、市民の生活に無くてはならないものでありますが、これまでの新規整備分の投資的経費を投入しても、更新費用が不足する結果となっています。そのため、上水道施設を構成する各施設の長寿命化・延命化を図り、更新までの期間を延伸させる必要があります。

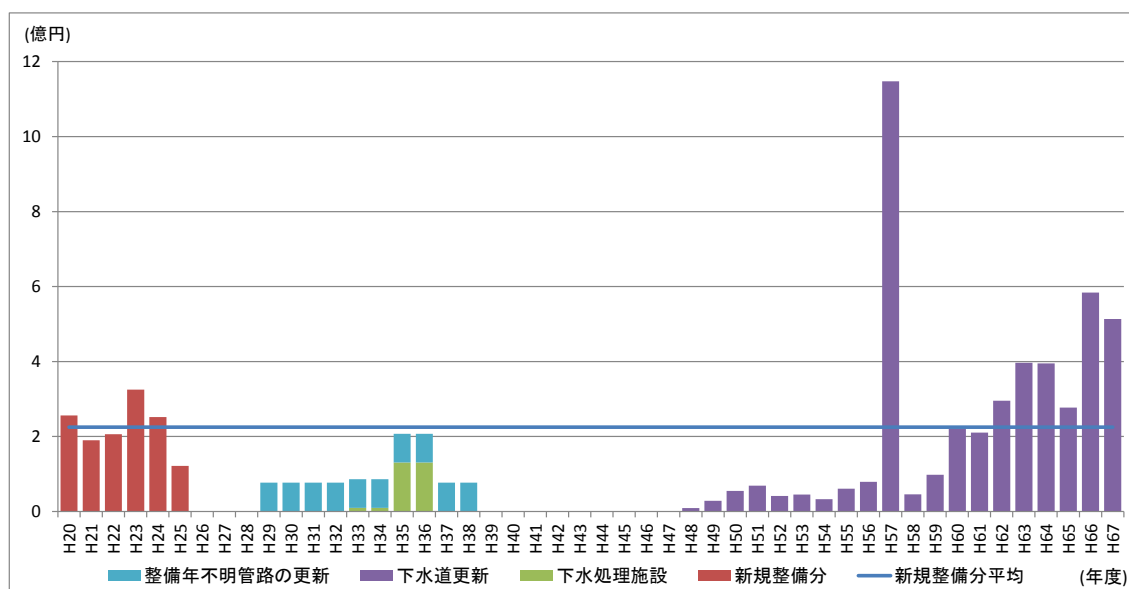
- ✓ 施設の実態にかかる情報の把握（管路・施設の点検・調査の実施など）
- ✓ 調査結果に基づく適切な管理計画の策定
- ✓ 事後保全型維持管理から予防保全型維持管理への転換

(4) 下水道

1) 試算結果

下水道の耐用年数を法定耐用年数の50年と仮定して、整備した年度から50年後に更新するものとして試算した結果、今後40年間の更新費用の総額は約56.6億円となり、試算期間における平均費用は年間1.4億円となります。過去6年間（平成20年度～25年度）の下水道に用いた投資的経費は、更新費用は無く、新規整備分のみ年平均2.3億円を計上していますので、現状の約6割の費用がかかる計算となります。

ただし、昭和59年に集中的に整備した下水道が一斉に更新時期を迎える平成57年を過ぎたあたりから、これまでの投資的経費以上の更新費用が発生しますので、新規整備の抑制と、既存下水道の更新の前倒し、あるいは長寿命化による更新の先送りなどにより、単年度の更新費用を抑制する必要があります。



2) 今後の課題

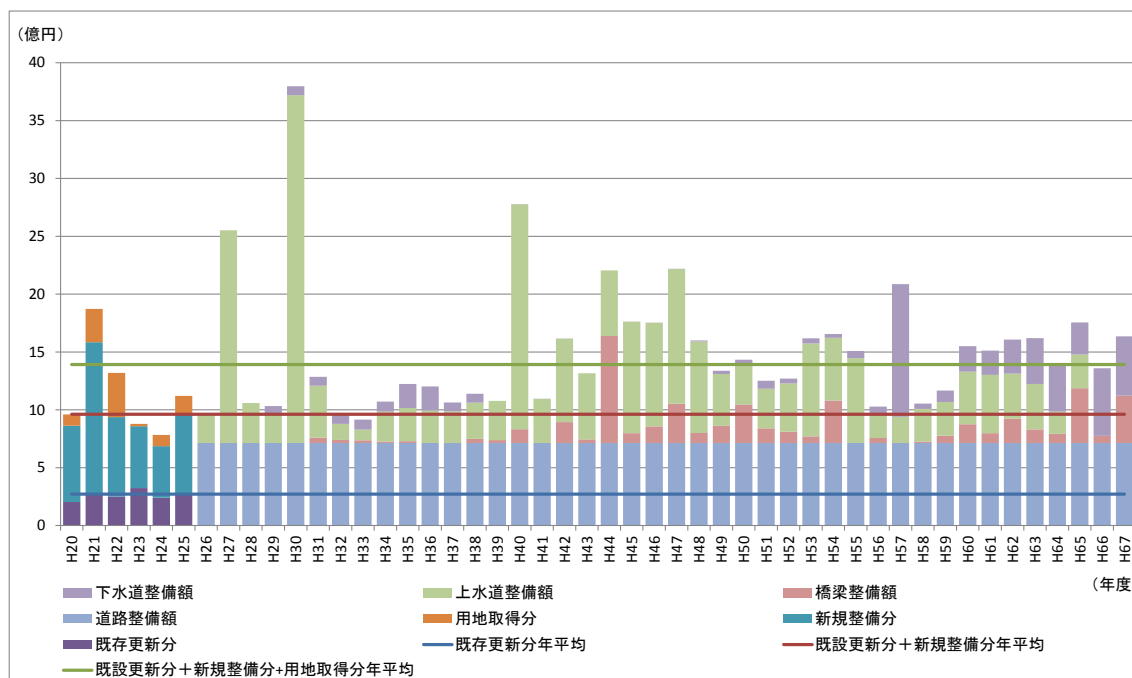
下水道施設は、整備率が他のインフラ施設に比べて低いため、今後も新規整備が必要です。一方、下水道施設は他のインフラ施設に比べて整備の開始時期が遅かったため、更新需要の発生も、他の施設よりも遅れて発生します。そのため、今後、新規整備する施設については、出来る限り長寿命化が図れる材料や工法の選定が必要となります。また、すでに整備した施設については、他のインフラ施設と同様に、長寿命化・延命化を図り、更新までの期間を延伸させる必要があります。

- ✓ 新規整備分の材料・工法の厳選
- ✓ 施設の実態にかかる情報の把握（管路・施設の点検・調査の実施など）
- ✓ 調査結果に基づく適切な管理計画の策定
- ✓ 事後保全型維持管理から予防保全型維持管理への転換

(5) インフラ施設合計

1) 試算結果

インフラ施設全体の更新費用を推計すると、今後 40 年間の更新費用の総額は約 625.5 億円となり、試算期間における平均費用は年間 15.6 億円となります。過去 6 年間（平成 20 年度～25 年度）に用いた投資的経費は、既存更新分と新規整備分の合計で年平均 13.9 億円を計上していますので、現状の約 1.1 倍の費用がかかる計算となります。



2) 今後の課題

インフラ施設は、建築物と異なり統廃合や複合化が極めて困難です。そのため、施設の積極的な長寿命化を進めて、維持管理費用や更新費用を出来る限り削減する必要があります。一方、道路法の改正に伴い道路施設の点検が義務化されたことなど、今後、さらなる経費の増加が懸念されます。

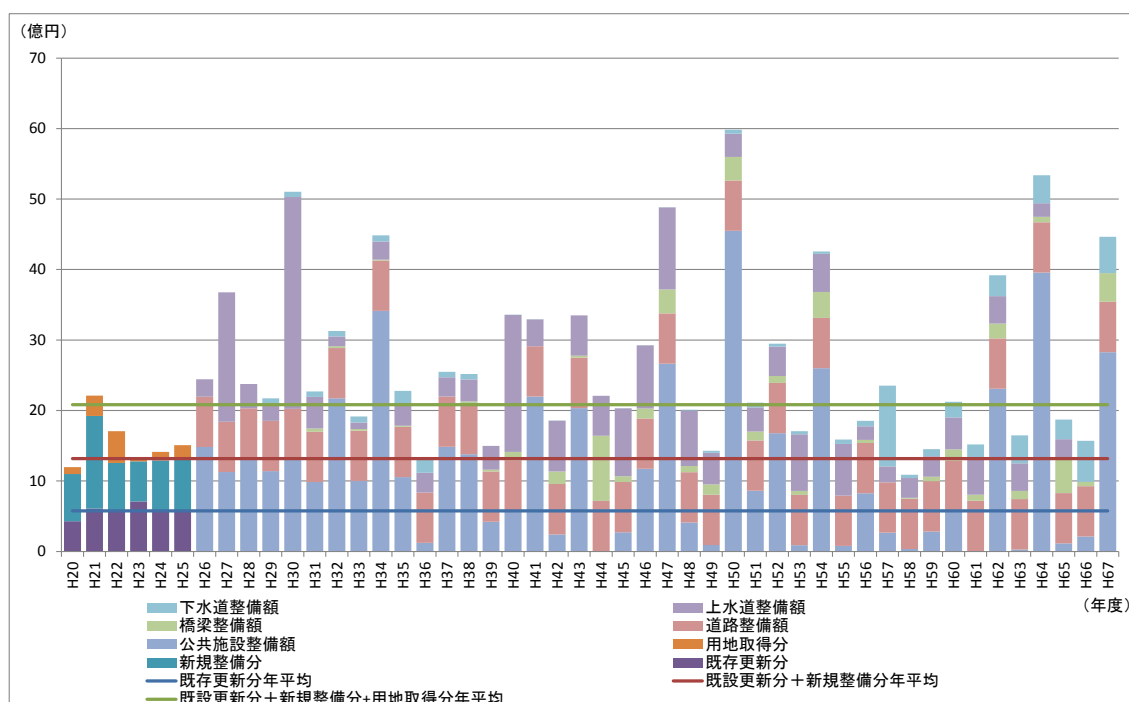
- ✓ 新規整備の抑制
- ✓ 施設の実態にかかる情報の把握（管路・施設の点検・調査の実施など）
- ✓ 調査結果に基づく適切な管理計画の策定
- ✓ メリハリをつけた管理水準の設定による維持管理費の縮減

第6章 公共施設マネジメント基本方針

1. 本市が保有する全資産（公共施設及びインフラ施設）の更新・維持管理に必要な将来コストの試算結果

第5章に示した試算結果より、本市が保有する全資産（公共施設及びインフラ施設）に必要な今後40年間の将来コストは、以下のグラフに示す通り、約1,128.7億円（単年度平均で約28.2億円）と見込まれます。

一方、本市での過去6年間における投資的経費は、既設更新分と新規整備分の合計で単年度平均約15.1億円です。したがって、今回試算した将来コストに対して、年間で約10億円以上も不足することが伺えます（28.2億円－15.1億円＝13.1億円）



※更新費用の試算にあたっては、建物は市内実績値や国内類似施設の実勢値、法定耐用年数等を基とし、また、インフラは総務省の更新費用試算ソフトを用いています。

2. 今後の方針

過去の一時期に集中して建設した施設が一斉に老朽化を迎え、大規模改修・更新需要が集中するために、試算の結果、現状の財政状況では年間約10億円以上が不足することが分かりました。特に、道路施設については、道路法の改正に伴いこれまで実施率が低かった定期点検が義務付けられたため、これらの費用が今後発生することが予想され、さらなる予算の不足が懸念されます。一方、市民アンケートの結果から、利用頻度が低迷する施設の存在や、公共施設の統廃合・機能の複合化・民間ノウハウの導入に前向きな市民意識が伺えます。これらを踏まえると、施設の長寿命化だけではなく、施設の集約化による大規模改修費用や更新費用を抑制する必要があると考えられます。ここでは、インフラも含めた公共施設の現状と、市民ニーズを踏まえ、今後の公共施設マネジメントにおける基本方針として、以下のよう設定します。

この方針に基いて適切なマネジメントを推進することにより、施設の統廃合・機能の複合化による歳出の削減や、施設運営のための収益確保による歳入の拡大を行い、現状に見合った公共施設及びインフラの管理・運営を進めていきます。

◆公共施設の現状

- ・過去の一時期に集中して建設した施設が一斉に老朽化
- ・大規模改修・更新需要の集中
- ・年間10億円以上の予算が不足
- 年間10億円以上の予算確保が課題

◆市民ニーズ（市民アンケート結果に基づく）

- ・施設の利用頻度の低迷
- ・施設の集約化による管理費削減に前向き
- ・民間資金・ノウハウの導入によるコスト削減
- ・余剰施設の利活用による財政健全化

白岡市公共施設マネジメント基本方針

✚ 方針1 公共施設の実態に係る情報把握

✚ 方針2 本市の人口動態や財政状況、市民ニーズに応じた適切なサービスの設定

✚ 方針3 中長期的視点による適切な整備方法の選択

- 建物：複合化、建替え、大規模修繕、運営効率化、サービス水準の見直し、統廃合 等
- インフラ：新規整備の抑制、施設の長寿命化、サービス水準の見直し、予防保全型維持管理への転換

【歳出の削減】

- 機能・用途の見直し（施設内容の多機能化・複合化、用途転換など）
- 運営形態の見直し（業務マニュアル研修による効率化、運営のアウトソーシング等の民間の活力やノウハウの導入、住民・民間との協働、PFI/PPP、担い手の確保、IT化による運営効率化など）
- 保有形態見直し（民間施設借上げ方式の導入など）

【歳入の拡大】

- ＝施設運営のための収益確保
- 未利用地や空スペース、用途廃止施設の売却・賃貸による収益の確保
- 有料施設の利用者負担適正化（利用料金見直し）

3. 公共施設等総合管理計画策定の課題

白書作成後の次の段階は、公共施設等総合管理計画を作成し、実行することです。また、公共施設等総合管理計画を策定した後は、個別施設の長寿命化計画を作成する必要がありますので、個別施設の現状と将来的な課題を踏まえて、公共施設等総合管理計画を策定する必要があります。

公共施設等総合管理計画を作成するためには、各施設の「課題」を踏まえ、施設毎に追加調査が必要となります。

◆ 維持管理にかかっている費用の精査

公共施設等マネジメント白書では、現有施設の維持管理において将来的にどの程度の財政負担を強いるのか、推定しました。一方、これらの将来予測は、公共施設等の大規模改修費や更新費用のみを推計しており、それ以外の定常的に発生している小規模な修繕費や光熱費などの日常的な維持管理費は見込んでいません。これらのコストが加算されると、将来的な財政負担はさらに大きなものになることが予想されます。そのため、これらの費用を精査し、将来予測の精度を高める必要があります。

◆ 維持管理の現状と体制に関する課題の整理

今後、公共施設等の老朽化が進展し、今よりも修繕費用や改修費用の増大が見込まれますが、同時に、これら維持管理の手間も増大することが予想されます。そのため、これら維持管理を担当する職員あるいは業者、市民など、維持管理の“担い手”の不足が懸念されます。

公共施設等の維持管理に係る現在の体制に過不足がないか、また、費用面や体制面以外の問題点がないかを把握し、課題を整理する必要があります。

◆ 個別で実施している修繕計画の整理

公共施設等総合管理計画の策定後は、個別施設の長寿命化計画を策定する必要があります。一方、すでに個別施設の長寿命化計画を策定済みの施設もあります。例えば、白岡市では、道路に架かる橋りょうについて「白岡市橋梁長寿命化修繕計画」を平成25年度に策定しました。

公共施設等総合管理計画の作成段階では、このような個別施設の長寿命化計画や維持管理計画を整理し、基本方針に反映する必要があります。